

bizhub C200

ユーザーズガイド プリンター機能編



はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

bizhub C200 にはプリンターコントローラーが内蔵されており、Windows 対応コンピューターまたは Macintosh から直接印刷することができます。

このユーザーズガイドには、プリンターコントローラーのプリンター機能や操作方法、使用上のご注意などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、必要に応じてこのユーザーズガイドをお読みください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず別冊の「安全にお使いいただくために」をお読みください。

商標およびライセンスについては、別冊の「商標／ライセンスについて」をごらんください。

ユーザーズガイド内で使用しているイラストなどは、実際の装置とは異なる場合があります。

目次

はじめに	1
目次	2
本書について	6
本書の構成	6
表記について	6
ページの見かた	7
マニュアル体系について	8
印刷物のユーザーズガイド	8
ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	8

第1章 プリンター機能の概要

1.1 プリンターコントローラーとは	1-2
1.1.1 プリンターコントローラーの役割	1-2
1.1.2 印刷の流れ	1-3
1.1.3 操作パネル	1-4
1.2 動作環境	1-5
1.2.1 接続できるコンピューターと OS	1-5
1.2.2 接続に使用するインターフェース	1-6
1.3 セットアップの流れ	1-7
1.3.1 ネットワーク接続の場合	1-7
1.3.2 ローカル接続の場合	1-8
1.4 CD-ROM の構成	1-9

第2章 インストールする前にお読みください

2.1 はじめに	2-2
2.2 各 OS にインストールできるプリンタードライバー	2-3
2.3 各 OS で選択可能な接続方法	2-4
2.3.1 Windows 2000/XP/Server 2003	2-4
2.3.2 Windows Vista/Server 2008	2-6
2.3.3 Macintosh OS X 10.2/10.3/10.4/10.5	2-7
2.3.4 NetWare について	2-7

第3章 インストーラーによる簡単インストール (Windows)

3.1 インストーラーについて	3-2
3.1.1 インストーラーの動作環境	3-2
3.2 インストーラーによる簡単インストール手順	3-3
3.2.1 本機の設定	3-3
3.2.2 プリンタードライバーをインストール	3-3

第4章 プリンタの追加ウィザードによる手動インストール

4.1 Windows XP/ Server 2003	4-2
4.1.1 ネットワーク接続 (LPR/Port9100) の場合	4-2
4.1.2 ネットワーク接続 (SMB) の場合	4-5
4.1.3 ネットワーク接続 (IPP/IPPS) の場合	4-8
4.1.4 ローカル接続の場合	4-10
4.2 Windows Vista/Server 2008	4-11
4.2.1 ネットワーク接続 (LPR/Port9100 SMB) の場合	4-11
4.2.2 ネットワーク接続 (IPP/IPPS) の場合	4-16
4.2.3 ローカル接続の場合	4-18

4.3	Windows 2000	4-19
4.3.1	ネットワーク接続 (LPR/Port9100) の場合	4-19
4.3.2	ネットワーク接続 (SMB) の場合	4-22
4.3.3	ネットワーク接続 (IPP/IPPS) の場合	4-23
4.3.4	ローカル接続の場合	4-25

第 5 章 Macintosh のインストール

5.1	Macintosh OSX 10.2/10.3/10.4/10.5	5-2
5.1.1	プリンタードライバーのインストール	5-2
5.1.2	プリンターの選択と接続 (OS X 10.4/10.5)	5-3
5.1.3	プリンターの選択と接続 (OS X 10.2/10.3)	5-9
5.2	Macintosh OS 9.2	5-14
5.2.1	プリンタードライバーのインストール	5-14
5.2.2	プリンターの選択と接続	5-14

第 6 章 プリンタードライバーのアンインストール

6.1	Windows	6-2
6.1.1	アンインストールプログラムによるアンインストール	6-2
6.1.2	インストーラーによるアンインストール	6-2
6.1.3	手動アンインストール	6-3
6.2	Macintosh	6-5
6.2.1	Macintosh OS X の場合	6-5
6.2.2	Macintosh OS 9.2 の場合	6-5

第 7 章 Windows 用 PCL/PS ドライバーの印刷機能

7.1	印刷操作	7-2
7.2	プリンタードライバーの初期設定	7-3
7.2.1	プロパティ画面の表示方法	7-3
7.2.2	装置情報タブ	7-4
7.2.3	初期設定タブ	7-4
7.2.4	デフォルト設定の登録	7-5
7.3	共通項目	7-6
7.4	設定項目詳細	7-7
7.4.1	基本設定タブ	7-7
7.4.2	レイアウトタブ	7-8
7.4.3	スタンプ / ページ印字タブ	7-9
7.4.4	画像品質タブ	7-11
7.4.5	その他タブ	7-12
7.4.6	詳細設定タブ	7-13

第 8 章 Mac OS X の印刷機能

8.1	印刷操作	8-2
8.2	プリンタードライバーの初期設定	8-3
8.2.1	オプション設定	8-3
8.2.2	デフォルト設定の登録	8-3
8.3	共通項目	8-5
8.4	カスタムサイズの追加方法	8-6
8.5	設定項目詳細	8-7
8.5.1	ページ属性	8-7

8.5.2	印刷部数と印刷ページ	8-8
8.5.3	出力方法	8-8
8.5.4	レイアウト	8-10
8.5.5	給紙トレイ	8-11
8.5.6	画像品質	8-12

第 9 章 Mac OS 9.2 の印刷機能

9.1	印刷操作	9-2
9.2	プリンタードライバーの初期設定	9-3
9.2.1	オプション設定	9-3
9.2.2	デフォルト設定の登録	9-4
9.3	設定項目詳細	9-5
9.3.1	ページ属性	9-5
9.3.2	カスタム用紙サイズの設定	9-5
9.3.3	一般設定	9-6
9.3.4	レイアウト (ページ割付)	9-6
9.3.5	プリンター固有機能 (Finishing Option 1 ~ 3)	9-6

第 10 章 機能詳細説明

10.1	セキュリティ印刷	10-2
10.1.1	プリンタードライバーの設定	10-2
10.1.2	操作パネルからのジョブ呼び出し	10-4
10.2	部門管理機能を使用している本機で印刷する	10-7
10.2.1	プリンタードライバーの設定	10-7

第 11 章 操作パネルでの各種設定

11.1	ユーザー設定の基本操作	11-2
11.1.1	ユーザ設定画面を表示させるには	11-2
11.2	ユーザー設定	11-3
11.2.1	PDL 設定	11-3
11.2.2	印刷部数	11-4
11.2.3	画像の向き	11-5
11.2.4	用紙サイズ変換	11-5
11.2.5	メモリオーバ時の破棄時間	11-6
11.2.6	給紙トレイ	11-7
11.2.7	用紙サイズ	11-8
11.2.8	両面プリント	11-9
11.2.9	開き方向 / とじ方向	11-9
11.2.10	フォント設定	11-10
11.2.11	シンボルセット	11-12
11.2.12	フォントサイズ	11-14
11.2.13	ライン / ページ	11-15
11.2.14	CR/LF マッピング	11-15
11.2.15	レポート出力	11-16
11.3	管理者設定の基本操作	11-18
11.3.1	管理者保守画面を表示させるには	11-18
11.4	管理者設定	11-19
11.4.1	受信プリント出力設定	11-19
11.4.2	排紙トレイ設定	11-20
11.4.3	部門未指定プリント	11-21

11.4.4 I/F タイムアウトの設定	11-22
----------------------------	-------

第 12 章 トラブルシューティング

12.1 印刷できない	12-2
12.2 設定できない／設定したとおりに印刷できない	12-3
12.2.1 プリンタードライバーの設定が機能しない	12-3
12.2.2 エラーメッセージ	12-3

第 13 章 付録

13.1 製品仕様	13-2
13.2 コンフィグレーションページ	13-4
13.3 フォントリスト	13-5
13.3.1 PCL フォントリスト	13-5
13.3.2 PS フォントリスト	13-6
13.3.3 デモページ	13-7
13.4 PPD ドライバー（アプリケーション用）	13-8
13.4.1 PPD ドライバーの種類	13-8
13.4.2 アプリケーション用 PPD ドライバーについて	13-8

第 14 章 索引

14.1 使用別索引	14-2
14.2 項目別索引	14-4

本書について

本書は、コニカミノルタプリンターコントローラーで実現できるプリンター機能のユーザーズガイドです。コピー機能、スキャナー機能、ファクス機能についてはそれぞれのユーザーズガイドをごらんください。

本書はコンピューターの基本操作、および本機の基本操作を理解しているお客様を対象としています。

Windows または Macintosh の各オペレーティングシステムの操作方法や、アプリケーションの操作方法は、それぞれの操作説明書をごらんください。

本書の構成

本書は、以下の章から構成されています。

第1章 プリンター機能の概要

第2章 インストールする前にお読みください

第3章 インストーラーによる簡易インストール（Windows）

第4章 プリンタの追加ウィザードによる手動インストール

第5章 Macintosh のインストール

第6章 プリントドライバーのアンインストール

第7章 Windows 用 PCL/PS ドライバーの印刷機能

第8章 Mac OS X の印刷機能

第9章 Mac OS 9.2 の印刷機能

第10章 機能詳細説明

第11章 操作パネルでの各種設定

第12章 トラブルシューティング

第13章 付録

第14章 索引

表記について

製品名	本書の表記
bizhub C200、プリンター本体（本機）	本機、プリンター
内蔵ネットワークコントローラー	ネットワークコントローラー
プリンターコントローラー、本機を組み合わせたプリントティングシステム	プリントティングシステム
Microsoft Windows	Windows

ページの見かた

■ 原則

機能を使用するときに必要なオプションを説明しています。

項目タイトルの概要を説明しています。



操作上の注意事項です。
指示内容をよく読んで、必ず行ってください。

8.1 印刷操作

通常、印刷はアプリケーションソフトウェアから指定します。
【原則】
ファックス機能を利用する場合は、オプションのFAXキットが必要です。

- 1 本機とコンピューターをUSBケーブルで接続後、コンピューターを起動します。
- 2 アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル]をクリックしてメニューから「印刷」(または「プリント」)をクリックします。
○メニューがない場合は、[印刷]ボタンをクリックします。
- 3 「プリンタ名」(または「プリンタの選択」)で印刷したいプリンタ名が選択されているか確認します。
○目的のプリンターが選択されていないときは、クリックして選択します。



- 4 印刷するページ範囲や部数を設定します。
- 5 印刷結果を確認するときは、ジョブリストから確認するジョブを選び、操作パネルの【確認コピー】を押します。
○1部印刷されますので、印刷結果を確認します。

- 6 [印刷]をクリックします。
コピー機のデータランプが点滅します。

コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

ひとこと
[印刷]画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

詳しく説明します
[印刷]画面で「プロパティ」や「詳細設定」をクリックすると、プリンタードライバーの設定画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、「[設定項目詳細] (p. 8-7)」をごらんください。

● プリンタードライバーの機能や設定項目については、「[設定項目詳細] (p. 8-7)」をごらんください。
● プリンタードライバーには、設定した内容を「お気に入り」として保存する機能もあります。詳しくは、「[共通項目] (p. 8-6)」をごらんください。

「 」
コンピューター画面上に表示されるウィンドウ、ダイアログボックス、アイコンなどの機能名称を示します。

【 】
操作パネル(タッチパネルを除く)のキー名称、電源スイッチなどを示します。

[]
コンピューター画面上に表示されるボタン名称、タッチパネル上のキー名称を示します。

8-2 Windowsの印刷機能



参照先を指示します。
必要に応じてごらんください。



操作手順や内容に関して、さらに詳しく説明しています。

ひとこと

作業手順や内容に関して、参考となることや補足事項などが書かれています。
お読みになることをおすすめします。

(このページは実際には存在しません。)

マニュアル体系について

本製品のユーザーズガイドには、印刷物の冊子でご提供するユーザーズガイドと、ユーザーズガイド CD に収められた PDF のユーザーズガイドがあります。

印刷物のユーザーズガイド

●すぐに使える操作ガイド

すぐに本製品をご利用いただけるよう使用頻度の高い機能や操作方法を紹介しています。

本製品をはじめてお使いになる場合や機能の概要を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド

●ユーザーズガイド（コピー機能編）

本製品のコピー機能およびメンテナンス方法について記載しています。

用紙と原稿について、便利な応用コピーのとりかた、消耗品の交換方法、紙づまりなどのトラブル対処方法を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（プリンター機能編）<本書>

標準装着のプリンターコントローラーで設定できるプリンター機能について記載しています。

プリンター機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編）

ネットワークスキャン機能、G3 ファクス機能、ネットワークファクス機能について記載しています。

E メールなどによるネットワークスキャン機能や G3 ファクス、インターネットファクス、IP アドレスファクス、IP 中継配信の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

G3 ファクス機能、インターネットファクス機能、IP アドレスファクス機能、IP 中継配信機能をご利用になるには、別途オプションの FAX キットを購入していただく必要があります。

●ユーザーズガイド（ファクスドライバー機能編）

コンピューターから直接ファクス送信を行うファクスドライバーの機能について記載しています。

PC-FAX の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ファクス機能をご利用になるには、別途オプションの FAX キットを購入していただく必要があります。

●ユーザーズガイド（ネットワーク管理者編）

本製品をネットワークに接続して利用するときに必要となる設定の内容や、ソフトウェア DIPSW による設定の変更方法、Assistant tool for C200 の使い方について記載しています。

ネットワーク設定、ソフトウェア DIPSW、Assistant tool for C200 について知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●商標／ライセンスについて

商標およびライセンスについて記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

第1章

プリンター機能の概要

本機のプリンター機能を実現するプリンターコントローラーの概要と接続環境を説明します。

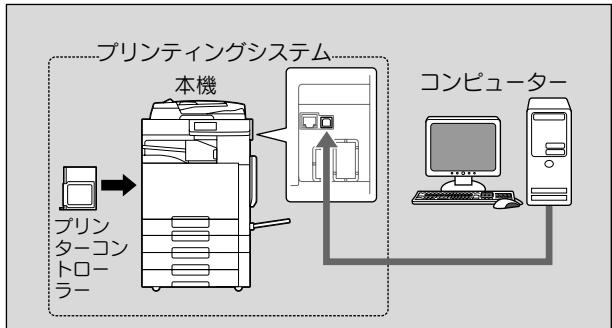
1.1	プリンターコントローラーとは	1-2
1.2	動作環境	1-5
1.3	セットアップの流れ	1-7
1.4	CD-ROM の構成	1-9

1.1 プリンターコントローラーとは

プリンターコントローラーは、本機で印刷機能、ネットワーク印刷機能を実現するための装置です。

1.1.1 プリンターコントローラーの役割

プリンターコントローラーを内蔵することで、本機がプリントイングシステムとなり、本機とつながっているコンピューター上のアプリケーションから印刷ができます。本機をネットワークプリンターとして使用するときも、コンピューター上のアプリケーションから印刷ができます。



プリンターコントローラーは、以下の機能を持っています。

- コンピューター上のプリンタードライバーから送られたデータを印刷する機能
- TCP/IP、IPX/SPX、AppleTalkなどのネットワークプロトコルをサポート
- SMB 印刷（Windows 印刷）、LPR 印刷、IPP 印刷などを利用した、ネットワーク経由による印刷機能
- ネットワーク経由での、クライアント PC からの本機／プリンターコントローラーの設定（Web ブラウザー使用）
- 印刷の管理（部門管理機能）
- コンピューターを使用したファックス機能（PC-FAX 送信）

■ 原則

ファックス機能を利用する場合は、オプションの FAX キットが必要です。



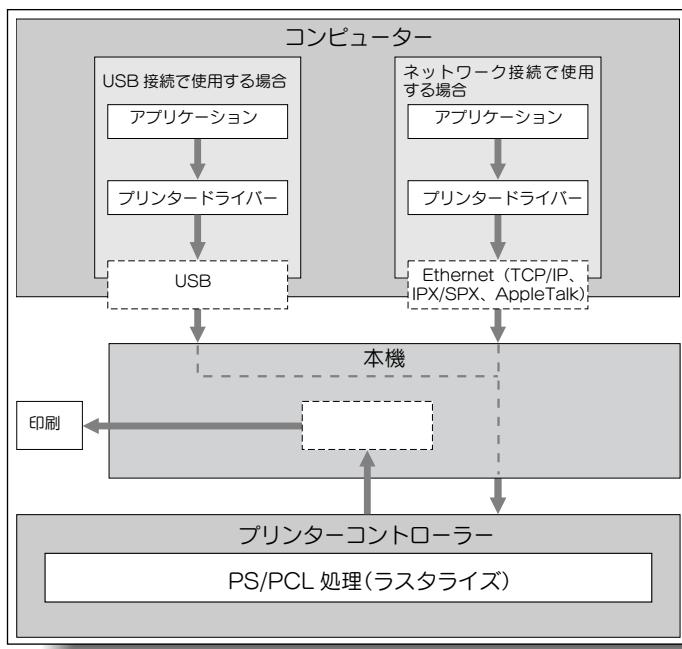
PC-FAX 送信については、「ユーザーズガイド ファクスドライバー機能編」をごらんください。

1.1.2 印刷の流れ

プリンターとして本プリントシステムを使用するときの大まかな処理の流れは以下のとおりです。

アプリケーションから送られた印刷コマンドは、プリンタードライバーが受け取ります。

USB 接続で使用する場合は USB インターフェース、ネットワーク接続で使用する場合は Ethernet (TCP/IP、IPX/SPX、AppleTalk) を通じてデータが本機に送られ、本機からプリンターコントローラーに渡されます。プリンターコントローラーでは画像のラスタライズ（出力する文字や画像をビットマップデータに展開する）処理が行われます。このデータが本機から印刷されます。



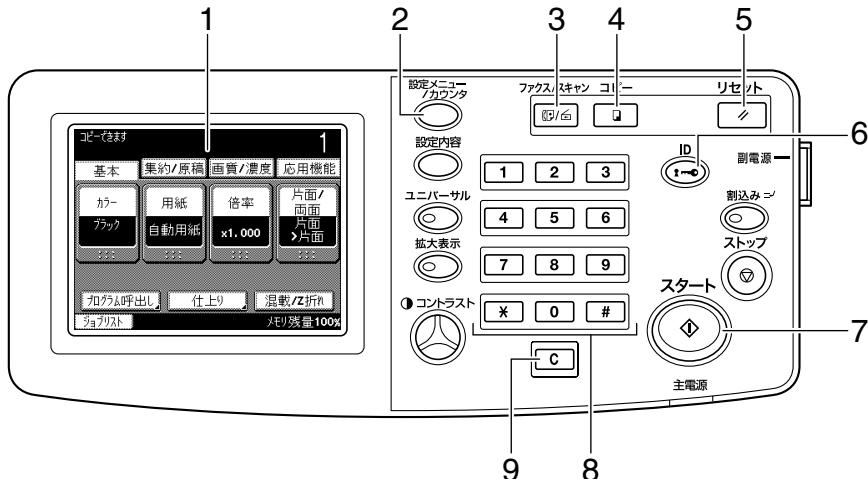
プリンターとして機能している途中で、コピー機能やネットワークスキャン機能の原稿読み取りを行うことができます。コピー機能を使用するときは、操作パネルの【コピー】を押すと、コピーができるようになります。

コピー中に印刷ジョブを受信したときは、データが本機のメモリに蓄積されます。コピーが終了すると自動的に出力を開始します。

1.1.3 操作パネル

プリンタードライバーの設定は主にコンピューターで行いますが、本機の操作パネルでフォントリストの印刷やコントローラーの設定、印刷時の初期設定ができます。

プリンター機能で利用する主なキーを紹介します。



No.	名称	説明
1	タッチパネル	各設定画面やメッセージが表示されます。タッチパネルに直接タッチして各設定を行います。
2	【設定メニュー / カウンター】キー	設定メニュー画面、セールスカウンタ画面に切換わります。
3	【ファックス / スキャン】キー	ファックス / スキャン機能に切換わります。ファックス / スキャン機能中は【ファックス / スキャン】が緑色に点灯します。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファックス／ネットワークファックス機能編」をごらんください。
4	【コピー】キー	コピー機能に切換わります。(初期設定ではコピー機能が選択されています。) コピー機能中は【コピー】が緑色に点灯します。詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
5	【リセット】キー	操作パネル、タッチパネルで入力した全ての設定(登録した設定は除く)がリセットされます。
6	【ID】キー	部門管理を設定している場合は部門名とパスワードを入力したあとにこのキーを押すと本機が使用できるようになります。
7	【スタート】キー	選択されている機能の動作を開始するときに押します。本機が動作を開始できる状態のときは、【スタート】が青色に点灯します。【スタート】がオレンジ色に点灯しているときは動作を開始できません。
8	テンキー	数字を入力します。管理者パスワードや各種設定値の入力に使用します。
9	【C】(クリア)キー	テンキーで入力した数値や画面のキーボードで入力した文字が取消されます。

ひとこと

印刷時の初期設定を変更する場合は、設定メニューで行います。

ひとこと

ファックス / スキャン機能、コピー機能のどのモードでも、本機をプリンターとして使用することができます。

1.2 動作環境

本プリンティングシステムを使うために必要なシステムと、接続に使用するインターフェースについて説明します。

1.2.1 接続できるコンピューターとOS

接続するコンピューターが、以下の条件を満たしていることを確認してください。

■ Windows

オペレーティングシステム	Windows 2000 Professional/Server (Service Pack 3 以降)、Windows XP Home Edition/Windows XP Professional、Windows XP Professional x64 Edition、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition、Windows Server 2003 Standard Edition、Windows Server 2003 x64 Edition、Windows Server 2008 Standard/Enterprise、Windows Server 2008 Standard/Enterprise x64
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリ	OS が推奨するメモリ容量 OS および使用するアプリケーションにおいて、メモリリソースが十分であること。
ドライブ	CD-ROM ドライブ

■ Macintosh

オペレーティングシステム	Macintosh OS 9.2/OS X (10.2.8、10.3、10.4、10.5)
CPU	PowerPC、Intel プロセッサー (Intel プロセッサーは、Mac OS X 10.4/10.5のみ)
メモリ	OS が推奨するメモリ容量
ドライブ	CD-ROM ドライブ

1.2.2 接続に使用するインターフェース

本プリンティングシステムとコンピューターを接続するには、以下の種類のインターフェースが使用できます。

■ Ethernet

本プリンティングシステムをネットワーク接続で使用するときに利用します。

100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。また、プロトコルは TCP/IP (LPD/LPR、IPP、SMB)、IPX/SPX (NetWare)、AppleTalk (EtherTalk) などに対応しています。

■ USB インターフェース

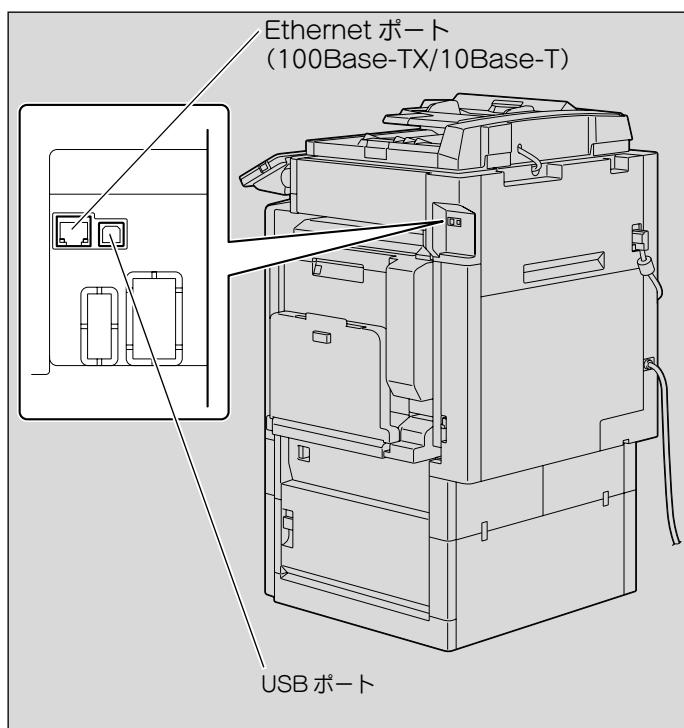
本プリンティングシステムを USB 接続で使用するときに利用します。

Windows コンピューターで接続できます。接続には USB ケーブルが必要です。USB ケーブルは A タイプ (4 ピンオス) - B タイプ (4 ピンオス) のものを使用してください。USB ケーブルは 3 m 以下をおすすめいたします。

■ 接続図

プリンターケーブルは、本機の各ポートに接続します。

本機背面



1.3 セットアップの流れ

本プリンティングシステムをご使用いただくためには、セットアップを行う必要があります。

セットアップとは、本機とコンピューターを接続し、プリンタードライバーをコンピューターへインストールする一連の準備をいいます。

セットアップする場合は、以下の流れとなります。

1.3.1 ネットワーク接続の場合

- 1** 本機とコンピューターを接続します。
- 2** 使用するコンピューターがネットワークに接続されていることを確認します。
- 3** 本機のIPアドレスを設定し、ネットワークに接続します。
- 4** 接続方法やプロトコルに応じて、本機のネットワーク設定を変更します。
 - LPR : 「TCP/IP 設定」で LPD 設定を使用可能にしておきます。
 - Port9100 : 「TCP/IP 設定」で RAW ポート設定を使用可能にし、RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を設定しておきます。
 - SMB : 「SMB 設定」の「プリント設定」を使用可能に設定しておきます。
 - IPP/IPPSS : 「IPP 設定」で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。
 - AppleTalk : 「AppleTalk 設定」で AppleTalk を使用可能に設定しておきます。
- 5** プリンタードライバーをインストールします。
 - 接続方法やプロトコルに応じてプリンタードライバーのネットワークポートを設定します。
- 6** スクリーンフォントをインストールします。
 - プリンタードライバーの CD-ROM には、欧文の TrueType フォントが「スクリーンフォント」として添付されています。スクリーンフォントは CD-ROM の ScreenFont または、Screen Fonts フォルダーにあります。
 - インストールについては、OS 標準のフォントの追加から行います。詳細は、OS のヘルプをごらんください。
 - Mac のフォントの場合は、フォントが圧縮されていますので、解凍後、インストールをしてください。

ひとこと

プリンタードライバーのインストール後は、印刷テストを行い、接続に問題がないことを確認してください。



- ・接続できるインターフェースについては、「[接続に使用するインターフェース](#)」(p. 1-6) をごらんください。
- ・ネットワークの設定については、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をごらんください。
- ・プリンタードライバーのインストールは、本機との接続方法やご使用になるコンピューターの OS、プリンタードライバーの種類によって、手順が異なります。詳しくは、「[インストールする前にお読みください](#)」(p. 2-1) をごらんください。
- ・既存のプリンタードライバーをアップデートする場合は、先に既存のプリンタードライバーを削除してください。詳しくは、「[プリンタードライバーのアンインストール](#)」(p. 6-1) をごらんください。
- ・必要に応じて、操作パネルの設定メニューでインターフェースのタイムアウト設定を行います。詳しくは、「[I/F タイムアウトの設定](#)」(p. 11-22) をごらんください。

1.3.2 ローカル接続の場合

1

本機とコンピューターを接続します。

2

プリンタードライバーをインストールします。

3

スクリーンフォントをインストールします。

- プリンタードライバーの CD-ROM には、欧文の TrueType フォントが「スクリーンフォント」として添付されています。スクリーンフォントは CD-ROM の ScreenFont または、Screen Fonts フォルダーにあります。
- インストールについては、OS 標準のフォントの追加から行います。詳細は、OS のヘルプをごらんください。

1.4 CD-ROM の構成

プリンターコントローラ用の CD には、以下のものがあります。

- bizhub C200 CD (プリンタードライバー)
- アプリケーション CD (PageScope Utilities)
- ユーザーズガイド CD

各 CD には、プリンタードライバー (Windows 用、Macintosh 用) やユーティリティのほかに、ユーザーズガイド、リリースノートなどのドキュメントデータやスクリーンフォントが収録されています。

ひとこと

- ・ユーザーズガイドでは、フォルダ名やファイル名をルートから記述していない場合があります。
- ・ファイルは全て JA (Japanese) フォルダー内のものをご使用ください。

第2章

インストールする前にお読みください

プリンタードライバーを選択するために必要な情報を説明します。

2.1	はじめに	2-2
2.2	各 OS にインストールできるプリンタードライバー	2-3
2.3	各 OS で選択可能な接続方法	2-4

2.1 はじめに

本章では、プリンタードライバーをインストールする前に、知っておいていただきたいことを説明しています。

プリンタードライバーのインストール方法は、ご使用になるコンピューターと本機の接続方法やコンピューターのOS、プリンタードライバーの種類によって、手順が異なります。

はじめに、お使いのコンピューターのOSや接続環境を確認し、インストールするプリンタードライバーと接続方法を決定してください。

インストール方法は、プリンタードライバーと接続方法によって選択してください。

2.2 各 OS にインストールできるプリンタードライバー

本プリントイングシステムを使用するためには、プリンタードライバーのインストールが必要です。

付属の CD に含まれるプリンタードライバーと、対応しているコンピューターの OS は以下のとおりです。必要なプリンタードライバーを選択してください。

プリンタードライバー	ページ記述言語	対応 OS
PCL コニカミノルタ製ドライバー (PCL ドライバー)	PCL5e/5c PCL XL	Windows 2000 Professional/Server (Service Pack 3 以降) Windows XP Home Edition/Windows XP Professional、Windows XP Professional x64 Edition Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition Windows Server 2003 Standard Edition、Windows Server 2003 x64 Edition Windows Server 2008 Standard/Enterprise、Windows Server 2008 Standard/Enterprise x64
PostScript コニカミノルタ製ドライバー (PS ドライバー)	PostScript 3 Emulation	Windows 2000 Professional/Server (Service Pack 3 以降) Windows XP Home Edition/Windows XP Professional、Windows XP Professional x64 Edition Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition Windows Server 2003 Standard Edition、Windows Server 2003 x64 Edition Windows Server 2008 Standard/Enterprise、Windows Server 2008 Standard/Enterprise x64
PostScript PPD ドライバー (PS-PPD)		Macintosh OS 9.2 以降 Macintosh OS X 10.2.8/10.3/10.4/10.5
ファクスドライバー		Windows 2000 Professional/Server (Service Pack 3 以降) Windows XP Home Edition/Windows XP Professional、Windows XP Professional x64 Edition Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition Windows Server 2003 Standard Edition、Windows Server 2003 x64 Edition Windows Server 2008 Standard/Enterprise、Windows Server 2008 Standard/Enterprise x64

ひとこと

ページ記述言語は、印刷に使用するアプリケーションに応じて選択してください。

ひとこと

ファクスドライバーについては、「ユーザーズガイド ファクスドライバー機能編」をごらんください。

2.3 各 OS で選択可能な接続方法

本機の接続方法はコンピューターの OS によって異なります。また、接続方法によってプリンタードライバーのインストール方法も異なります。接続方法には、ネットワーク接続と USB インターフェースでの接続があります。ネットワーク接続は、さらに使用するプロトコルによりプリンタードライバーのインストール方法が異なります。

ネットワーク接続 (Ethernet) :

ネットワークプリンターとして使用する接続方法です。

本プリンティングシステムは、100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。また、プロトコルは TCP/IP (LPD/LPR、IPP、SMB)、IPX/SPX (NetWare)、AppleTalk (EtherTalk) などに対応しています。

利用できるプロトコルはコンピューターの OS によって異なります。

USB インターフェース :

ローカルプリンターとして使用する接続方法です。Windows コンピューターで接続できます。

2.3.1 Windows 2000/XP/Server 2003

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
インストラーでセットアップが可能な接続方法	Port9100	PORT9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。	「インストラーによる簡易インストール (Windows)」(p. 3-1)
	IPP/IPPS	IPP (Internet Printing Protocol) プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP (HyperText Transfer Protocol) を利用し、インターネット経由で印刷できます。IPPS は、SSL による暗号化通信を行う IPP です。	* 接続方法はインストールの途中で選択します。接続方法が Port 9100、USB の場合は「標準印刷」、IPP の場合は「インターネット印刷」、IPPS の場合は「セキュリティ印刷」を選択してください。
	USB	USB ポートによる接続です。	

ひとこと

- ・ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、Administrator 権限のあるユーザー名でログオンしてプリンタードライバーをインストールしてください。

ひとこと

本書では、USB 接続のセットアップ方法として、プラグアンドプレイの方法のみ説明しています。

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
プリンタの追加ウィザードでセットアップが可能な接続方法	LPR	LPR (ラインプリンタリモート) プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに LPR を使用します。	「プリンタの追加 ウィザードによる 手動インストール」 (p. 4-1)
	Port9100	PORT9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。	
	SMB	Windows でファイル共有やプリンター共有を実現する SMB (Server Message Block) を利用したネットワーク接続です。TCP/IP のプロトコルに対応しています。	
	IPP/IPPS	IPP (Internet Printing Protocol) プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP (HyperText Transfer Protocol) を利用し、インターネット経由で印刷できます。IPPS は、SSL による暗号化通信を行う IPP です。	
	USB	USB ポートによる接続です。	
プラグアンドプレイでセットアップが可能な接続方法	USB	USB ポートによる接続です。	Windows XP/ Server 2003 : 「ローカル接続の場合」(p. 4-10) Windows 2000 : 「ローカル接続の場合」(p. 4-25)

2.3.2 Windows Vista/Server 2008

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
インストーラーでセットアップが可能な接続方法	Port9100	PORT9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。	<p>「インストーラによる簡易インストール (Windows)」(p. 3-1)</p> <p>* 接続方法はインストールの途中で選択します。接続方法が Port 9100、USB の場合は「標準印刷」を選択してください。</p>
	IPP/IPPS	IPP (Internet Printing Protocol) プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP (HyperText Transfer Protocol) を利用し、インターネット経由で印刷できます。IPPS は、SSL による暗号化通信を行う IPP です。	
	USB	USB ポートによる接続です。	
プリンタの追加ウィザードでセットアップが可能な接続方法	LPR	LPR (ラインプリンターリモート) プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに LPR を使用します。	<p>「プリンタの追加ウィザードによる手動インストール」(p. 4-1)</p>
	Port9100	PORT9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。	
	SMB	Windows でファイル共有やプリンター共有を実現する SMB (Server Message Block) を利用したネットワーク接続です。TCP/IP のプロトコルに対応しています。	
	IPP/IPPS	IPP (Internet Printing Protocol) プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP (HyperText Transfer Protocol) を利用し、インターネット経由で印刷できます。IPPS は、SSL による暗号化通信を行う IPP です。	
	USB	USB ポートによる接続です。	
プラグアンドプレイでセットアップが可能な接続方法	USB	USB ポートによる接続です。	Windows Vista : 「ローカル接続の場合」(p. 4-18)

ひとこと

- ・ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・Windows Vista/Server 2008 の場合は、Administrator 権限のあるユーザー名でログオンしてプリンタードライバーをインストールしてください。
- ・PCL ドライバー、PS ドライバーはインストーラーでもプリンタの追加ウィザードでもインストールできます。
- ・Windows Vista/Server 2008 の場合は、インストーラを使って IPPS 接続（セキュリティ印刷）のセットアップを行うことはできません。IPPS 接続にする場合は、プリンタの追加ウィザードでセットアップしてください。詳しくは、「[ネットワーク接続 \(IPP/IPPS\) の場合](#) (p. 4-16)」をごらんください。

2.3.3 Macintosh OS X 10.2/10.3/10.4/10.5

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
インストーラーでセットアップが可能な接続方法	AppleTalk	AppleTalk によるネットワーク接続です。	「Macintosh のインストール」(p. 5-1) * 接続方法はプリンターの選択で指定します。
	LPR	LPR プリントサービスによるネットワーク接続です。	
	IPP	IPP プリントサービスによるネットワーク接続です。	



ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

2.3.4 NetWare について

NetWare バージョン	使用するプロトコル	接続方法
NetWare 4.x	IPX	Bindery Pserver Nprinter/Rprinter
NetWare 5.x	IPX	NDS Pserver Nprinter/Rprinter
	TCP/IP	NDPS
NetWare 6.x	IPX	NDS Pserver
	TCP/IP	NDPS

ひとこと

- NetWare の機能の詳細は、NetWare の操作説明書をごらんください。
- NetWare 環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- 本機のプリンタードライバーは NetWare 環境での印刷には対応していません。

第3章

インストーラーによる簡易インストール (Windows)

インストーラーを利用して Windows プリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

3.1 インストーラーについて	3-2
3.2 インストーラーによる簡単インストール手順	3-3

3.1 インストーラーについて

本インストーラーを利用すると、コンピューターと同じ TCP/IP ネットワーク上の本機や、USB で接続されている本機が自動的に検出され、必要なプリンタードライバーがインストールされます。また、接続先を手動で指定してインストールすることもできます。

3.1.1 インストーラーの動作環境

OS	Windows 2000 Professional/Server (Service Pack 3 以降)、Windows XP Home Edition/Windows XP Professional、Windows XP Professional x64 Edition、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition、Windows Server 2003 Standard Edition、Windows Server 2003 x64 Edition、Windows Server 2008 Standard/Enterprise、Windows Server 2008 Standard/Enterprise x64
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリ	OS が推奨するメモリ容量 OS および使用するアプリケーションにおいて、メモリリソースが十分であること。

ひとこと

- Windows 2000/XP/Vista/Server 2003/Server 2008 にインストールするときは、管理者権限が必要です。
- USB で接続していて、新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックしてください。

3.2 インストーラーによる簡単インストール手順

3.2.1 本機の設定

本機のIPアドレスを設定しておきます。

接続方法やプロトコルに応じて、本機のネットワーク設定を変更します。

- Port9100：「TCP/IP 設定」で RAW ポート設定を使用可能にし、RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を設定しておきます。
- IPP/IPPS：「IPP 設定」で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

ひとこと

ネットワーク接続の場合は、本機を自動的に検出するため、あらかじめ本機に IP アドレスを設定しておく必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

- ・本機の IP アドレス、RAW ポート番号設定、IPP 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

Windows Vista/Server 2008 にインストールする場合、「ユーザー アカウント制御」に関する画面が表示されるときは、「許可」または「続行」をクリックします。

3.2.2 プリンタードライバーをインストール

1

プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

- インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。
- インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて「Setup.exe」をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。

2

「プリンタのインストール」をクリックします。

プリンタードライバーのインストーラーが起動します。

3

使用許諾契約書の全ての条項に同意する場合は、[同意します] をクリックします。

- 同意していただけない場合は、インストールできません。
- 左下のボックスでインストーラーの表示言語を変更できます。

- 右下のボックスで使用許諾契約書の表示言語を変更できます。



4

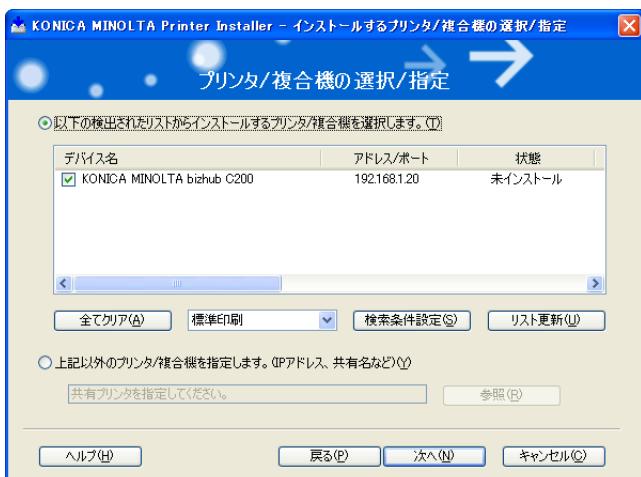
セットアップの内容を選択する画面が表示された場合は、「プリンタのインストール」を選択して「次へ」をクリックします。

接続されているプリンター・複合機が検出されます。

5

プリンタ / 複合機を指定します。

- 自動的に検出された本機を選択して「次へ」をクリックします。手順 8 へ進みます。
- 印刷の方法は、標準印刷（Port9100、USB）のほか、インターネット印刷（IPP）やセキュリティ印刷（IPPS）を選択できます。ただし、セキュリティ印刷（IPPS）は、Assistant tool for C200 で SSL が ON になっており、かつ IPP が有効な場合に利用できます。
- 本機の接続が認識できず、リストに表示されない場合は、「上記以外のプリンタ / 複合機を指定します。（IP アドレス、共有名など）」を選択して「参照」をクリックします。手順 6 へ進みます。



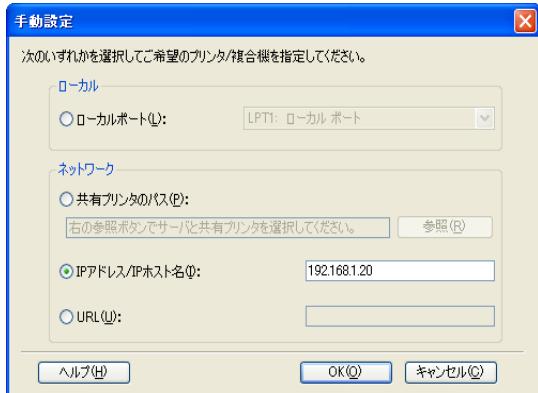
ひとこと

- 本機の接続が認識できないときは、リストに表示されません。プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たつてから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。
- Windows Vista/Server 2008 の場合は、インストーラを使って IPPS 接続（セキュリティ印刷）のセットアップを行うことはできません。IPPS 接続にする場合は、プリンタの追加ウィザードでセットアップしてください。詳しくは、「[ネットワーク接続（IPP/IPPS）の場合](#)」（p. 4-16）をごらんください。

6

接続の方法を選択して [OK] をクリックします。

- Port9100 で接続する場合は、「IP アドレス /IP ホスト名」を選択して IP アドレスを入力します。
- 接続機器が見つからない内容のメッセージ画面が表示されるときは、[OK] をクリックします。



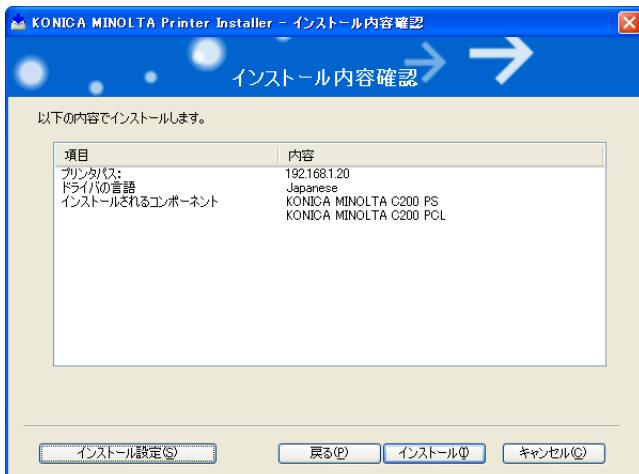
7

「プリンタ / 複合機の選択 / 指定」画面で [次へ] をクリックします。

8

インストール内容を確認します。

- 変更する場合は「インストール設定」をクリックし、手順 9 に進みます。
- 変更しない場合は手順 10 に進みます。



9

インストールするコンポーネントを選択し、[OK] をクリックします。



ファクスドライバーについては、「ユーザーズガイド ファクスドライバー機能編」をごらんください。

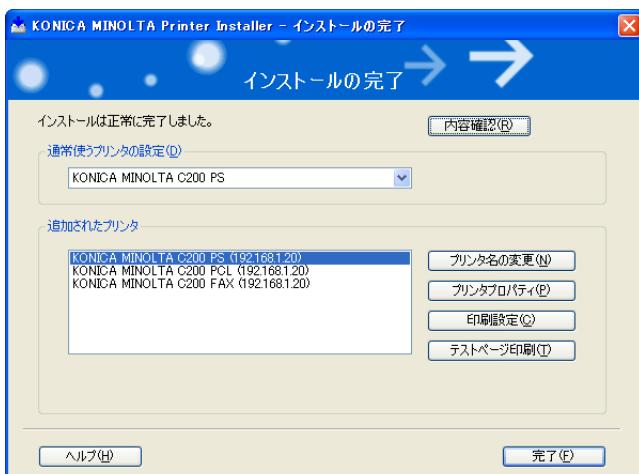
10

「インストール内容確認」画面で「インストール」をクリックします。

- Windows 2000/XP/Server 2003 で「Windows ロゴテスト」、「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- Windows Vista/Server 2008 で「Windows セキュリティ」の発行元検証に関する画面が表示されるときは、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。

11

「インストールの完了」画面で「完了」をクリックします。
インストールが完了します。



「インストールの完了」画面では、インストール項目の確認や設定変更を行えます。

[内容確認]：インストール内容を確認します。

[プリンタ名の変更]：プリンター名を変更します。

[プリンタプロパティ]：プリンターのプロパティ設定を行います。詳しくは、「[プリンタードライバーの初期設定](#) (p. 7-3)」をごらんください。

[印刷設定]：プリンタードライバーの各種機能を設定します。詳しくは、「[設定項目詳細](#) (p. 7-7)」をごらんください。

[テストページ印刷]：テスト印刷を行います。

ひとこと

共有設定は「プリンタ」ウィンドウまたは「プリンタとFAX」ウィンドウからプリンターのプロパティ画面を開いて変更してください。

第4章

プリンタの追加ウィザードによる手動 インストール

インストーラーを利用せず、Windows 標準のプリンター追加機能で Windows プリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

4.1	Windows XP/ Server 2003	4-2
4.2	Windows Vista/Server 2008	4-11
4.3	Windows 2000	4-19

4.1 Windows XP/ Server 2003

4.1.1 ネットワーク接続 (LPR/Port9100) の場合

LPR/Port9100 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

■ 本機の IP アドレス設定

本機の「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。

■ 本機の RAW ポート番号設定

Port9100 印刷を利用する場合は、本機の「TCP/IP 設定」で RAW ポート設定を使用可能にし、RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を設定しておきます。

■ 本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の「TCP/IP 設定」で LPD 設定を使用可能にしておきます。

■ プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

- 1 プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 [スタート] をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。
- 3 Windows XP の場合は、「プリンタのタスク」メニューから「プリンタのインストール」をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、「プリンタの追加」をダブルクリックします。



「プリンタの追加ウィザード」が起動します。

- 4 [次へ] をクリックします。



本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



本機の RAW ポート番号の設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



本機の LPD 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

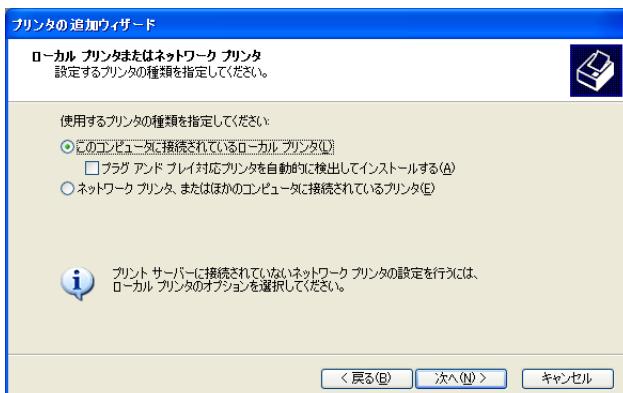
Windows XP/Server 2003 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

ひとこと

[スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

5

- 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックします。
- 「プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックは外しておきます。



「プリンタポートの選択」ダイアログボックスが表示されます。

6

- 「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類で「Standard TCP/IP Port」を選択します。



7

- [次へ] をクリックします。
「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が起動します。

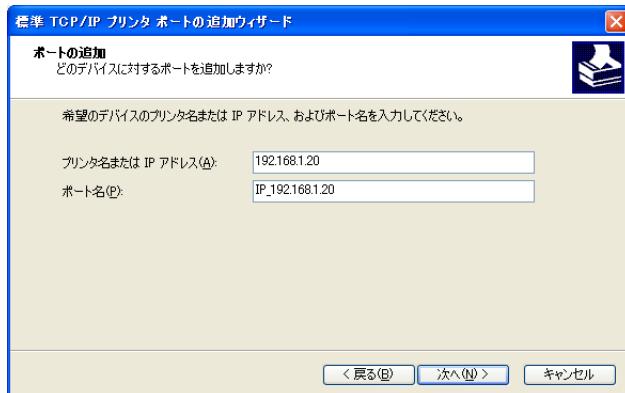
8

- [次へ] をクリックします。

9

「プリンタ名または IP アドレス」ボックスに本機の IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

- 「ポート情報がさらに必要です」画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。
- 「完了」画面が表示される場合は、手順 13 へ進みます。



ひとこと

本機で LPR と Port9100 の両方が有効に設定されている場合、プリンタードライバーと本機は LPR で接続されます。

10

「カスタム」をチェックし、[設定] をクリックします。

11

ポートに合わせて設定を変更し、[OK] をクリックします。

- LPR 接続の場合は、「LPR」をチェックし、「 QUEUE 名」ボックスに「Print」と入力します。
- Port9100 の場合は、「RAW」をチェックし、「ポート番号」ボックスに RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を入力します。

12

[次へ] をクリックします。

13

[完了] をクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

14

[ディスク使用] をクリックします。

15

[参照] をクリックします。

16

CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
Windows XP/Server 2003 : PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー

17

[OK] をクリックします。

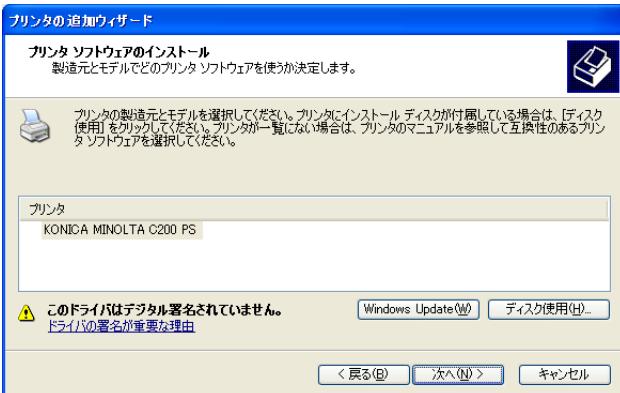
「プリンタ」リストが表示されます。

ひとこと

大文字、小文字も正確に入力する必要があります。

18

[次へ] をクリックします。



19

画面の指示にしたがって操作します。

20

[完了] をクリックします。

21

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタとFAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。

22

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

4.1.2 ネットワーク接続 (SMB) の場合

SMB 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でプリンターを指定してポートを設定します。プリンターはネットワークを検索して選択することも、直接プリンター名を入力することもできます。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。

■ 本機の SMB 設定

本機の「SMB 設定」の「プリント設定」で NetBIOS 名、プリントサービス名、ワークグループを設定しておきます。

■ プリンタの追加ウィザードでプリンターを指定してプリンタードライバーをインストール

1

プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

ひとこと

- ・「Windows ロゴテスト」、「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、「続行」をクリックします。
- ・ネットワーク接続の場合は、ネットワーク設定完了後にテスト印刷を行ってください。



本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



本機の SMB 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

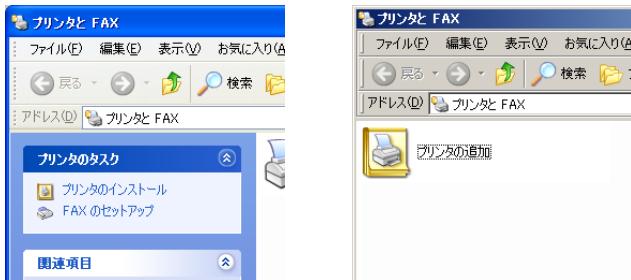
Windows XP/Server 2003 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

2

[スタート] をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。

3

Windows XP の場合は、「プリンタのタスク」メニューから「プリンタのインストール」をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、「プリンタの追加」をダブルクリックします。



「プリンタの追加ウィザード」が起動します。

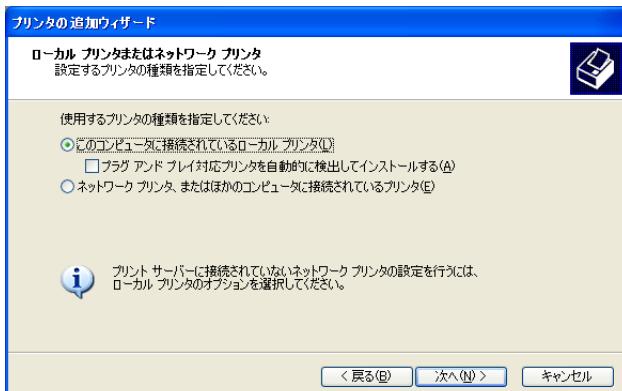
4

[次へ] をクリックします。

5

「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックします。

- 「プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックは外しておきます。



「プリンタポートの選択」ダイアログボックスが表示されます。

ひとこと

[スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

6

- 「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類で「Local Port」を選択します。



7

- 「ポート名」ボックスに「¥¥NetBIOS 名¥¥プリントサービス名」を入力します。

8

- [OK] をクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

9

- [ディスク使用] をクリックします。

10

- [参照] をクリックします。

11

- CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

選択できるプリンタードライバー：

Windows XP/Server 2003 : PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー

12

- [OK] をクリックします。

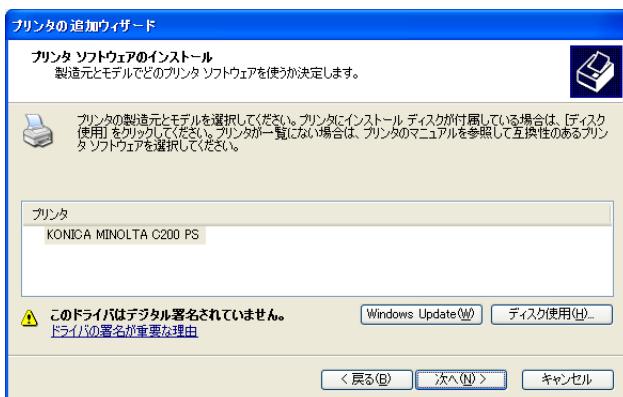
「プリンタ」リストが表示されます。

13

- [次へ] をクリックします。

ひとこと

NetBIOS 名とプリントサービス名は、本機の「SMB 設定」の「プリント設定」と同じ名前を入力してください。



14

画面の指示にしたがって操作します。

15

[完了] をクリックします。

16

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタと FAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。

17

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

ひとこと

- ・「Windows ロゴテスト」、「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- ・ネットワーク接続の場合は、ネットワーク設定完了後にテスト印刷を行ってください。

4.1.3 ネットワーク接続 (IPP/IPPS) の場合

IPP 印刷の場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

■ 本機の IPP 設定

本機の「IPP 設定」で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

■ プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール**1**

プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2

[スタート] をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。

3

Windows XP の場合は、「プリンタのタスク」メニューから「プリンタのインストール」をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、「プリンタの追加」をダブルクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が起動します。

4

[次へ] をクリックします。

5

「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ」画面で、「ネットワークプリンタまたはほかのコンピュータに接続されているプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックします。



本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



- ・本機の IPP 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

Windows XP/Server 2003 にインストールするときは、管理者権限が必要です。



[スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

6

「プリンタの指定」画面で、「インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する」を選択します。

7

「URL」フィールドに、以下の形式で、本機の URL を入力し、[次へ] をクリックします。

- `http:// <本機の IP アドレス> /ipp`

例：本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合
`http://192.168.1.20/ipp`

ひとこと

IPPS 印刷に設定するときは
「`https:// <本機の IP アドレス> /ipp`」を入力してください。

8

[ディスク使用] をクリックします。

9

[参照] をクリックします。

10

CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

選択できるプリンタードライバー：
Windows XP/Server 2003 : PCL ドライバー、PS ドライバー

ひとこと

確認のダイアログが表示された場合は、[OK] をクリックします。

11

[OK] をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

12

[OK] をクリックします。

13

画面の指示にしたがって操作します。

14

[完了] をクリックします。

15

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタと FAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。

16

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

ひとこと

「Windows ロゴテスト」、「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。

設定が完了したプリンターは、通常のローカルプリンターと同様に使用できます。

4.1.4 ローカル接続の場合

USB ポートで接続する場合は、プラグアンドプレイでプリンタードライバーをインストールできます。

- 1** 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。
- 2** プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 3** 本機の主電源を入れます。
「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログが表示されます。
- 4** 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、[次へ] をクリックします。
○ 「Windows アップデートに接続する」画面が表示された場合は、「いいえ」を選択します。
- 5** 「次の場所で最適のドライバーを検索する」から「次の場所を含める」を選択し、[参照] をクリックします。
- 6** CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。
○ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
Windows XP/Server 2003 : PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー
- 7** [次へ] をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。
- 8** [完了] をクリックします。
- 9** インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタと FAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。
- 10** CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。
これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

ひとこと

USB 接続の場合、プラグアンドプレイが簡単ですが、プリンタの追加ウィザードでもプリンタードライバーをインストールできます。プリンタの追加ウィザードを利用する場合は、「プリンタポートの選択」で接続する USB ポートを選択してください。



コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

ひとこと

「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログが表示されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。

電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

ひとこと

「Windows ロゴテスト」、「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[続行] をクリックします。

4.2 Windows Vista/Server 2008

4.2.1 ネットワーク接続 (LPR/Port9100 SMB) の場合

Windows Vista/Server 2008 では、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

■ 本機の IP アドレス設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。



本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



本機のポート設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



本機の LPD 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



本機の SMB 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

- Windows Vista/Server 2008 にインストールするときは、管理者権限が必要です。
- インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。

ひとこと

「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。

■ 本機の RAW ポート番号設定

Port9100 印刷を利用する場合は、本機の「TCP/IP 設定」で RAW ポート設定を使用可能にし、RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を設定しておきます。

■ 本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の「TCP/IP 設定」で LPD 設定を使用可能にしておきます。

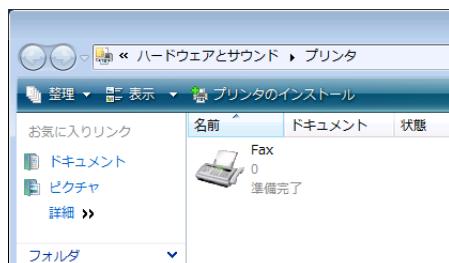
■ 本機の SMB 設定

本機の「SMB 設定」の「プリント設定」で NetBIOS 名、プリントサービス名、ワークグループを設定しておきます。

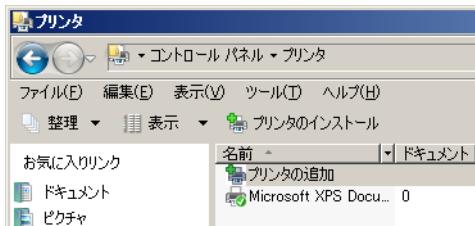
■ プリンタの追加でプリンターを検索してプリンタードライバーをインストール

- 1 プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 [スタート] をクリックして、「コントロールパネル」をクリックします。
- 3 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。「プリンタ」ウィンドウが開きます。
- 4 ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。

Windows Vista の場合：



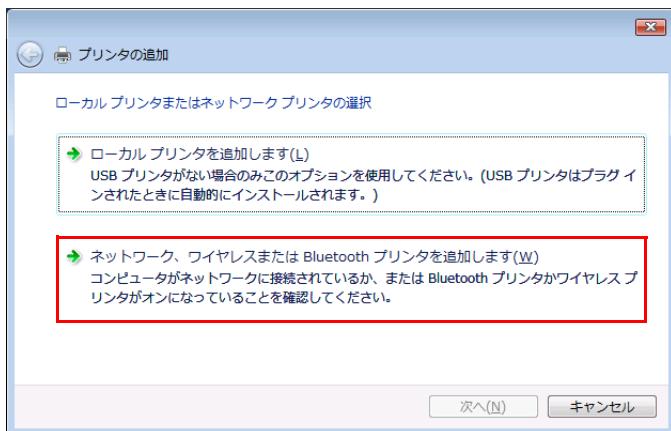
Windows Server 2008 の場合：



「プリンタの追加」が表示されます。

5

「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」をクリックします。

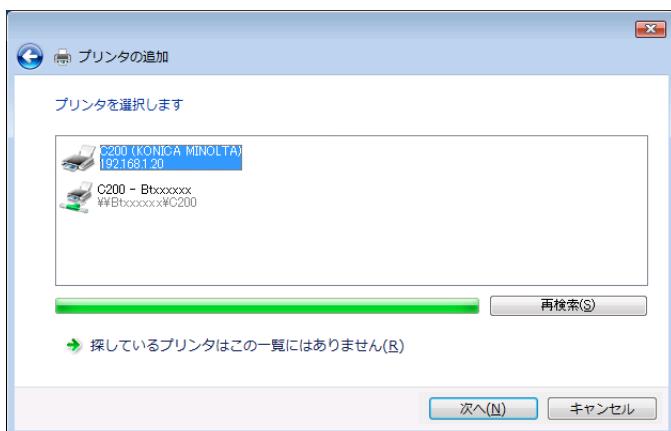


接続されているプリンターが検出されます。

6

一覧から本機を選択して、[次へ] をクリックします。

- LPR/Port9100 接続の場合は、IP アドレスのプリンターを選択します。
- SMB 接続の場合は、「¥NetBIOS 名¥プリントサービス名」のプリンターを選択します。



7

[ディスク使用] をクリックします。

8

[参照] をクリックします。

ひとこと

プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。

電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

ひとこと

全てのプリンターを検索するまでに時間がかかる場合があります。

9

CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
Windows Vista : PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー

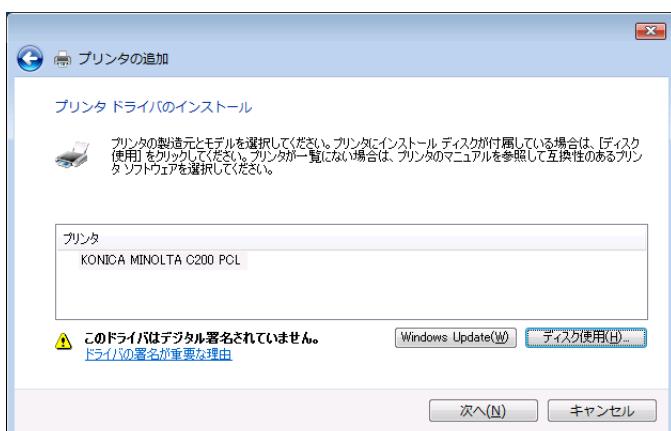
10

[OK] をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

11

[次へ] をクリックします。



12

画面の指示にしたがって操作します。

13

[完了] をクリックします。

14

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

15

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

■ プリンタの追加でポートを作成してプリンタードライバーをインストール

1

プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2

[スタート] をクリックして、「コントロールパネル」をクリックします。

3

「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。「プリンタ」ウィンドウが開きます。

ひとこと

ひとこと

- ・Windows Vista/Server 2008 にインストールするときは、管理者権限が必要です。
- ・インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。

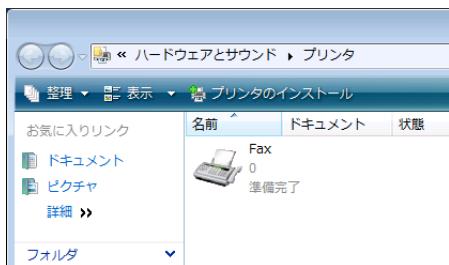
ひとこと

「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。

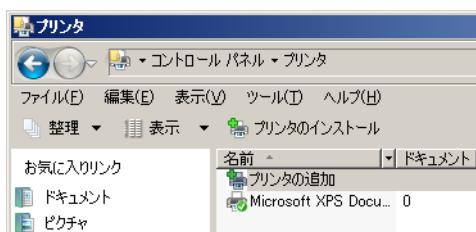
4

ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。

Windows Vista の場合：



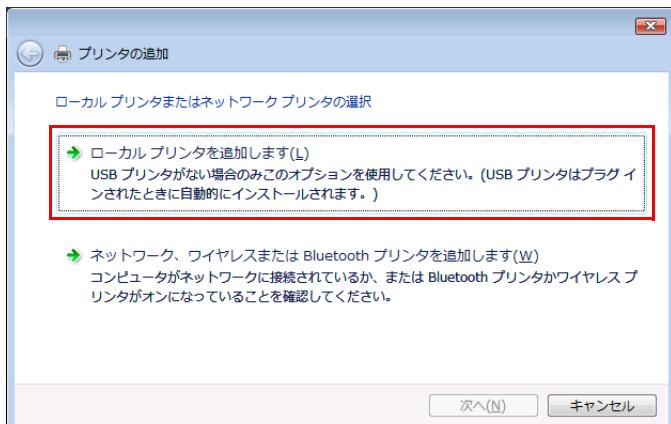
Windows Server 2008 の場合：



「プリンタの追加」が表示されます。

5

「ローカル プリンタを追加します」をクリックします。



プリンタポートの選択ダイアログボックスが表示されます。

6

「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類を選択します。

- LPR/Port9100 接続の場合は、「Standard TCP/IP Port」を選択します。
- SMB 接続の場合は、「Local Port」を選択します。

7

[次へ] をクリックします。

8

IP アドレスやポートを設定します。

- LPR/Port9100 接続の場合は、「TCP/IP デバイス」を選択し、IP アドレスを入力します。
- SMB 接続の場合は、「ポート名」ボックスに「¥¥ NetBIOS 名¥ プリントサービス名」を入力します。

9

[次へ] をクリックします。

- 「ポート情報がさらに必要です」画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。
- プリンタドライバのインストールダイアログボックスが表示される場合は、手順 13 へ進みます。

10

「カスタム」をチェックし、[設定] をクリックします。

11

ポートに合わせて設定を変更し、[OK] をクリックします。

- LPR 接続の場合は、「LPR」をチェックし、「キュー名」ボックスに「Print」と入力します。
- Port9100 の場合は、「RAW」をチェックし、「ポート番号」ボックスに RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を入力します。

12

[次へ] をクリックします。

プリンタドライバのインストールダイアログボックスが表示されます。

13

[ディスク使用] をクリックします。

14

[参照] をクリックします。

15

CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
Windows Vista : PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー

16

[OK] をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

ひとこと

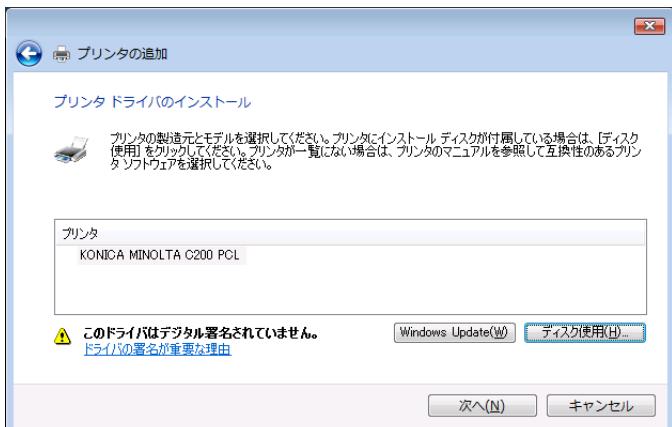
- ・本機で LPR と Port9100 の両方が有効に設定されている場合、プリンタードライバーと本機は LPR で接続されます。
- ・NetBIOS 名とプリントサービス名は、本機の「SMB 設定」の「プリント設定」と同じ名前を入力してください。

ひとこと

大文字、小文字も正確に入力する必要があります。

17

[次へ] をクリックします。



18

画面の指示にしたがって操作します。

19

[完了] をクリックします。

20

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

21

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

4.2.2 ネットワーク接続 (IPP/IPPS) の場合

IPP 印刷の場合は、ネットワーク設定を行ってからプリンタードライバーをインストールします。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

■ 本機の IPP 設定

本機の「IPP 設定」で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

■ プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

1

プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2

[スタート] をクリックして、「コントロールパネル」をクリックします。

ひとこと

- 「ユーザー アカウント制御」に関する画面が表示されるときは、「続行」をクリックします。
- 「Windows セキュリティ」の「発行元検証」に関する画面が表示されるときは、「このドライバ ソフトウェアをインストールします」をクリックします。

参照

本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

参照

- 本機の IPP 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

Windows Vista/Server 2008 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

- 3** 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。
「プリンタ」ウィンドウが開きます。
- 4** ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。
「プリンタの追加」が表示されます。
- 5** 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」をクリックします。
接続されているプリンターが検索されます。
- 6** 検索された画面で、「探しているプリンタはこの一覧にはありません」をクリックします。
- 7** 「共有プリンタを名前で選択する」ボックスに、以下の形式で、本機の URL を入力し、[次へ] をクリックします。
 - http:// <本機の IP アドレス> /ipp
例：本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合
http://192.168.1.20/ipp
- 8** [ディスク使用] をクリックします。
- 9** [参照] をクリックします。
- 10** CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。
 - 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
Windows Vista : PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー
- 11** [OK] をクリックします。
「プリンタ」リストが表示されます。
- 12** [次へ] をクリックします。
- 13** 画面の指示にしたがって操作します。
- 14** [完了] をクリックします。
- 15** インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。
- 16** CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。
これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

ひとこと

「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。

ひとこと

- ・ IPPS 印刷に設定するときは「https://<ホスト名>. <ドメイン名> /ipp」を入力してください。<ホスト名>、<ドメイン名>は、お使いの DNS サーバーに登録されているものを指定してください。
- ・ 本機の証明書が証明機関により発行されたものでない場合は、Windows Vista/Server 2008 でコンピュータアカウント用の信頼されたルート証明機関の証明書として本機の証明書を登録しておく必要があります。
- ・ 本機に証明書を登録する際、<ホスト名>. <ドメイン名>が証明書の COMMONNAME に表示されていることを確認してください。

ひとこと

- ・「ユーザー アカウント制御」に関する画面が表示されるときは、[続行] をクリックします。
- ・「Windows セキュリティ」の「発行元検証」に関する画面が表示されるときは、「このドライバ ソフトウェアをインストールします」をクリックします。

設定が完了したプリンターは、通常のローカルプリンターと同様に使用できます。

4.2.3 ローカル接続の場合

USB ポートで接続する場合は、プラグアンドプレイでプリンタードライバーをインストールできます。

- 1** 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。
- 2** 本機の主電源を入れます。
「新しいハードウェアが見つかりました」ダイアログが表示されます。
- 3** 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）」をクリックします。
ディスクを要求するダイアログが表示されます。
- 4** プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
ディスク内の情報が検索され、本機に対応するソフトウェアの一覧が表示されます。
- 5** 目的のプリンタードライバー名を指定し、[次へ] をクリックします。
 - 選択できるプリンタードライバー：PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー
- 6** 画面の指示にしたがって操作します。
- 7** インストールが終了したら [閉じる] をクリックします。
- 8** インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。
- 9** CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。
これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

ひとこと

USB 接続の場合、プラグアンドプレイが簡単ですが、プリンタの追加ウィザードでもプリンタードライバーをインストールできます。プリンタの追加ウィザードを利用する場合は、「プリンタポートの選択」で接続する USB ポートを選択してください。



コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

ひとこと

「新しいハードウェア」ダイアログが表示されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON してください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

ひとこと

ディスクがない場合は、「ディスクはありません。他の方法を試します」をクリックします。次の画面で「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）」を選択して目的のプリンタードライバーフォルダーを指定してください。

ひとこと

- ・「ユーザー アカウント制御」に関する画面が表示されるときは、[続行] をクリックします。
- ・「Windows セキュリティ」の「発行元検証」に関する画面が表示されるときは、「このドライバ ソフトウェアをインストールします」をクリックします。

4.3 Windows 2000

4.3.1 ネットワーク接続 (LPR/Port9100) の場合

LPR/Port9100 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

■ 本機の IP アドレス設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。



本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



本機の RAW ポート番号の設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



本機の LPD 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

Windows 2000 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

■ 本機の RAW ポート番号設定

Port9100 印刷を利用する場合は、本機の「TCP/IP 設定」で RAW ポート設定を使用可能にし、RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を設定しておきます。

■ 本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の「TCP/IP 設定」で LPD 設定を使用可能にしておきます。

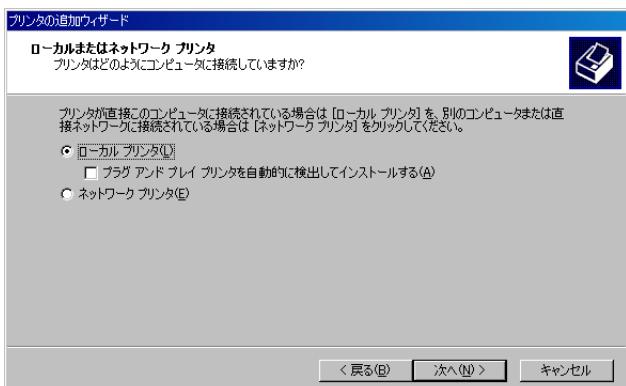
■ プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

- 1 プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 [スタート] をクリックして、「設定」 – 「プリンタ」をクリックします。
- 3 「プリンタの追加」をダブルクリックします。
「プリンタの追加ウィザード」が起動します。
- 4 画面の指示にしたがって操作します。

5

接続方法を指定する画面で、「ローカルプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックします。

- 「プラグ アンド プレイプリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックは外しておきます。



「プリンタポートの選択」ダイアログボックスが表示されます。

6

「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類で「Standard TCP/IP Port」を選択します。

7

[次へ] をクリックします。

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が起動します。

8

[次へ] をクリックします。

9

「プリンタ名または IP アドレス」ボックスに本機の IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

- 「ポート情報がさらに必要です」画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。
- 「完了」画面が表示される場合は、手順 13 へ進みます。

10

「カスタム」をチェックし、[設定] をクリックします。

11

ポートに合わせて設定を変更し、[OK] をクリックします。

- LPR 接続の場合は、「LPR」をチェックし、「キュー名」ボックスに「Print」と入力します。
- Port9100 の場合は、「RAW」をチェックし、「ポート番号」ボックスに RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を入力します。

12

[次へ] をクリックします。

13

[完了] をクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

14

[ディスク使用] をクリックします。



15

[参照] をクリックします。

16

CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

○ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、

OS、言語に応じて選択してください。

選択できるプリンタードライバー：

Windows 2000 : PCL ドライバー、PS ドライバー、ファ
クスドライバー

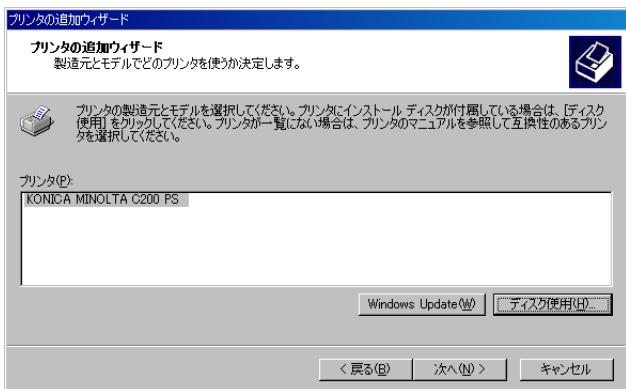
17

[OK] をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

18

[次へ] をクリックします。



19

画面の指示にしたがって操作します。

20

[完了] をクリックします。

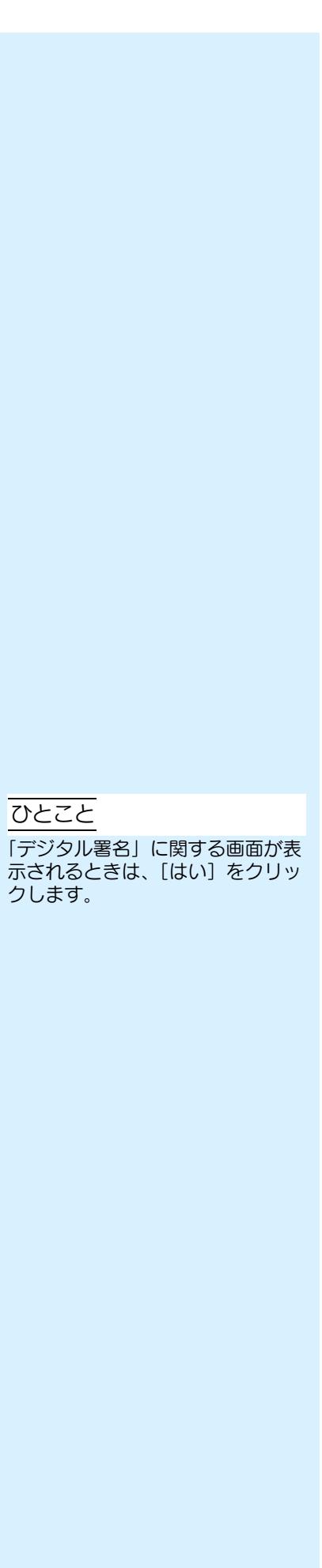
21

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

22

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。



ひとこと

「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[はい] をクリックします。

4.3.2 ネットワーク接続（SMB）の場合

SMB 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でプリンターを指定してポートを設定します。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

■ 本機の SMB 設定

本機の「SMB 設定」の「プリント設定」で NetBIOS 名、プリントサービス名、ワークグループを設定しておきます。

■ プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

- 1** プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2** [スタート] をクリックして、「設定」 – 「プリンタ」をクリックします。
- 3** 「プリンタの追加」をダブルクリックします。
「プリンタの追加ウィザード」が起動します。
- 4** 画面の指示にしたがって操作します。
- 5** 接続方法を指定する画面で、「ローカルプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックします。
○ 「プラグ アンド プレイプリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックは外しておきます。
「プリンタポートの選択」ダイアログボックスが表示されます。
- 6** 「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類で「Local Port」を選択します。
- 7** [次へ] をクリックします。
- 8** 「ポート名」ボックスに「¥NetBIOS 名¥プリントサービス名」を入力します。
- 9** [開く] をクリックします。
「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。
- 10** [ディスク使用] をクリックします。
- 11** [参照] をクリックします。



本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



本機の SMB 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

Windows 2000 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

ひとこと

NetBIOS 名とプリントサービス名は、本機の「SMB 設定」の「プリント設定」と同じ名前を入力してください。

12

CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
Windows 2000 : PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー

13

[OK] をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

14

[次へ] をクリックします。

15

画面の指示にしたがって操作します。

16

[完了] をクリックします。

17

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

18

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

ひとこと

「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[はい] をクリックします。

4.3.3 ネットワーク接続 (IPP/IPPS) の場合

IPP 印刷の場合は、ネットワーク設定を行ってからプリンタードライバーをインストールします。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。



本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



- ・ 本機の IPP 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・ IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

Windows 2000 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

■ プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

1

プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2

[スタート] をクリックして、「設定」 – 「プリンタ」をクリックします。

- 3** 「プリンタの追加」をダブルクリックします。
「プリンタの追加ウィザード」が起動します。
- 4** [次へ] をクリックします。
- 5** 「ローカルまたはネットワークプリンタ」画面で、「ネットワークプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックします。
- 6** 「プリンタの検索」画面で、「インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します」を選択します。
- 7** 「URL」フィールドに、以下の形式で、本機の URL を入力し、[次へ] をクリックします。
 - `http:// <本機の IP アドレス> /ipp`
例：本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合
`http://192.168.1.20/ipp`
- 8** 確認のダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。
- 9** [ディスク使用] をクリックします。
- 10** [参照] をクリックします。
- 11** CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。
 - 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
Windows 2000 : PCL ドライバー、PS ドライバー
- 12** [OK] をクリックします。
「プリンタ」リストが表示されます。
- 13** [OK] をクリックします。
- 14** 画面の指示にしたがって操作します。
- 15** [完了] をクリックします。
- 16** インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタと FAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。
- 17** CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。
これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

ひとこと

IPPS 印刷に設定するときは
[https:// <本機の IP アドレス> /ipp] を入力してください。

ひとこと

「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[はい] をクリックします。

設定が完了したプリンターは、通常のローカルプリンターと同様に使用できます。

4.3.4 ローカル接続の場合

USB ポートで接続する場合は、プラグアンドプレイでプリンタードライバーをインストールできます。

- 1** 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。
- 2** プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 3** 本機の主電源を入れます。
「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログが表示されます。
- 4** 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、[次へ] をクリックします。
- 5** 「場所の指定」を選択し、[次へ] をクリックします。
- 6** CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。
 - 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
Windows 2000 : PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー
- 7** [OK] をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。
- 8** [完了] をクリックします。
- 9** インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタと FAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。
- 10** CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。
これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

ひとこと

USB 接続の場合、プラグアンドプレイが簡単ですが、プリンタの追加ウィザードでもプリンタードライバーをインストールできます。プリンタの追加ウィザードを利用する場合は、「プリンタポートの選択」で接続する USB ポートを選択してください。



コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

ひとこと

「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログが表示されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。

電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

ひとこと

「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[はい] をクリックします。



第5章

Macintosh のインストール

Macintosh を使用する場合に必要な設定と Macintosh 用プリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

5.1	Macintosh OSX 10.2/10.3/10.4/10.5	5-2
5.2	Macintosh OS 9.2	5-14

5.1 Macintosh OSX 10.2/10.3/10.4/10.5

5.1.1 プリンタードライバーのインストール

1

Macintosh を起動します。

2

プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

3

CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを開きます。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

4

Mac OS のバージョンに合わせて、ドライバー用のファイルをデスクトップ上にコピーします。

- OS X 10.2 : KONICAMINOLTA_C200_102.pkg
- OS X 10.3 : KONICAMINOLTA_C200_103.pkg
- OS X 10.4 : KONICAMINOLTA_C200_103.pkg
- OS X 10.5 : KONICAMINOLTA_C200_105.pkg

5

デスクトップ上にコピーしたファイルをダブルクリックします。

6

「インストール」画面が表示されるまで、画面の指示にしたがって [続ける] をクリックします。

7

「簡易インストール」画面で、「インストール」をクリックします。

プリンタードライバーがコンピューターにインストールされます。インストールが終了すると、メッセージが表示されます。



ひとこと

アプリケーションソフトが起動しているときは、全て終了しておきます。

ひとこと

OS X 10.5 では使用する用紙サイズによってドライバ用ファイルが異なります。使用環境に合わせて選択してください。

おもにメトリックサイズ (A4 など) で印刷する場合：
「WW_A4」フォルダ内の
KONICAMINOLTA_C200_105.pkg

おもにインチサイズ (Letter [8 1/2x11]) で印刷する場合：
「WW_Letter」フォルダ内の
KONICAMINOLTA_C200_105.pkg

ひとこと

途中で、管理者の名前とパスワードを要求されますので入力してください。

管理者の名前とパスワードは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

[キャンセル] を押すと、インストーラーは終了します。

ひとこと

OSX 10.2/10.3/10.4 の場合、2 回目以降のインストールでは、[インストール] ボタンが [アップグレード] に変わることがあります。

8

[閉じる] をクリックします。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

続いて、プリンターの選択をしてください。

5.1.2 プリンターの選択と接続（OS X 10.4/ 10.5）

OS 10.4/10.5 は、AppleTalk、LPR (LPD)、IPP で接続できます。本機のネットワーク設定を行ったあと、「プリントとファクス」で使用するプリンターとして選択すると、印刷できるようになります。

■ AppleTalk を設定する

本機の AppleTalk 設定

本機の「AppleTalk 設定」で AppleTalk を使用可能に設定し、プリンター名を入力しておきます。

コンピューターの AppleTalk 設定

接続している Macintosh で AppleTalk を設定します。

1

「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。

2

「ネットワーク」アイコンをクリックします。

3

Ethernet の設定画面を表示します。

- OS X 10.5 の場合は、「Ethernet」を選択し、[詳細] をクリックします。
- OS X 10.4 の場合は、「内蔵 Ethernet」を選択し、[設定] をクリックします。

4

「AppleTalk」タブをクリックし、AppleTalk を有効にします。

5

画面左上のクローズボタンをクリックします。

- 「変更を適用しますか？」というメッセージが表示されたら [適用] をクリックします。

プリンターの追加

1

「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。

2

「プリントとファクス」アイコンをクリックします。

3

「プリントとファクス」画面で [+] をクリックします。



本機の AppleTalk 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

4

[デフォルト] をクリックします。

接続されているプリンターが検出されます。

5

「プリンタ名」一覧から AppleTalk 接続された目的の機種名を選択します。

- 選択したプリンタ名に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。
- プリンタードライバーが選択された場合は、手順 7 へ進みます。
- プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 6 へ進みます。



ひとこと

プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。

電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

6

プリンタードライバーを手動で選択します。

- OS X 10.5 の場合は、「ドライバ」で「使用するドライバを選択」を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。
- OS X 10.4 の場合は、「使用するドライバ」で「KONICA MINOLTA」を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。



7

[追加] をクリックします。

選択したプリンターが「プリントとファクス」に登録されると、設定は終了です。

■ LPR を設定する

本機の IP アドレス設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の「TCP/IP 設定」で LPD 設定を使用可能にしておきます。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

1

「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。

2

「ネットワーク」アイコンをクリックします。

3

Ethernet の設定画面を表示します。

- OS X 10.5 の場合は、「Ethernet」を選択し、[詳細] をクリックします。
- OS X 10.4 の場合は、「内蔵 Ethernet」を選択し、[設定] をクリックします。

4

「TCP/IP」タブをクリックします。

5

Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、該当する「設定」項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

6

画面左上のクローズボタンをクリックします。

- 「変更を適用しますか?」というメッセージが表示されたら [適用] をクリックします。

プリンターの追加

1

「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。

2

「プリントとファクス」アイコンをクリックします。

3

「プリントとファクス」画面で [+] をクリックします。

ひとこと

- ・「インストール可能なオプション」画面が表示される場合は、続けてオプションの設定を変更できます。詳しくは、「プリンタードライバーの初期設定」(p. 8-3) をごらんください。
- ・OS X 10.4 の場合は、「プリンタ設定ユーティリティ」画面から [追加] をクリックしてもプリンターを追加できます。



- ・本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・本機の LPD 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

4

[IP] または [IP プリンタ] をクリックします。

5

「プロトコル」で「LPD」を選択します。

6

「アドレス」に本機の IP アドレスを入力します。

- IP アドレスで検出された本機に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。
- プリンタードライバーが選択された場合は、手順 8 へ進みます。
- プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 7 へ進みます。



7

プリンタードライバーを手動で選択します。

- OS X 10.5 の場合は、「ドライバ」で「使用するドライバを選択」を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。
- OS X 10.4 の場合は、「使用するドライバ」で「KONICA MINOLTA」を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。



8

[追加] をクリックします。

選択したプリンターが「プリントとファクス」に登録されると、設定は終了です。

■ IPP を設定する

本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の IPP 設定

本機の「IPP 設定」で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

1

「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。

2

「ネットワーク」アイコンをクリックします。

3

Ethernet の設定画面を表示します。

- OS X 10.5 の場合は、「Ethernet」を選択し、[詳細] をクリックします。
- OS X 10.4 の場合は、「内蔵 Ethernet」を選択し、[設定] をクリックします。

4

「TCP/IP」タブをクリックします。

5

Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、設定方法と IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

6

画面左上のクローズボタンをクリックします。

- 「変更を適用しますか?」というメッセージが表示されたら [適用] をクリックします。

プリンターの追加

1

「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。

2

「プリントとファクス」アイコンをクリックします。

3

「プリントとファクス」画面で [+] をクリックします。

4

[IP] または [IP プリンタ] をクリックします。

ひとこと

- ・「インストール可能なオプション」画面が表示される場合は、続けてオプションの設定を変更できます。詳しくは、「[プリンタードライバーの初期設定](#) (p. 8-3)」をごらんください。
- ・OS X 10.4 の場合は、「[プリンタ設定ユーティリティ](#)」画面から [追加] をクリックしてもプリンターを追加できます。



- ・本機の IP アドレスの設定については、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をごらんください。
- ・本機の IPP 設定については、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をごらんください。

5

「プロトコル」で「IPP」を選択します。

6

「アドレス」に本機のIPアドレスを入力し、「キュー」に「ipp」を入力します。

- IPアドレスで検出された本機に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。
- プリンタードライバーが選択された場合は、手順8へ進みます。
- プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順7へ進みます。



7

プリンタードライバーを手動で選択します。

- OS X 10.5 の場合は、「ドライバ」で「使用するドライバを選択」を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。
- OS X 10.4 の場合は、「使用するドライバ」で「KONICA MINOLTA」を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。



8

- [追加] をクリックします。
選択したプリンターが「プリントとファクス」に登録されると、設定は終了です。

ひとこと

- ・「インストール可能なオプション」画面が表示される場合は、続けてオプションの設定を変更できます。詳しくは、「[プリンタードライバーの初期設定](#)」(p. 8-3) をご覧ください。
- ・OS X 10.4 の場合は、「[プリンタ設定ユーティリティ](#)」画面から [追加] をクリックしてもプリンターを追加できます。

5.1.3 プリンターの選択と接続 (OS X 10.2/10.3)

OS X 10.2/10.3 は、AppleTalk、LPR (LPD)、IPP で接続できます。

本機のネットワーク設定を行ったあと、「[プリンタ設定ユーティリティ](#)」または「[プリントセンター](#)」で使用するプリンターとして選択すると、印刷できるようになります。

■ AppleTalk を設定する

本機の AppleTalk 設定

本機の「[AppleTalk 設定](#)」で AppleTalk を使用可能に設定し、プリンタ名を入力しておきます。

コンピューターの AppleTalk 設定

接続している Macintosh で AppleTalk を設定します。

1

「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。

2

「ネットワーク」アイコンをクリックします。

3

「表示」で「内蔵 Ethernet」を選択します。

4

「AppleTalk」タブをクリックし、AppleTalk を有効にします。

5

画面左上のクローズボタンをクリックします。

○「変更を適用しますか?」というメッセージが表示されたら [適用] をクリックします。

プリンターの追加

1

インストールされた「HDD」 - 「アプリケーション」 - 「ユーティリティ」内にある「[プリンタ設定ユーティリティ](#)」または「[プリントセンター](#)」をダブルクリックして開きます。

2

「[プリンタの追加](#)」画面が表示された場合は、[追加] をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、[追加] をクリックします。



本機の AppleTalk 設定については、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をご覧ください。

ひとこと

すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、「[プリンタの追加](#)」画面は表示されません。

3

接続方法に「AppleTalk」を選択し、本機が接続されているゾーンを選択します。

接続されているプリンターが検出されます。

4

「名前」一覧から目的の機種名を選択します。

- 自動でプリンタードライバーが選択された場合は、手順 6 へ進みます。
- プリンタードライバーが選択されない場合は、手順 5 へ進みます。

5

プリンタードライバーを手動で選択します。

- 「プリンタの機種」で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種名一覧から目的の機種名を選択します。



6

[追加] をクリックします。

選択したプリンターが「プリントとファクス」に登録されると、設定は終了です。

■ LPR を設定する

本機の IP アドレス設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の「TCP/IP 設定」で LPD 設定を使用可能にしておきます。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

ひとこと

プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。

電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。



- ・本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・本機の LPD 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

1

「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。

2

「ネットワーク」アイコンをクリックします。

3

「表示」で「内蔵 Ethernet」を選択します。

- 4** 「TCP/IP」タブをクリックします。
- 5** Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、該当する「設定」項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。
- 6** 画面左上のクローズボタンをクリックします。
○「設定の変更を適用しますか?」というメッセージが表示されたら [適用] をクリックします。

プリンターの追加

- 1** インストールされた「HDD」 - 「アプリケーション」 - 「ユーティリティ」内にある「[プリンタ設定ユーティリティ]」または「[プリントセンター]」をダブルクリックして開きます。
- 2** 「プリンタの追加」画面が表示された場合は、「[追加]」をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、「[追加]」をクリックします。
- 3** 接続方法に「IP プリント」を選択します。
- 4** OS X 10.3 の場合は、「プリンタのタイプ」で「LPD/LPR」を選択します。
- 5** 「プリンタのアドレス」に本機の IP アドレスを入力します。
- 6** 「プリンタの機種」で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種名一覧から目的の機種名を選択して「[追加]」をクリックします。



選択したプリンターが「プリンタリスト」に登録されると、設定は終了です。

ひとこと

すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、「プリンタの追加」画面は表示されません。

■ IPP を設定する

本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の IPP 設定

本機の「IPP 設定」で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

- 1** 「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。
- 2** 「ネットワーク」アイコンをクリックします。
- 3** 「表示」で「内蔵 Ethernet」を選択します。
- 4** 「TCP/IP」タブをクリックします。
- 5** Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、該当する「設定」項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。
- 6** 画面左上のクローズボタンをクリックします。
○「設定の変更を適用しますか?」というメッセージが表示されたら [適用] をクリックします。

プリンターの追加

- 1** インストールされた「HDD」 – 「アプリケーション」 – 「ユーティリティ」内にある「[プリンタ設定ユーティリティ]」または「[プリントセンター]」をダブルクリックして開きます。
- 2** 「プリンタの追加」画面が表示された場合は、[追加] をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、[追加] をクリックします。
- 3** 接続方法に「IP プリント」を選択します。
- 4** OS 10.3 の場合は、「プリンタのタイプ」で「IPP」を選択します。
- 5** 「プリンタのアドレス」に本機の IP アドレスを入力します。
○「キュー名」は空欄にします。



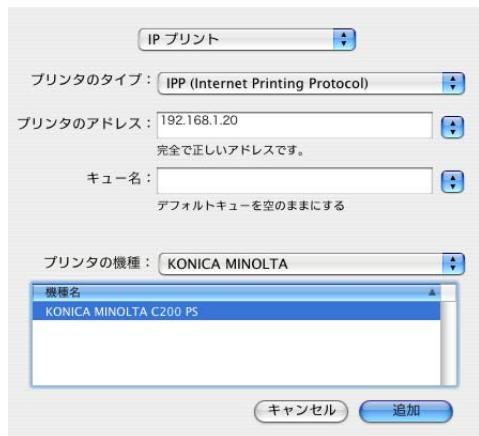
- ・本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・本機の IPP 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、「プリンタの追加」画面は表示されません。

6

「プリンタの機種」で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種名一覧から目的の機種名を選択して [追加] をクリックします。



選択したプリンターが「プリンタリスト」に登録されると、設定は終了です。

5.2 Macintosh OS 9.2

5.2.1 プリンタードライバーのインストール

本機に接続後、PostScript プリンターを選択し、「プリンター記述ファイル（PPD ファイル）」を指定すると、プリンターとして使用できるようになります。

まず、「プリンター記述ファイル（PPD ファイル）」をコンピューターにコピーします。

- 1 プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを開きます。
 - 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
- 3 「KONICAMINOLTAC200JVxxx.ppd」の PPD ファイルを選択し、コンピューターの「HDD」 – 「システムフォルダー」 – 「機能拡張」 – 「プリンタ記述ファイル」内にコピーします。
これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

5.2.2 プリンターの選択と接続

OS9 は AppleTalk、LPR (LPD) で接続できます。

本機のネットワーク設定を行ったあと、プリンターを選択します。

■ AppleTalk を設定する

本機の AppleTalk 設定

本機の「AppleTalk 設定」で AppleTalk を使用可能に設定し、プリンタ名を入力しておきます。

コンピューターの AppleTalk 設定

接続している Macintosh で AppleTalk を設定します。

- 1 「アップル」メニューの「コントロールパネル」 – 「AppleTalk」を選択します。
- 2 「経由先」で「Ethernet」を選択します。
- 3 画面左上のクローズボタンをクリックします。
 - 「変更内容を現在の設定に保存しますか？」というメッセージが表示されたら [保存] をクリックします。



本機の AppleTalk 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

プリンターの選択

- 1** 「アップルメニュー」の「セレクタ」を選択します。
- 2** 「AppleTalk」が「使用」になっていることを確認して、[LaserWriter] アイコンをクリックします。
- 3** 「PostScript プリンタの選択」一覧から、目的の機種名をクリックし、[作成] をクリックします。
PostScript プリンター記述 (PPD) ファイルを選択する画面が表示されます。
- 4** 該当する PPD ファイルをクリックし、[選択] (または [開く]) をクリックします。



オプションを設定する画面が表示されます。

- 5** 「Options Installed 1」と「Options Installed 2」の各画面で本機に装着しているオプションを設定します。



- 6** [OK] をクリックします。
「セレクタ」画面に戻ります。
- 7** 「セレクタ」画面を閉じます。

■ LPR を設定する

本機の IP アドレス設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の「TCP/IP 設定」で LPD 設定を使用可能にしておきます。

ひとこと

すでに別の PPD ファイルが選択されている場合は、手順 3 で [再設定] をクリックし、さらに表示される画面で [PPD の選択] をクリックします。

参照

- ・本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・本機の LPD 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

- 1** 「アップル」メニューの「コントロールパネル」 – 「TCP/IP」を選択します。
- 2** 「経由先」で「Ethernet」を選択します。
- 3** Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、該当する「設定方法」の項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。
- 4** 画面左上のクローズボタンをクリックします。
 ○ 「変更内容を現在の設定に保存しますか?」というメッセージが表示されたら [保存] をクリックします。

プリンターの追加

- 1** 「HDD」 – 「アプリケーション」 – 「ユーティリティ」内にある「デスクトッププリンタ Utility」をダブルクリックして開きます。
 「新規」画面が表示されます。
- 2** 「プリンタ」で「LaserWriter」を選択します。
- 3** 「デスクトップに作成」で「プリンタ (LPR)」を選択します。



「名称未設定」画面が表示されます。

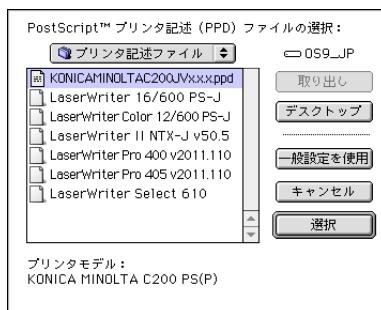
- 4** 「PostScript™ 記述 (PPD) ファイル」の [変更] をクリックします。

PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイルを選択する画面が表示されます。



5

該当する PPD ファイルをクリックし、[選択] をクリックします。



「名称未設定」画面に戻ります。

6

「LPR プリンタの選択」の [変更] をクリックします。

IP アドレスを入力する画面が表示されます。

7

「プリンタアドレス」に本機の IP アドレスを入力して、[OK] をクリックします。

「名称未設定」画面に戻ります。

8

[作成] をクリックします。

保存の画面が表示されます。

9

「デスクトップ・プリンタの保存名」を入力して、[保存] をクリックします。

デスクトップに LPR プリンターのアイコンが作成されます。

ひとこと

LPR (LPD) で接続した場合、保存するプリンタ名が IP アドレスになっています。必要に応じてプリンタ名を変更してください。

第6章

プリンタードライバーのアンインストール

プリンタードライバーを削除する操作を説明します。

6.1	Windows	6-2
6.2	Macintosh	6-5

6.1 Windows

プリンタードライバーを再インストールするときなど、プリンタードライバーを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバーを削除してください。

6.1.1 アンインストールプログラムによるアンインストール

プリンタードライバーをインストーラーでインストールした場合は、プリンタードライバーの削除機能が組み込まれています。

- 1 [スタート] をクリックし、「すべてのプログラム」(または「プログラム」) – 「KONICA MINOLTA」 – 「bizhub C200」 – 「プリンタドライバの削除」をクリックします。
- 2 削除するコンポーネントを選択し、[削除] をクリックします。
 - 以降は、表示される画面にしたがって操作してください。



- 3 再起動する画面が表示されたら [OK] をクリックし、再起動します。

6.1.2 インストーラーによるアンインストール

プリンタードライバーをインストーラーでインストールした場合は、インストーラーでも削除できます。

- 1 プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
 - インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。
 - インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて「Setup.exe」をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。
- 2 「プリンタのインストール」をクリックします。
プリンタードライバーのインストーラーが起動します。
- 3 使用許諾契約書の画面で [同意します] をクリックします。

- 4** セットアップの内容を選択する画面で「プリンタドライバの削除」を選択して [次へ] をクリックします。
- 5** 削除するコンポーネントを選択し、[削除] をクリックします。
○ 以降は、表示される画面にしたがって操作してください。
- 6** 再起動する画面が表示されたら [OK] をクリックし、再起動します。

6.1.3 手動アンインストール

インストーラーを使わずにプリンタードライバーをインストールした場合は、手動でプリンタードライバーを削除します。

- 1** 「プリンタ」ウィンドウまたは「プリンタとFAX」ウィンドウを開きます。
- 2** 削除したいプリンターのアイコンを選択します。
- 3** コンピューターの [Delete] キーを押し、プリンタードライバーを削除します。
- 4** 以降は、画面の指示にしたがって操作します。
削除が終了すると「プリンタ」ウィンドウまたは「プリンタとFAX」ウィンドウからアイコンが消えます。
- 5** 「サーバーのプロパティ」を開きます。
○ Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、「ファイル」メニューをクリックし、「サーバーのプロパティ」をクリックします。
○ Windows Vista/Server 2008 の場合は、「プリンタ」ウィンドウの何もない部分を右クリックし、「管理者として実行」 – 「サーバーのプロパティ」をクリックします。
- 6** 「ドライバ」タブをクリックします。
- 7** 「インストールされたプリンタドライバ」一覧から、削除したいプリンタードライバーを選択し、[削除] をクリックします。
○ Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、手順 9 に進みます。
○ Windows Vista/Server 2008 の場合は、手順 8 に進みます。
- 8** 削除の対象を確認する画面で「ドライバとドライバパッケージを削除する」を選択して、[OK] をクリックします。
- 9** 削除を確認する画面で [はい] をクリックします。
○ Windows Vista/Server 2008 の場合は、さらに削除を確認する画面が表示されますので [削除] をクリックします。

ひとこと

「ユーザー アカウント制御」に関する画面が表示されるときは、[続行] をクリックします。

10

開いている画面を閉じ、コンピューターを再起動します。

- 必ず再起動してください。

これでプリンタードライバーの削除は完了です。



この手順でプリンタードライバーを削除しても、Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、機種情報ファイルがコンピューターに残ります。このため同一バージョンのプリンタードライバーを再インストールする場合、ドライバーが書き替えできない場合があります。この場合以下のファイルも削除してください。

「C: ¥WINDOWS¥system32¥spool¥drivers¥w32x86」
フォルダー（x64 のシステムの場合は、「C: ¥WINDOWS¥system32¥spool¥drivers¥x64」 フォルダー）を確認し、該当機種のフォルダーがあれば削除します。ただし、PCL コニカミノルタ製ドライバーと PostScript コニカミノルタ製ドライバー、ファクスドライバーなど複数のドライバーがインストールされている場合は、全てのドライバーの機種情報が削除されます。ほかのドライバーを残す場合は削除しないでください。

「C: ¥WINDOWS¥inf」 フォルダーにある「oem*.inf」と「oem*.PNF」を削除します（ファイル名の「*」は番号を示し、番号はコンピューターの環境により異なります）。

削除する前に inf ファイルを開いて、最後の数行に記述してある機種名を確認し、該当機種のファイルであることを確認してください。PNF ファイルは inf ファイルと同じ番号となります。

Windows Vista/Server 2008 で「ドライバとパッケージを削除する」で操作した場合は、この作業は不要です。

6.2 Macintosh

プリンタードライバーを再インストールするときなど、プリンタードライバーを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバーを削除してください。

6.2.1 Macintosh OS X の場合

1

「プリントとファクス」画面（または「プリント設定ユーティリティ」 / 「プリントセンター」画面）を開きます。

- 「プリントとファクス」画面は、「アップル」メニューの「システム環境設定」から開きます（OS X 10.3/10.4/10.5）。
- 「プリント設定ユーティリティ」 / 「プリントセンター」画面は、「HDD」 – 「アプリケーション」 – 「ユーティリティ」から開きます（OS X 10.2/10.3/10.4）。

2

削除するプリンター名を選択し、[–]（または〔削除〕）をクリックします。

選択したプリンターが削除されます。

3

「プリントとファクス」画面（または「プリント設定ユーティリティ」 / 「プリントセンター」画面）を閉じます。

4

インストールした「HDD」の「ライブラリ」 – 「Printers」 – 「PPDs」 – 「Contents」 – 「Resources」内（OS X 10.2/10.3/10.4 の場合は、「Resources」 – 「ja.lproj」内）の以下のファイルを「ゴミ箱」へドラッグします。

- 「KONICA MINOLTA C200.gz」

5

「ライブラリ」 – 「Printers」内の不要なファイルを削除します。

- 「ライブラリ」 – 「Printers」 – 「KONICAMINOLTA」内の「C200」フォルダーを「ゴミ箱」へドラッグします。
- OS X 10.2 の場合は続いて、「ライブラリ」 – 「Printers」 – 「PPDPlugins」内にある「KONICA MINOLTA C200」のついたフォルダーをすべて「ゴミ箱」へドラッグします。

6

コンピューターを再起動します。

これでプリンタードライバーの削除は完了です。

6.2.2 Macintosh OS 9.2 の場合

1

デスクトップ上のプリンターアイコンを「ゴミ箱」へドラッグします。

2

「HDD」 – 「システムフォルダー」 – 「機能拡張」 – 「プリンタ記述ファイル」内の
「KONICAMINOLTAC200JVxxx.ppd」のPPD ファイルを選択し、「ゴミ箱」へドラッグします。

プリンタードライバー関連ファイルが削除されます。

3

コンピューターを再起動します。
これでプリンタードライバーの削除は完了です。

第 7 章

Windows 用 PCL/PS ドライバーの 印刷機能

Windows 用の PCL/PS プリンタードライバーの機能について説明します。

7.1	印刷操作	7-2
7.2	プリンタードライバーの初期設定	7-3
7.3	共通項目	7-6
7.4	設定項目詳細	7-7

7.1 印刷操作

通常、印刷はアプリケーションソフトウェアから指定します。

1

アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから「印刷」(または「プリント」) をクリックします。

- メニューがない場合は、[印刷] ボタンをクリックします。

2

「プリンタ名」(または「プリンタの選択」) で印刷したいプリンター名が選択されているか確認します。

- 目的のプリンターが選択されていないときは、クリックして選択します。



3

印刷するページ範囲や部数を設定します。

4

必要に応じて [プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックし、プリンタードライバーの設定を変更します。

5

[印刷] をクリックします。

ひとこと

「印刷」画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

詳しく説明します

「印刷」画面で [プロパティ] や [詳細設定] をクリックすると、プリンタードライバーの設定画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、「[設定項目詳細](#) (p. 7-7) をごらんください。

ひとこと

「印刷」画面から変更したプリンタードライバーの設定は保存されず、アプリケーションソフトウェアを終了すると元に戻ります。

7.2 プリンタードライバーの初期設定

プリンタードライバーをインストールしたら、日常の印刷を行う前にオプションや部門管理機能などの初期設定条件を変更し、本機の機能をプリンタードライバーから使用可能にする必要があります。

7.2.1 プロパティ画面の表示方法

1

- 「プリンタ」ウィンドウまたは「プリンタとFAX」ウィンドウを開きます。
- Windows 2000 の場合は、[スタート] をクリックし、「設定」 – 「プリンタ」をクリックします。
 - Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] をクリックし、「プリンタとFAX」をクリックします。
 - Windows Vista/Server 2008 の場合は、[スタート] をクリックして「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

2

- インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。

ひとこと

装着されているオプション、部門管理機能が「装置情報」タブで設定されていないと、プリンタードライバーでオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

ひとこと

- ・ Windows XP/Server 2003 で、[スタート] メニューに「プリンタとFAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタとFAX」を選びます。
- ・ Windows Vista/Server 2008 で「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。

7.2.2 装置情報タブ



使用するオプションや部門管理機能の有無を設定し、本機の機能をプリンタードライバーから使用可能にします。

項目名	機能
装置オプション	装着されているオプションや部門管理の状態を設定します。各項目の状態は「設定値の変更」で設定します。
給紙トレイ情報	給紙トレイに対する用紙種類の割り当て状態を表示します。[給紙トレイ設定]で割り当てを設定できます。
装置情報取得	本機と通信し、オプション装着の状態を読み取ります。
取得設定	装置情報取得を実行する接続先などの条件を設定します。
ツール	Assistant toolなどの設定ツールを起動します。



「装置オプション」のオプションの選択は必ず行ってください。

ひとこと

[装置情報取得] の機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。

7.2.3 初期設定タブ



確認メッセージや認証設定入力画面の表示に関する初期設定を変更できます。

項目名	機能
メタファイル (EMF) スプールを行う	独自のシステム環境で使用する場合で、メタファイル (EMF) スプールが必要な場合にチェックします。
禁則発生時に確認メッセージを表示する	プリンタードライバーで、同時に設定できない機能を有効にした場合にメッセージを表示します。
サーバープロパティ用紙を使用する	プリンターフォルダーの「サーバーのプロパティ」で追加登録した用紙を使用します。
印刷時に認証設定の入力画面を表示する	印刷を指定するときに部門管理設定ダイアログボックスを表示し、部門名の入力を促します。
不定形サイズの登録	不定形サイズの用紙を登録します。

ひとこと

「メタファイル (EMF) スプールを行う」、「不定形サイズの登録」は PCL ドライバーのみの機能です。

7.2.4 デフォルト設定の登録

印刷時に設定する本機機能の設定内容は、そのアプリケーションを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は元に戻ります。

設定内容を登録する場合は、プリンタードライバーの基準設定（初期設定）を変更します。

1

「プリンタ」ウィンドウまたは「プリンタと FAX」ウィンドウを開きます。

- Windows 2000 の場合は、[スタート] をクリックし、「設定」 – 「プリンタ」をクリックします。
- Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] をクリックし、「プリンタと FAX」をクリックします。
- Windows Vista/Server 2008 の場合は、[スタート] をクリックして「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

2

インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして「印刷設定」をクリックします。

プリンタードライバーの設定ダイアログが表示されます。

3

機能の設定を変更し、[OK] をクリックして終了します。

変更した設定が、全てのアプリケーションソフトウェアでプリンターを使用するときに適用されます。

ひとこと

- Windows XP/Server 2003 で、[スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。
- Windows Vista/Server 2008 で「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。

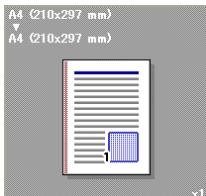


- プリンタードライバーの機能や設定項目については、「[設定項目詳細](#) (p. 7-7)」をごらんください。
- プリンタードライバーには、設定した内容を「お気に入り」として保存する機能もあります。詳しくは、「[共通項目](#)」 (p. 7-6) をごらんください。

7.3 共通項目

各タブの画面で共通の設定やボタンについて説明します。



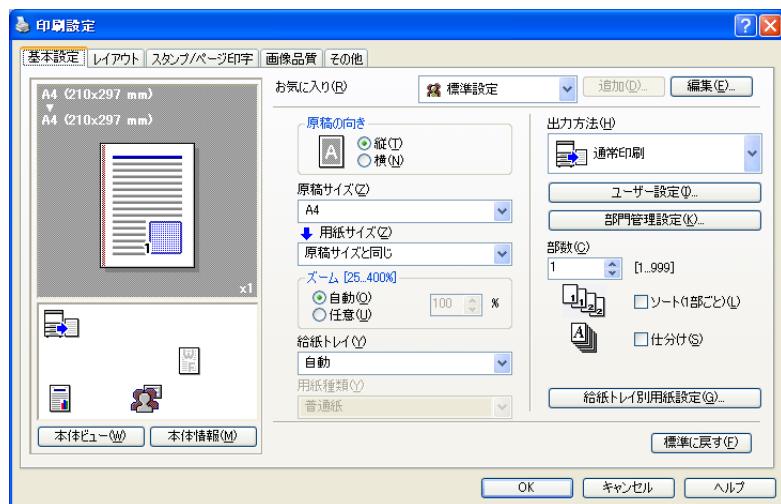
項目名	機能
OK	このボタンをクリックすると、変更した設定を有効にして、設定画面を閉じます。
キャンセル	このボタンをクリックすると、変更した設定を無効（キャンセル）にして、設定画面を閉じます。
適用	設定を変更した場合、表示されます。 このボタンをクリックすると、変更した設定を有効にします。
ヘルプ	このボタンをクリックすると、表示されている画面の各項目についてのヘルプが表示されます。
追加（お気に入り）	現在の設定を登録し、あとでその設定を呼出すことができます。
編集（お気に入り）	保存してある設定を変更します。
標準に戻す	このボタンをクリックすると、初期設定の内容に戻します。
ビュー	「用紙ビュー」を選択すると、現在の設定でのページレイアウトのサンプルが表示され、印刷結果のイメージを確認できます。 「本体ビュー」を選択すると、現在本機に装着されている給紙トレイなどのオプションを含むプリンター構成の図が表示されます。 用紙  本体 

7.4 設定項目詳細

印刷設定画面は、プリンタードライバーの機能を設定する画面です。

印刷ダイアログボックスで「プロパティ」(または「詳細設定」)をクリックするか、「プリンタ」ウィンドウまたは「プリンタとFAX」ウィンドウのプリンターアイコンを右クリックし、「印刷設定」を指定して開きます。

7.4.1 基本設定タブ



機能名称	選択肢	説明
原稿の向き	縦、横	原稿の用紙方向を設定します。
原稿サイズ	定型用紙サイズと 不定形サイズに登 録してある用紙サ イズ	原稿の用紙サイズを設定します。
	不定形サイズ	サイズを登録します。
用紙サイズ	本機で利用できる 定型用紙サイズと 不定形サイズに登 録してある用紙サ イズ	印刷する用紙サイズを設定します。原稿サ イズと異なる場合で、ズームが「自動」の ときは、サイズに合わせて拡大、縮小され ます。
	不定形サイズ	サイズを登録します。
ズーム	25 ~ 400%	拡大・縮小率を設定します。
給紙トレイ	自動、トレイ 1 ~ 4、LCT、手差し	使用する給紙トレイを選択します。 装着されているオプションによって選択で きる項目が異なります。
用紙種類	本機で利用できる 用紙種類	印刷に使用する用紙種類を表示します。表 示される用紙種類は、選択された給紙トレ イに対して「給紙トレイ別用紙設定」で登 録されている用紙種類になります。

ひとこと

- 用紙サイズ「12 × 18」は A3 よりひと回り大きい 304.8 × 457.2 mm です。
- 用紙サイズが定形以外のサイズの場合は、不定形サイズを設定してください。不定形サイズは、用紙サイズまたは原稿サイズの選択肢から「不定形サイズ」を選択するとサイズを指定して登録できます。
- 定形サイズいっぱいのデータを印刷したい場合は、原稿サイズで各定形用紙の「W」を選択することで原稿サイズより大きな用紙にセンタリングして印刷できます。

たとえば、A4 サイズのデータを A3 サイズの用紙にセンタリングして印刷する場合、「A4W」の用紙サイズでデータを作成し、プリンタードライバーで「原稿サイズ」を「A4W」、「給紙トレイ」を使用するトレイに設定します。

本機側では、使用するトレイに A3 サイズの用紙をセットし、操作パネルの「基本設定画面（用紙）」でトレイを選択して「設定変更」 - 「ワイド紙」で「A4W」を指定し、「選択サイズ」で A3 の用紙サイズが表示されていることを確認します。

「選択サイズ」のサイズが異なる場合は、「サイズ変更」で用紙サイズを設定します。

印刷用紙が不定形サイズの場合は、手差しトレイを使用し、「設定変更」 - 「ワイド紙」で「A4W」、「サイズ変更」で使用する用紙サイズを入力します。

用紙種類の「両面 2 面目」は、用紙の裏面に印刷するときに指定します。



トレイにセット可能な用紙サイズについては、「ユーザーズガイド
コピー機能編」をごらんください。

機能名称	選択肢	説明
出力方法	通常印刷	すぐに印刷されます。
	セキュリティ印刷	印刷文書を本機の「機密文書ジョブ」に保存します。印刷するときに本機の操作パネルで ID とパスワード入力が必要になります。機密性の高い文書を印刷する場合に選択します。
[ユーザー設定]	—	「セキュリティ印刷」をする場合の ID / パスワードを設定します。
[部門管理設定]	—	本機で「部門管理認証」している場合の部門名 / パスワードを設定します。
部数	1 ~ 999	印刷する部数を設定します。
ソート (1 部ごと)	ON/OFF	複数部数を、部数ごと印刷するかどうかを設定します。
仕分け	ON/OFF	複数部数を印刷するときに、1 部ずつ位置をずらして排出します。
[給紙トレイ 別用紙設定]	用紙種類設定	設定する給紙トレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
	用紙種類	給紙トレイにセットする用紙種類を選択します。

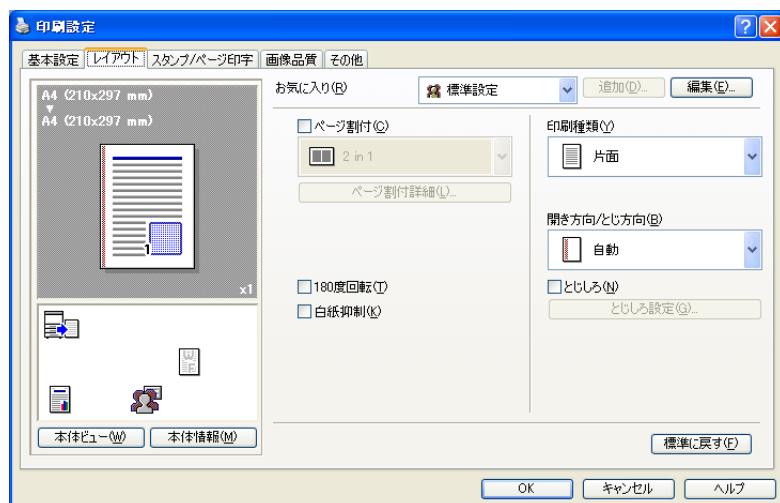


出力方法について詳しくは、「機能詳細説明」(p. 10-1) をご覧ください。

原則

- セキュリティ印刷、ソート (1 部ごと) の印刷は、オプションの拡張メモリが装着されている場合のみ使用可能となります。
- 仕分けは、オプションのセパレータと拡張メモリが装着されている場合のみ使用可能となります。
- オプションの拡張メモリが装着されていない場合、ページ割付機能を使用時に複数部数を指定しても 1 部として印刷されます。

7.4.2 レイアウトタブ



機能名称	選択肢	説明
ページ割付	2 in 1、4 in 1、6 in 1、9 in 1、16 in 1、2×2、3×3、4×4	複数ページの文書を1枚の用紙に割付ける、または1枚の原稿を複数の用紙に分割して印刷します。[ページ割付詳細]でページ順序や境界枠の有無が設定できます。
[ページ割付 詳細]	ページ割付	ページ割付の条件を選択します。
	順序	割付順序を設定します。ページ割付でN in 1が設定されているときに設定できます。
	境界	境界線の有無と線の種類を設定します。ページ割付でN in 1が設定されているときに設定できます。
	のりしろ	のりしろの有無を設定します。ページ割付でN×Nが設定されているときに設定できます。
180°回転	ON/OFF	180°回転して印刷します。
白紙抑制	ON/OFF	データに白ページがある場合、印刷しません。
印刷種類	片面、両面	両面印刷を設定します。
開き方向 / とじ方向	自動、左とじ、右 とじ、上とじ	とじ位置を設定します。
とじしろ	ON/OFF	とじしろ(余白)を設定します。[とじしろ設定]で余白量を設定します。
[とじしろ設 定]	シフトモード	とじしろの余白を空けるために、画像をどのように処理するかを選択します。
	表面 / 裏面	とじしろの値を設定します。両面印刷の場合、「表面と裏面を同じ値にする」のチェックボックスをOFFにすると、表/裏それぞれの値が設定できます。
	単位	サイズを設定する単位を選択します。

ひとこと

- 「ページ割付」で1枚の原稿を複数の用紙に分割して印刷する「2×2、3×3、4×4」の選択肢はPCL ドライバーのみの機能です。
- 「白紙抑制」の機能はPCL ドライバーのみの機能です。

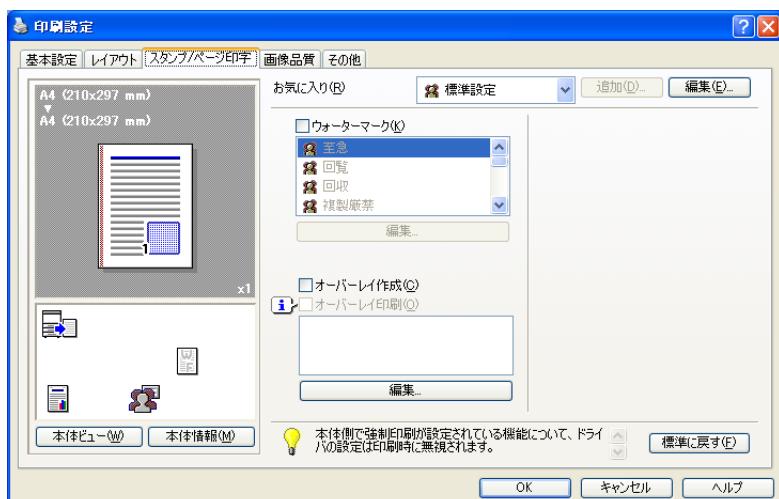
ひとこと

とじしろの位置は、「開き方向 / とじ方向」の設定に連動します。

原則

両面印刷は、オプションの両面ユニットと拡張メモリが装着されている場合のみ使用可能となります。

7.4.3 スタンプ / ページ印字タブ



機能名称	選択肢	説明
ウォーターマーク	ON/OFF	文書にウォーターマーク（文字スタンプ）を重ね合わせて印刷します。[編集]でウォーターマークの作成、変更、削除ができます。
[編集]	—	詳しくは、「 ウォーターマークの編集 (p. 7-10) をご覧ください。
オーバーレイ作成	ON/OFF	このチェックを付けて原稿を印刷することでオーバーレイ用のデータを作成します。
オーバーレイ印刷	ON/OFF	別途作成したオーバーレイ用のデータと原稿を重ねて印刷します。[編集]でオーバーレイの印刷方法を変更できます。
[編集]	[ファイル参照] [削除] 印字ページ 重ね合わせ	オーバーレイファイルを読み込みます。 選択しているオーバーレイを削除します。 印刷するページを設定します。 印刷するときの原稿との重ね合わせ順を設定します。

ひとこと

Windows Vista x64/Server 2008 x64 の場合、「ウォーターマーク」と次の機能は同時に設定できません。

- ・[部門管理]
- ・[印刷時に認証設定の入力画面を表示する]

■ ウォーターマークの編集



ウォーターマーク名：名称を入力します。

ウォーターマークテキスト：ウォーターマークのテキストを入力します。

[新規]：新規ウォーターマークを作成します。

[削除]：選択しているウォーターマークを削除します。

位置：上下左右の位置を設定します。右側と下側のスクロールバーでも設定できます。

文字の角度：印刷角度を設定します。

フォント名：フォントを設定します。

サイズ：サイズを設定します。

スタイル：フォントのスタイルを設定します。

囲み：囲みスタイルを設定します。

文字の色：文字色を設定します。

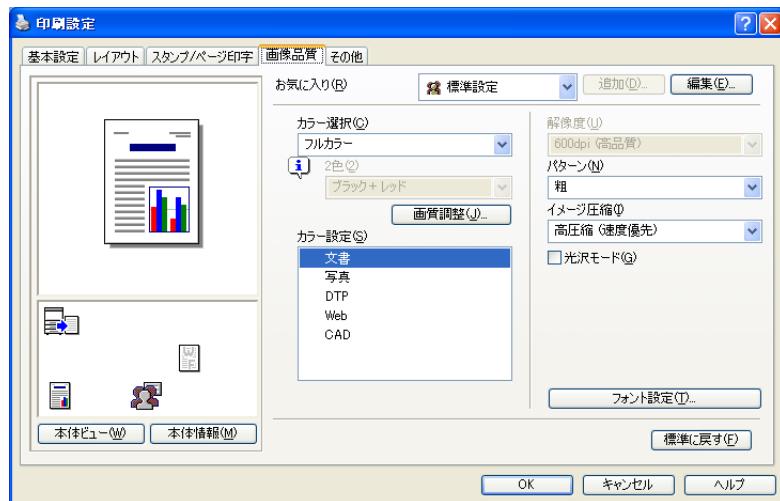
透過：ウォーターマークを透過イメージで印刷します。

1 ページ目のみ：ウォーターマークを 1 ページ目のみ印刷します。

繰り返し：ウォーターマークを 1 ページの中で繰り返し印刷します。

共有：ウォーターマークを公開で登録するか、プライベートにするかを設定します。

7.4.4 画像品質タブ

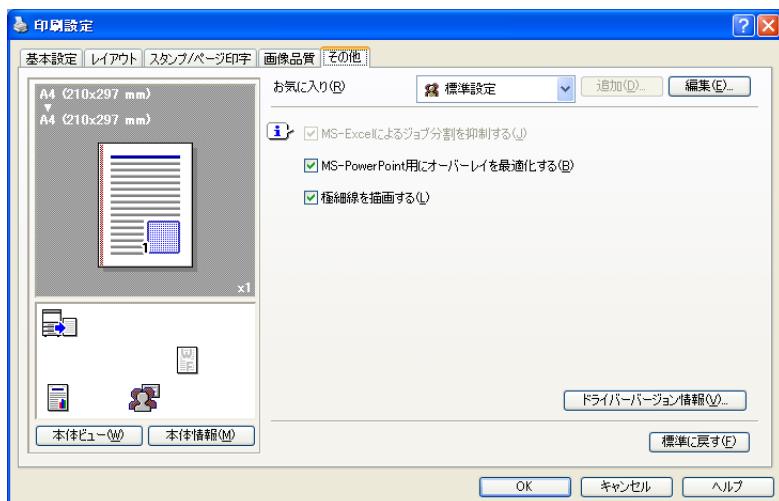


機能名称	選択肢	説明
カラー選択	フルカラー、グレースケール、2色カラー	印刷する色を設定します。
画質調整	—	画質を調整します。文書全体を調整する「簡易調整」と文字や写真、図表など、原稿内容ごとに調整する「詳細調整」を選べます。
カラー設定	文書、写真、DTP、Web、CAD	選択した原稿に適した画質で印刷します。 文書：文字の多い文書に適した処理です。 写真：写真に適した処理です。 DTP：DTP で作成した文書に適した処理です。 WEB：WEB ページの印刷に適した処理です。 CAD：CAD データの印刷に適した処理です。
解像度	—	解像度を表示します。この項目は変更できません。
パターン	密、粗	グラフィックパターンの細かさを設定します。
イメージ圧縮	標準（品質優先）、高圧縮（速度優先）	グラフィックイメージの圧縮率を設定します。
光沢モード	ON/OFF	光沢効果を加えて印刷します。
フォント設定	—	印刷時に、TrueType フォントを使うか、プリンターフォントを使うかを設定します。さらにダウンロードするフォントをビットマップかアウトラインかで選択します。

ひとこと

- 「カラー選択」の「2色カラー」の選択肢は PCL ドライバーのみの機能です。「2色カラー」を選択すると、2色の組み合わせを設定できます。
- 「パターン」、「イメージ圧縮」の機能は PCL ドライバーのみの機能です。

7.4.5 その他タブ

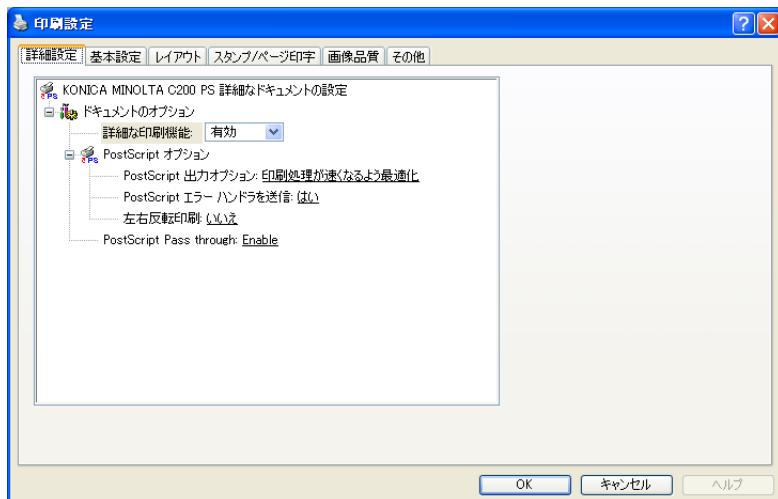


機能名称	選択肢	説明
MS-Excelによるジョブ分割を抑制する	ON/OFF	Microsoft Excel でページ設定の異なる複数のシートを同時に印刷する場合に、データによっては、シートごとのジョブに分割される場合があります。この機能にチェックすると、ジョブの分割をできるだけ抑制します。
MS-PowerPoint用にオーバーレイを最適化する	ON/OFF	Microsoft PowerPoint のデータにオーバーレイファイルを重ねて印刷する場合に、PowerPoint データの白背景がオーバーレイファイルを隠さないように、白色部分を除去します。チェックをはずすと、背景を除去せず、原稿データどおりに印刷します。
極細線を描画する	ON/OFF	縮小印刷する場合に、細い線がかずれることがあります。この機能にチェックすると、細い線が消えてしまうことを防ぎます。
ドライバーバージョン情報	—	プリンタードライバーのバージョン情報を表示します。

ひとこと

- 「MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する」、「極細線を描画する」の機能は PCL ドライバーのみの機能です。
- 「MS-Excel によるジョブ分割を抑制する」、「MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する」の設定は、Windows XP Professional x64、Windows Vista x64、Windows Server 2003 x64、Windows Server 2008 x64 では使用できません。
- 「MS-Excel によるジョブ分割を抑制する」は、「プリント」(Windows XP/Server 2003 の場合は「プリントと FAX」) ウィンドウで、プリントードライバーの設定ダイアログを表示した場合のみ変更できます。

7.4.6 詳細設定タブ



機能名称	選択肢	説明
詳細な印刷機能	有効 / 無効	詳細な印刷機能（小冊子）の有無を設定します。
PostScript出力オプション	印刷処理が速くなるよう最適化 / ワークが軽減するよう最適 / EPS (Encapsulated PostScript) / アーカイブ形式	PostScript ファイルの出力形式を設定します。
PostScriptエラー処理	はい / いいえ	PostScript エラーが発生した場合、レポートをプリントするか、しないかを設定します。
左右反転印刷	はい / いいえ	左右反転してプリントします。
PostScript Pass through	Enable / Disable	アプリケーションが GDI を利用せずに直接プリントすることを許可します。

ひとこと

詳細設定タブは、PS ドライバーでのみ表示されます。



第8章

Mac OS X の印刷機能

OS X 用の PS プリンタードライバーの機能について説明します。

8.1	印刷操作	8-2
8.2	プリンタードライバーの初期設定	8-3
8.3	共通項目	8-5
8.4	カスタムサイズの追加方法	8-6
8.5	設定項目詳細	8-7

8.1 印刷操作

通常、印刷はアプリケーションソフトウェアから指定します。

1

アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから「印刷」(または「プリント」) をクリックします。

- メニューがない場合は、[印刷] ボタンをクリックします。

「プリント」画面が表示されます。

2

「プリンタ」で印刷したいプリンター名が選択されているか確認します。

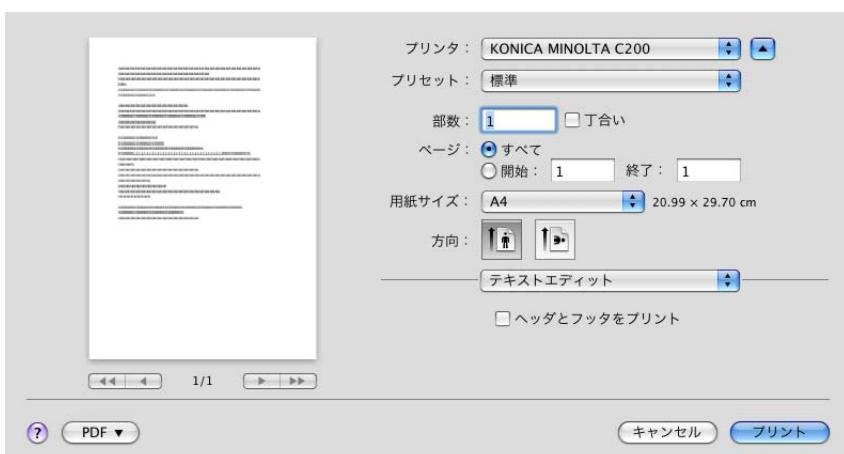
- 目的のプリンターが選択されていないときは、選択します。



3

印刷するページ範囲や部数を設定します。

- OS X 10.5 で設定項目が表示されていない場合は、「プリンタ」右側の [▼] をクリックします。



4

必要に応じて設定画面を切換えて、プリンタードライバーの設定を変更します。

5

[プリント] をクリックします。

ひとこと

- ・プリンターが表示されないときは、[プリンタ設定ユーティリティ] または [プリントセンター] でプリンターを選択します。詳しくは、「[プリンターの選択と接続 \(OS X 10.4/10.5\)](#) (p. 5-3)」、「[プリンターの選択と接続 \(OS X 10.2/10.3\)](#) (p. 5-9)」をごらんください。
- ・LPR (LPD) で接続した場合、プリンター名がIPアドレスになっています。必要に応じて「[プリンタ情報](#)」 - 「名前と場所」でプリンター名を変更してください。
- ・「プリント」画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

詳しく説明します

プリントオプションのポップアップメニューを変更すると、プリンタードライバーのほかの設定画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、「[設定項目詳細](#) (p. 8-7)」をごらんください。

ひとこと

「プリント」画面で変更したプリンタードライバーの設定は保存されず、アプリケーションソフトウェアを終了すると元に戻ります。

8.2 プリンタードライバーの初期設定

プリンタードライバーをインストールしたら、日常の印刷を行う前にオプションなどの初期設定条件を変更し、本機の機能をプリンタードライバーから使用可能にする必要があります。

8.2.1 オプション設定

1

「プリントとファクス」画面（または「プリンタ設定ユーティリティ」 / 「プリントセンター」画面）を開きます。

- 「プリントとファクス」画面は、「アップル」メニューの「システム環境設定」から開きます（OS X 10.4/10.5）。
- 「プリンタ設定ユーティリティ」 / 「プリントセンター」画面は、「HDD」 - 「アプリケーション」 - 「ユーティリティ」から開きます（OS X 10.2/10.3/10.4）。

2

「プリンタ情報」画面を表示します。

- 「プリントとファクス」画面の場合は、[オプションとサプライ]（OS 10.5）、[プリンタ設定]（OS 10.4）をクリックします。
- 「プリンタ設定ユーティリティ」 / 「プリントセンター」画面の場合は、「プリンタ」メニューの「情報を見る」を選択します。

3

「インストール可能なオプション」画面を表示します。

- OS 10.5 の場合は、[ドライバ] をクリックします。
- OS 10.2/10.3/10.4 の場合は、「インストール可能なオプション」を選択します。

4

装着しているオプションを設定します。



5

[OK] [変更を適用] をクリックしてから「プリンタ情報」画面を閉じます。

8.2.2 デフォルト設定の登録

印刷時に設定する本機機能の設定内容は、そのアプリケーションを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は元に戻ります。

設定内容を登録する場合は、プリンタードライバーの設定を保存します。

ひとこと

装着されているオプションが「プリンタ情報」で設定されていないと、プリンタードライバーでオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

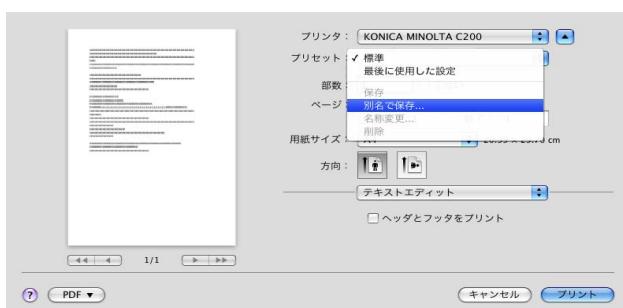
OS X の場合は、用紙の設定はデフォルト設定として登録できますが、そのほかの印刷機能の設定は「プリセット」機能で設定を保存し、必要に応じて呼出して利用します。

「ページ設定」画面の設定は、「設定」から「デフォルトとして保存」を選択することで保存します。



「プリント」画面から設定するプリンタードライバーの機能は、「プリセット」から「別名で保存」を選択することで保存します。

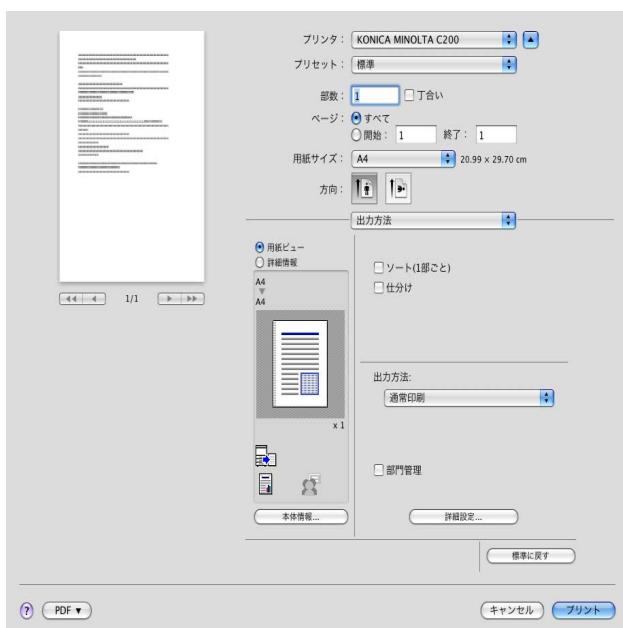
この設定は、使用するときに「プリセット」から選択します。



プリンタードライバーの機能や設定項目については、「[設定項目詳細](#)」(p. 8-7) をごらんください。

8.3 共通項目

「プリント」画面から設定する本機の固有機能（出力方法、レイアウト、給紙トレイ、画像品質）で表示される共通項目について説明します。



項目名	機能
用紙ビュー	現在の設定でのページレイアウトのサンプルが表示され、印刷結果のイメージを確認できます。
詳細情報	現在の設定内容が文字で表示されます。
標準に戻す	このボタンをクリックすると、初期設定の内容に戻します。
キャンセル	このボタンをクリックすると、変更した設定を無効（キャンセル）にして、設定画面を閉じます。
プリント	このボタンをクリックすると、変更した設定を有効にして印刷します。

8.4 カスタムサイズの追加方法

用紙サイズが定形以外のサイズの場合は、カスタム用紙サイズを登録します。

- 1 [ファイル] メニューの「ページ設定」(または「用紙設定」) を選択します。
- 2 OS X 10.4/10.5 の場合は、用紙サイズの一覧から「カスタムサイズを管理」を選択します。
 - OS X 10.2/10.3 の場合は、「設定」から「カスタム用紙サイズ」を選択します。
- 3 [+] (OS 10.4/10.5) または [新規] (OS X 10.2/10.3) をクリックします。
- 4 用紙サイズの名称を入力します。
- 5 各項目を設定します。
 - ページサイズ (用紙サイズ) : 任意の用紙サイズを設定します。
 - 余白 : 用紙の余白を設定します。



- 6 OS X 10.4/10.5 の場合は、手順 7 に進みます。
 - OS X 10.2/10.3 の場合は、[保存] をクリックします。
- 7 [OK] をクリックします。

カスタム用紙サイズが登録され、「ページ属性」の用紙サイズで選択できるようになります。

8.5 設定項目詳細

プリンタードライバーの機能は「ページ設定」画面から指定する「ページ属性」と「プリント」画面から設定する「出力方法」、「レイアウト」、「給紙トレイ」、「画像品質」の各画面で設定します。

8.5.1 ページ属性

[ファイル] メニューの「ページ設定」(または「用紙設定」)で選択します。



機能名称	選択肢	説明
用紙サイズ	本機で利用できる定型用紙サイズとカスタムサイズに登録してある用紙サイズ	印刷する用紙サイズを設定します。
方向	縦、横	原稿の用紙方向を設定します。
拡大縮小	1 ~ 400%	拡大・縮小率を設定します。

ひとこと

- 用紙サイズ「12×18」は A3 よりひと回り大きい 304.8 × 457.2 mm です。
- 用紙サイズが定形以外のサイズの場合は、不定形サイズを設定してください。不定形サイズの登録については、「[カスタムサイズの追加方法](#)」(p. 8-6) をご覧ください。
- 定形サイズいっぱいのデータを印刷したい場合は、用紙サイズで各定形用紙の「W」を選択することで原稿サイズより大きな用紙にセンタリングして印刷できます。

たとえば、A4 サイズのデータを A3 サイズの用紙にセンタリングして印刷する場合、「A4W」の用紙サイズでデータを作成し、プリンタードライバーで「用紙サイズ」を「A4W」、「給紙トレイ」を使用するトレイに設定します。

本機側では、使用するトレイに A3 サイズの用紙をセットし、操作パネルの「[基本設定画面（用紙）](#)」でトレイを選択して「[\[設定変更\] - \[ワイド紙\]](#)」で「A4W」を指定し、「[\[選択サイズ\]](#)」で A3 の用紙サイズが表示されていることを確認します。[\[選択サイズ\]](#) のサイズが異なる場合は、「[\[サイズ変更\]](#)」で用紙サイズを設定します。

印刷用紙が不定形サイズの場合は、手差しトレイを使用し、「[\[設定変更\] - \[ワイド紙\]](#)」で「A4W」、「[\[サイズ変更\]](#)」で使用する用紙サイズを入力します。

参照

トレイにセット可能な用紙サイズについては、「[ユーザーズガイド](#)」、「[コピー機能編](#)」をごらんください。

8.5.2 印刷部数と印刷ページ

[ファイル] メニューの「印刷」（または「プリント」）で選択します。



機能名称	選択肢	説明
部数	1 ~ 999	印刷する部数を設定します。
丁合い	ON/OFF	複数部数を、部数ごと印刷するかどうかを設定します。 (オプションの拡張メモリが装着されていない場合に設定します。)
ページ	—	印刷するページ範囲を設定します。

8.5.3 出力方法



機能名称	選択肢	説明
ソート (1部ごと)	ON/OFF	複数部数を、部数ごと印刷するかどうかを設定します。 (オプションの拡張メモリが装着されている場合に設定します。)
仕分け	ON/OFF	複数部数を印刷するときに、1部ずつ位置をずらして排出します。

ひとこと

- ・OS 10.5 の場合は、「用紙サイズ」、「方向」も表示されますが、「ページ属性」の機能と同じです。
- ・OS 10.5 で設定項目が表示されていない場合は、「プリンタ」右側の [▼] をクリックします。

機能名称	選択肢	説明
出力方法	通常印刷	すぐに印刷されます。
	セキュリティ印刷	印刷文書を本機の「機密文書ジョブ」に保存します。印刷するときに本機の操作パネルで ID とパスワード入力が必要になります。機密性の高い文書を印刷する場合に選択します。
[部門管理]	—	本機で「部門管理認証」している場合の部門名／パスワードを設定します。
[詳細設定]	—	詳細設定項目のある機能を表示します。



出力方法について詳しくは、「機能詳細説明」(p. 10-1)をごらんください。

■ 原則

- 仕分けは、オプションのセパレータと拡張メモリが装着されている場合のみ使用可能となります。
- セキュリティ印刷、ソート（1部ごと）の印刷は、オプションの拡張メモリが装着されている場合のみ使用可能となります。

■ 出力方法の詳細設定を確認する

[詳細設定] をクリックすると、「出力方法」機能のうち、詳細設定項目のある機能が表示されます。

[すべて開く] をクリックすると、設定内容が表示されます。

各機能を選択して [設定] をクリックすると、各機能の詳細設定ダイアログが表示されます。



- セキュリティ印刷：「出力方式」で「セキュリティ印刷」を指定したときに表示される画面と同じです。
- 部門管理：「出力方式」で「部門管理」のチェックボックスを ON にしたときに表示される画面と同じです。

- 管理者設定：認証設定の入力ダイアログの表示設定を変更するダイアログを表示します。



- 印刷時に入力画面を表示する：印刷を指定するときに部門管理設定ダイアログを表示し、毎回部門名の入力を確認させます。

8.5.4 レイアウト



機能名称	選択肢	説明
印刷種類	片面、両面	両面印刷を設定します。
開き方向 / とじ方向	左とじ、右とじ、上とじ	とじ位置を設定します。
拡大連写	2×2、3×3、4×4	1枚の原稿を複数の用紙に分割して印刷します。「のりしろ線」で境界枠の有無が設定できます。
のりしろ線	ON/OFF	のりしろの有無を設定します。拡大連写が「オフ」以外のときに設定できます。
180°回転	ON/OFF	180°回転して印刷します。

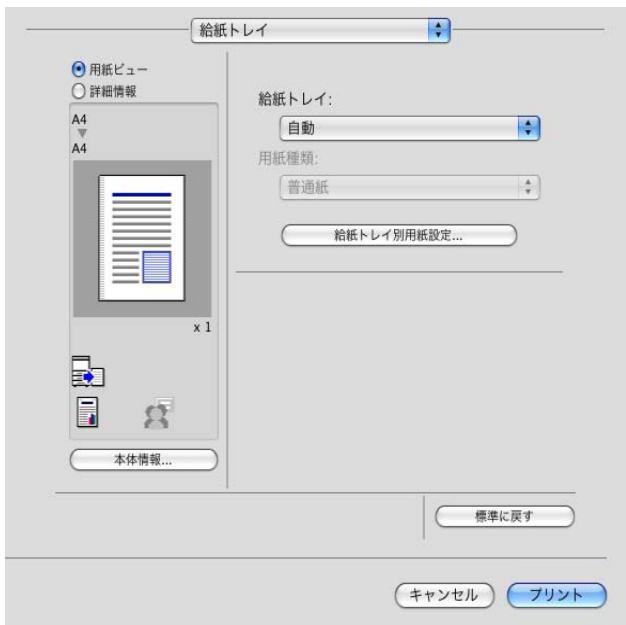
原則

両面印刷は、オプションの両面ユニットと拡張メモリが装着されている場合のみ使用可能となります。

ひとこと

「拡大連写」の設定で、1つの印刷ジョブ内にサイズや方向が異なるページが含まれる文書を印刷すると、画像が欠損したり、画像が重なったりする場合があります。

8.5.5 給紙トレイ



機能名称	選択肢	説明
給紙トレイ	自動、トレイ 1～4、LCT、手差し	使用する給紙トレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
用紙種類	本機で利用できる用紙種類	印刷に使用する用紙種類を表示します。表示される用紙種類は、選択された給紙トレイに対して「給紙トレイ別用紙設定」で登録されている用紙種類になります。
[給紙トレイ別用紙設定]	給紙トレイ	設定する給紙トレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
	用紙種類	給紙トレイにセットする用紙種類を選択します。

ひとこと

用紙種類の「両面 2 面目」は、用紙の裏面に印刷するときに指定します。

8.5.6 画像品質



機能名称	選択肢	説明
カラー選択	フルカラー、グレースケール	印刷する色を設定します。
光沢モード	ON/OFF	光沢効果を加えて印刷します。
カラー設定	文書、写真、DTP、Web、CAD	選択した原稿に適した画質で印刷します。 文書：文字の多い文書に適した処理です。 写真：写真に適した処理です。 DTP：DTP で作成した文書に適した処理です。 WEB：WEB ページの印刷に適した処理です。 CAD：CAD データの印刷に適した処理です。
画質調整	—	画質を調整します。文字や写真、図表など、原稿内容ごとに調整できます。



第9章

Mac OS 9.2 の印刷機能

OS 9.2 用のプリンタードライバーの機能について説明します。

9.1	印刷操作	9-2
9.2	プリンタードライバーの初期設定	9-3
9.3	設定項目詳細	9-5

9.1 印刷操作

通常、印刷はアプリケーションソフトウェアから指定します。

1

アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから「印刷」(または「プリント」) をクリックします。

- メニューがない場合は、[印刷] ボタンをクリックします。

「プリント」画面が表示されます。

2

「プリンタ」で印刷したいプリンター名が選択されているか確認します。

- 目的のプリンターが選択されていないときは、選択します。



3

印刷するページ範囲や部数を設定します。

4

必要に応じて設定画面を切換えて、プリンタードライバーの設定を変更します。

5

[プリント] をクリックします。

ひとこと

- ・プリンターが表示されないときは、「セレクタ」でプリンターを選択します。詳しくは、「プリンターの選択と接続」(p. 5-14)をごらんください。
- ・「プリント」画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

詳しく説明します

「一般設定」のメニューを変更すると、プリンタードライバーのほかの設定画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、「設定項目詳細」(p. 9-5)をごらんください。

ひとこと

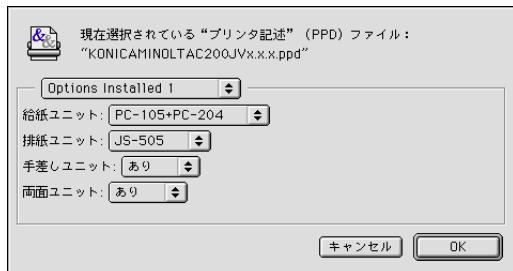
「プリント」画面で変更したプリンタードライバーの設定は保存されず、アプリケーションソフトウェアを終了すると元に戻ります。

9.2 プリンタードライバーの初期設定

プリンタードライバーをインストールしたら、日常の印刷を行う前にオプションなどの初期設定条件を変更し、本機の機能をプリンタードライバーから使用可能にする必要があります。

9.2.1 オプション設定

- 1 「アップルメニュー」の「セレクタ」を選択します。
- 2 プリンター名を選択します。
- 3 [再設定] をクリックします。
- 4 [構成] をクリックします。
オプションの設定画面が表示されます。



- 5 「Options Installed 1」と「Options Installed 2」の各画面で本機に装着しているオプションを設定します。
- 6 [OK] をクリックします。
「セレクタ」画面に戻ります。
- 7 「セレクタ」画面を閉じます。

ひとこと

本機の機種名や装着されているオプションが設定されていないと、プリンタードライバーでオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

ひとこと

LPR プリンターとして設定している場合は、デスクトップ上にある LPR プリンターのアイコンをダブルクリックし、「プリンタ」メニューの「設定の変更」をクリックするとオプションの設定画面が表示されます。

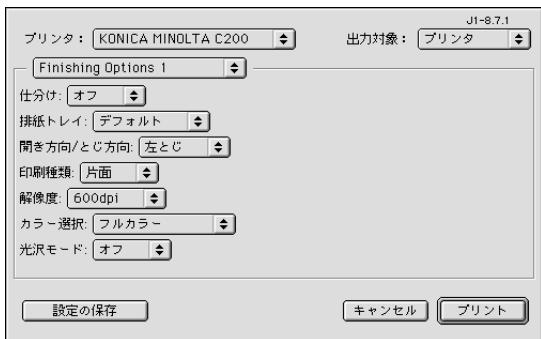


オプションの設定は、最初にプリンタードライバーを選択したときには、自動的に表示します。詳しくは、「[プリンターの選択と接続](#)」(p. 5-14) をごらんください。

9.2.2 デフォルト設定の登録

印刷時に設定する本機機能の設定内容は、そのアプリケーションを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は元に戻ります。

設定内容を登録する場合は、プリンタードライバーの設定を保存します。OS 9.2 の場合は、「プリント」画面で「設定の保存」をクリックして保存します。



プリンタードライバーの機能や設定項目については、「[設定項目詳細](#)」(p. 9-5) をごらんください。

ひとこと

- ・「ページ設定」画面の設定は保存できません。
- ・「プリント」画面の「一般設定」は保存できません。

9.3 設定項目詳細

プリンタードライバーの機能は「ページ設定」画面から指定する「ページ属性」と「プリント」画面から設定する、「レイアウト」、「Finishing Option」の各画面で設定します。

9.3.1 ページ属性

[ファイル] メニューの「ページ設定」(または「用紙設定」)で選択します。



用紙：印刷する用紙サイズを設定します。

方向：原稿の用紙方向を設定します。

拡大縮小：拡大・縮小率を設定します。

ひとこと

用紙サイズが定形以外のサイズの場合は、不定形サイズを設定してください。不定形サイズの登録については、「[カスタム用紙サイズの設定](#)」(p. 9-5) をご覧ください。

9.3.2 カスタム用紙サイズの設定

「ページ設定」画面で「カスタム用紙サイズ」を選択します。

1 [ファイル] メニューの「用紙設定」(または「ページ設定」)を選択します。

2 「カスタム用紙サイズ」を選択します。

3 [新規] をクリックします。

4 各項目を設定します。

- 用紙サイズ：希望する用紙サイズを設定します。
- 余白：用紙の余白を設定します。
- カスタム用紙サイズの名前：設定した用紙サイズや余白の登録名を入力し、[OK] をクリックします。
- 単位：設定単位を選択します。

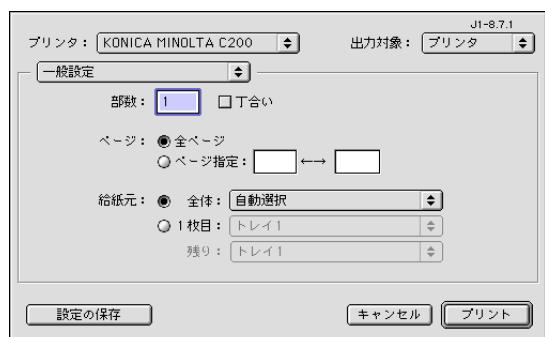


5 [OK] をクリックします。

カスタムページ設定が登録され、「ページ属性」の用紙で選択できるようになります。

9.3.3 一般設定

[ファイル] メニューの「印刷」(または「プリント」)で選択します。



部数：印刷する部数を設定します。

丁合い：複数部数を、部数ごと印刷するかどうかを設定します。

ページ：印刷するページ範囲を設定します。

給紙元：使用する給紙トレイを選択します。

ひとこと

丁合いは、オプションの拡張メモリが装着されている場合のみ使用可能となります。

9.3.4 レイアウト (ページ割付)

複数ページを1枚の用紙に割付けるときに設定します。



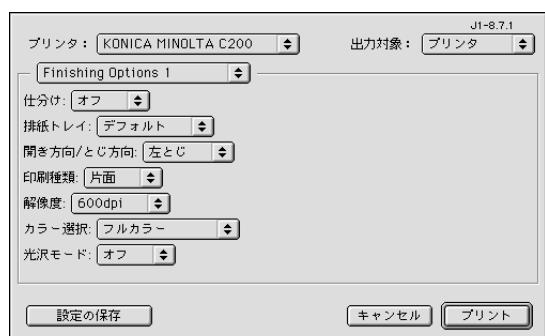
ページ割り付け：複数ページの文書を1枚の用紙に割付けます。

レイアウト方向：ページの割付け順を設定します。

枠線：ページ間に境界線を設定します。

9.3.5 プリンター固有機能 (Finishing Option 1 ~ 3)

プリンター固有の機能を設定します。本機の機能を利用するときに設定します。



仕分け：仕分けを設定します。

排紙トレイ：排紙トレイを選択します。

開き方向 / とじ方向：とじ位置を設定します。

印刷種類：両面印刷を行います。

解像度：解像度を設定します。

カラー選択：印刷する色をカラーまたはグレースケールに設定します。

光沢モード：光沢効果を加えて印刷します。

カラー設定：原稿に適した画質で印刷します。

カラーマッチング（文字）：原稿内の文字のカラー画質を調整します。

グレー補償（文字）：原稿内の文字のグレー補償を ON/OFF します。

スクリーン（文字）：原稿内の文字のスクリーン処理を設定します。

カラーマッチング（写真）：原稿内の写真のカラー画質を調整します。

グレー補償（写真）：原稿内の写真のグレー補償を ON/OFF します。

スクリーン（写真）：原稿内の写真のスクリーン処理を設定します。

カラー設定（図表グラフ）：原稿内の図表グラフのカラー画質を文字または写真のどちらかの設定に合わせます。

スクリーン（図表グラフ）：原稿内の図表グラフのスクリーン処理を設定します。

■ 原則

- 仕分けは、オプションのセパレータと拡張メモリが装着されている場合のみ使用可能となります。
- 両面印刷は、オプションの両面ユニットと拡張メモリが装着されている場合のみ使用可能となります。

第10章

機能詳細説明

プリンタードライバーと本機のパネル操作を組み合わせる必要があるなど、特に注意が必要な機能について説明します。

10.1 セキュリティ印刷	10-2
10.2 部門管理機能を使用している本機で印刷する	10-7

10.1 セキュリティ印刷

セキュリティ印刷機能は、印刷ジョブを本機の機密文書ジョブに保存する機能です。操作パネルから ID とパスワードを入力することで出力するので、機密性の高い文書の出力に便利です。

セキュリティ印刷は、印刷時にプリンタードライバーで指定し、操作パネルで出力を実行します。

■ 原則

セキュリティ印刷は、オプションの拡張メモリが装着されている場合のみ使用可能となります。

10.1.1 プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 3 種類です。

- Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー (PCL ドライバー)
- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー (PS ドライバー)
- Macintosh OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー

以下の設定で印刷します。

- 出力方法：「セキュリティ印刷」

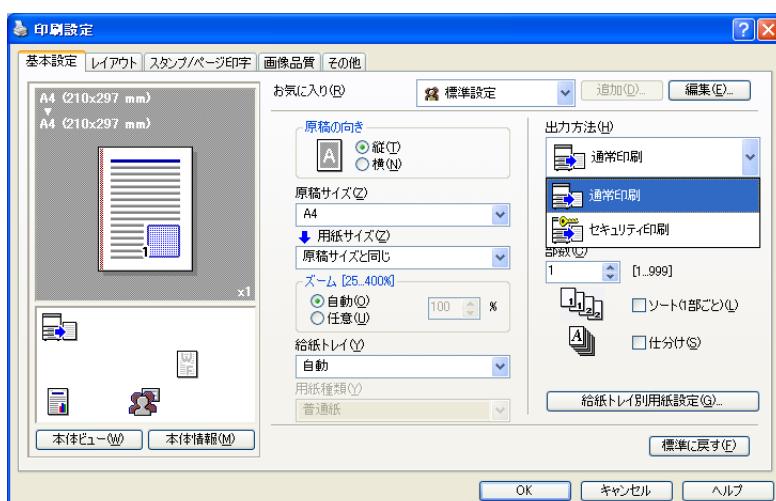
■ Windows の場合

1

「基本設定」タブを表示します。

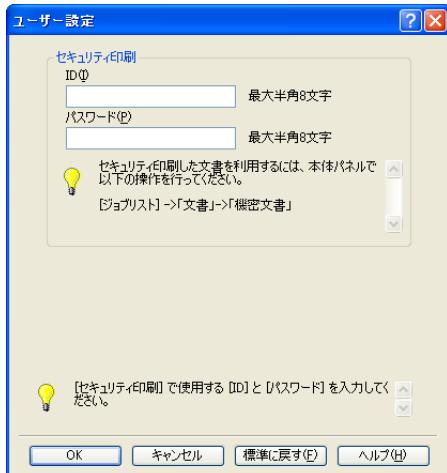
2

「出力方法」で「セキュリティ印刷」を選択します。



3

IDとパスワードを入力します。



4

印刷します。

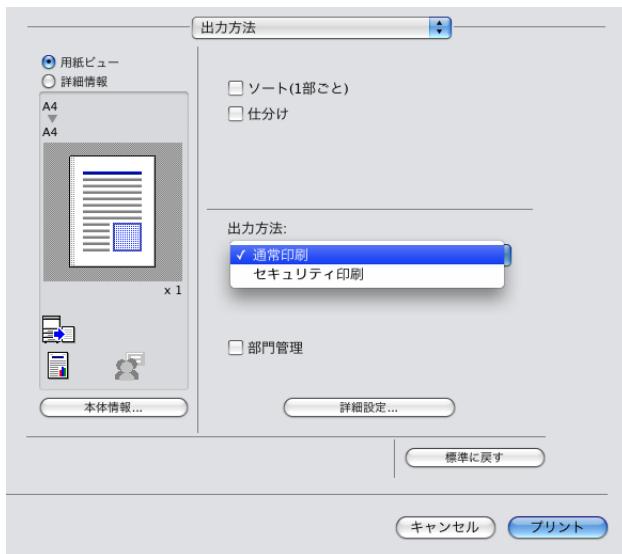
■ Macintosh OS X の場合

1

「出力方法」画面を表示します。

2

「出力方法」で「セキュリティ印刷」を選択します。



ひとこと

「基本設定」タブの「ユーザー設定」では、セキュリティ印刷で必要なIDとパスワードをあらかじめ登録しておくことができます。常に同じIDとパスワードで印刷する場合は、あらかじめ登録しておくと「セキュリティ印刷」選択時にIDとパスワードを入力する画面が表示されません。

3

IDとパスワードを入力します。

**ひとこと**

「設定を保存する」をONにすると設定した内容が保存されます。さらに「設定時にこの画面を表示しない」をONにすると、機能を指定したときにダイアログが表示されません。

4

印刷します。

10.1.2 操作パネルからのジョブ呼び出し

「セキュリティ印刷」によるジョブは、機密文書として保存されます。セキュリティ文書を印刷するには、プリンタードライバーで指定したIDとパスワードが必要です。

1

本体操作パネルの【ジョブリスト】を押します。

**参照**

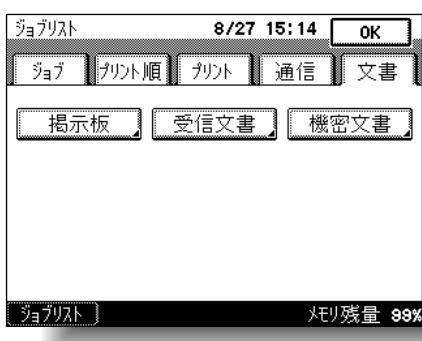
操作パネルの各キーのはたらきについては、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

ひとこと

- ・機密文書は登録されてから一定時間経過すると自動的に削除されます。この時間はソフトウェア DIPSW (モード 304) で設定できます。ソフトウェア DIPSW については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・機密文書は主電源を OFF になると削除されます。

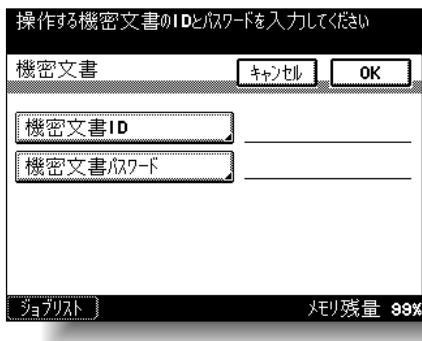
2

[文書] タブの【機密文書】を押します。



3

機密文書 ID] を押します。



4

機密文書 ID を入力し、[OK] を押します。



5

[機密文書 パスワード] を押します。

6

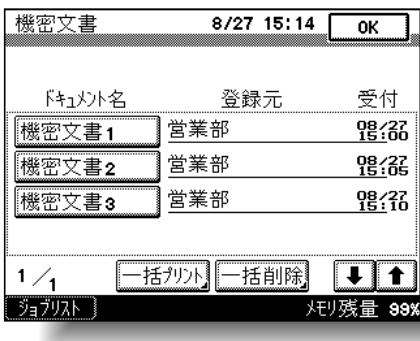
機密文書 パスワードを入力し、[OK] を押します。



指定した ID、パスワードと一致するセキュリティ文書の一覧が表示されます。

7

印刷したい文書を押します。

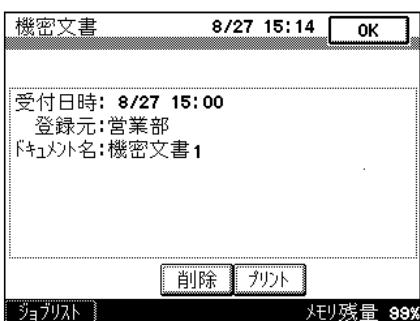


ひとこと

[一括プリント] を押すと表示されている全文書を印刷できます。

8

[プリント] を押します。



ひとこと

文書を削除するときは [削除] を押します。

文書が印刷されます。

10.2 部門管理機能を使用している本機で印刷する

本機側で「部門管理機能」を使用している場合、印刷時に部門管理コード（暗証番号）を入力する必要があります。



・本機側の「部門管理機能」で有効ではない暗証番号を入力して印刷した、または「部門管理」を設定しないで印刷した場合は本機で認証されずにジョブが破棄されます。

・本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の3種類です。

Windows用PCLコニカミノルタ製プリンタードライバー(PCLドライバー)

Windows用PostScriptコニカミノルタ製プリンタードライバー(PSドライバー)

Macintosh OS X用PostScriptPPDプリンタードライバー

ひとこと

部門管理については、本機の管理者にお問い合わせください。

ひとこと

部門管理が「装置情報」タブで設定されていないと、部門管理が行えません。部門管理を利用している場合は、必ず「装置情報」で設定してください。詳しくは、「装置情報タブ」(p. 7-4)をごらんください。

10.2.1 プリンタードライバーの設定

■ Windowsの場合

1

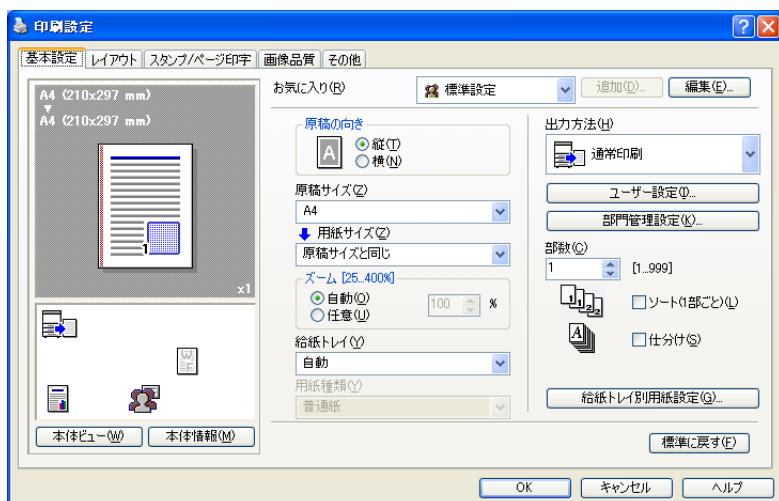
「印刷」ダイアログボックスで「プロパティ」(または「詳細設定'))をクリックして、プリンタードライバーの設定ダイアログを表示します。

2

「基本設定」タブをクリックします。

3

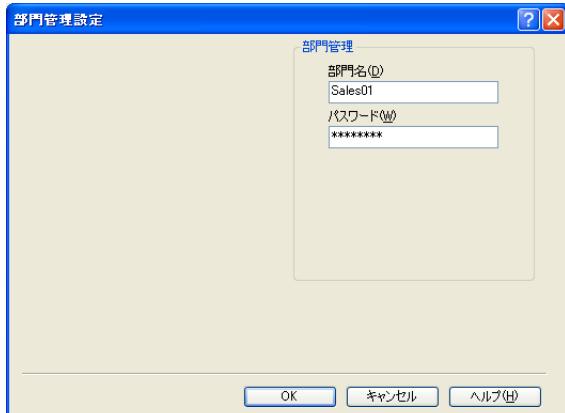
「部門管理設定」をクリックします。



4

部門名、パスワードを入力します。

- パスワードはジョブごとではなく、デフォルト値としてプリンタードライバーに設定しておいても使用できます。



5

[OK] をクリックして設定後、印刷します。

入力した暗証番号が本機側で有効になっている暗証番号である場合、ジョブは印刷されます。

■ Macintosh OS X の場合

1

[ファイル] メニューの「プリント」を選択します。

2

「出力方法」を選択します。

3

「部門管理」のチェックボックスを ON にします。



4

部門名とパスワードを登録します。



ひとこと

「設定を保存する」を ON にすると設定した内容が保存されます。さらに「設定時にこの画面を表示しない」を ON にすると、機能を指定したときにダイアログが表示されません。

第 11 章

操作パネルでの各種設定

操作パネルで設定できるプリンター関連の機能を説明します。

11.1	ユーザー設定の基本操作	11-2
11.2	ユーザー設定	11-3
11.3	管理者設定の基本操作	11-18
11.4	管理者設定	11-19

11.1 ユーザ設定の基本操作

11.1.1 ユーザ設定画面を表示させるには

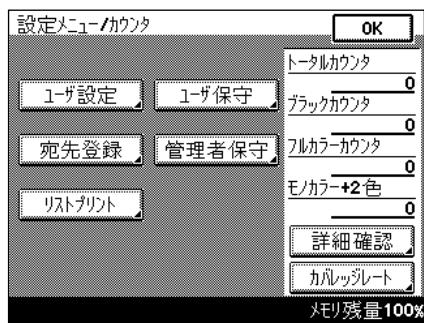
1

【設定メニュー／カウンタ】を押します。



2

[ユーザ設定] を押します。



詳しく説明します

設定メニューの設定を終了するときは、【リセット】を押します。コピー、ファクス / スキャンのいずれかの画面になるまで [OK] を押しても終了できます。

ユーザ設定画面が表示されます。



11.2 ユーザー設定

11.2.1 PDL 設定

Page Description Language の設定ができます。(初期値:自動)

- 自動: PCL と PS を自動で切換えます。
- PCL: PCL を固定で使用します。
- PS: PS を固定で使用します。

1

ユーザ設定画面で、[プリンタ設定] を押します。



ユーザ設定画面の表示のしかたは、「[ユーザ設定画面を表示させるには](#)」(p. 11-2)をごらんください。

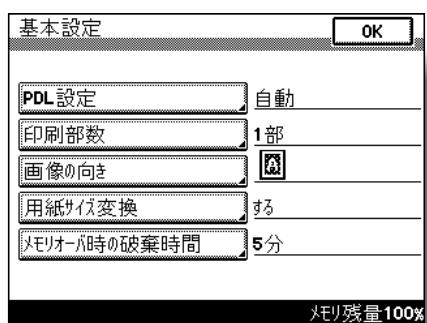
2

[基本設定] を押します。



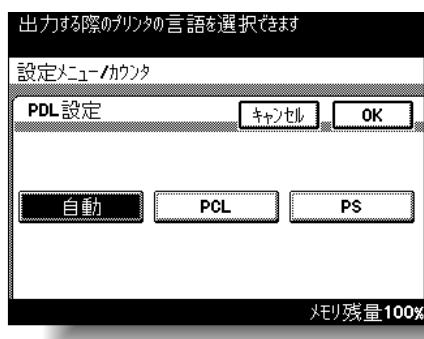
3

[PDL 設定] を押します。



4

希望するキーを押します。



5

[OK] を押します。

11.2.2 印刷部数

印刷部数の初期値を設定できます。(初期値：1 部)

1

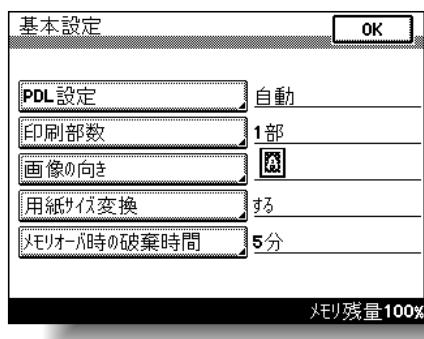
ユーザ設定画面で、[プリンタ設定] を押します。

2

[基本設定] を押します。

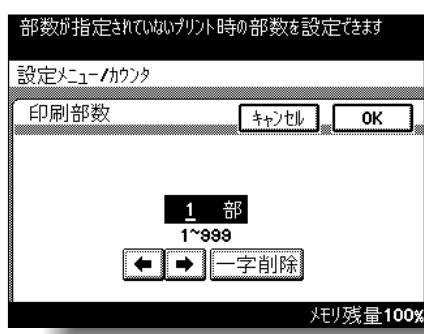
3

[印刷部数] を押します。



4

【C】を押し数値をクリアしてから、テンキーで部数を入力します。(1 部～ 999 部)



5

[OK] を押します。



ユーザ設定画面の表示のしかたは、「[ユーザ設定画面を表示させるには](#)」(p. 11-2)をごらんください。

ひとこと

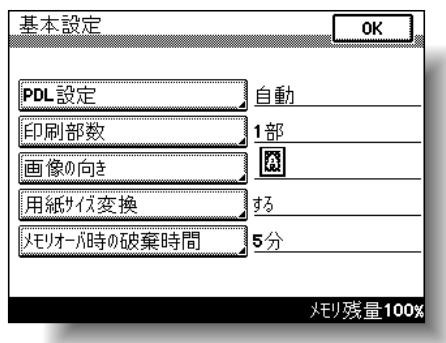
設定範囲を超える数値は入力できません。設定可能範囲の数値を入力し直してください。

11.2.3 画像の向き

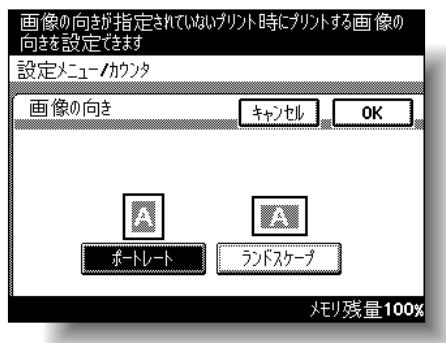
画像の向きの初期値が設定できます。(初期値: ポートレート)

- ポートレート: 用紙を縦置きにして印刷する画像
- ランドスケープ: 用紙を横置きにして印刷する画像

- 1 ユーザ設定画面で、[プリンタ設定] を押します。
- 2 [基本設定] を押します。
- 3 [画像の向き] を押します。



- 4 希望するキーを押します。



- 5 [OK] を押します。

11.2.4 用紙サイズ変換

プリンタードライバーで指定されている用紙がトレイにセットされていない場合に、A4 ⇄ Letter、A3 ⇄ Ledger の用紙変換をし、近いサイズの用紙で印刷します。(初期値: する)

- 1 ユーザ設定画面で、[プリンタ設定] を押します。
- 2 [基本設定] を押します。



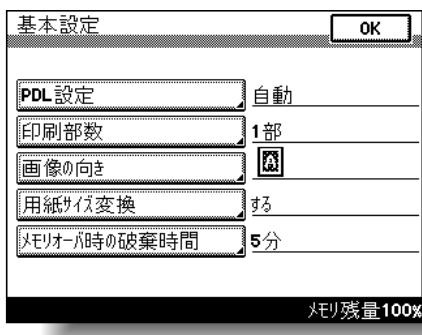
ユーザ設定画面の表示のしかたは、「[ユーザ設定画面を表示させるには](#)」(p. 11-2) をごらんください。



ユーザ設定画面の表示のしかたは、「[ユーザ設定画面を表示させるには](#)」(p. 11-2) をごらんください。

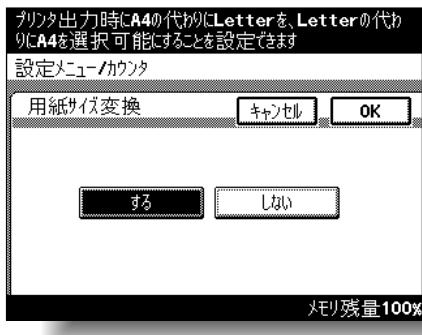
3

[用紙サイズ変換] を押します。



4

希望するキーを押します。



5

[OK] を押します。

11.2.5 メモリオーバ時の破棄時間

データをスプール中にメモリオーバが発生した場合に、何分間で受信中のデータを破棄するかを設定できます。(初期値 : 5 分)

1

ユーザ設定画面で、[プリンタ設定] を押します。

2

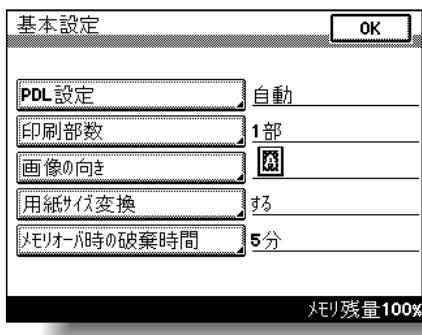
[基本設定] を押します。

3

[メモリオーバ時の破棄時間] を押します。

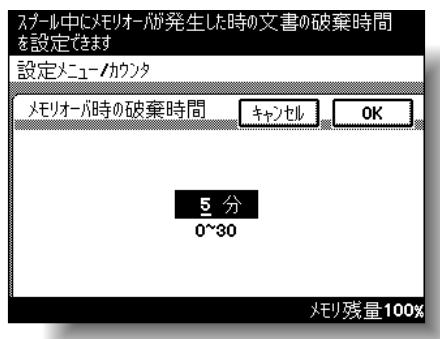


ユーザ設定画面の表示のしかたは、「[ユーザ設定画面を表示させるには](#)」(p. 11-2)をごらんください。



4

- 【C】を押し数値をクリアしてから、テンキーで時間を入力します。(0分～30分)



5

- [OK] を押します。

11.2.6 給紙トレイ

給紙トレイの初期値を設定できます。(初期値：自動用紙)

1

- ユーザ設定画面で、[プリンタ設定] を押します。

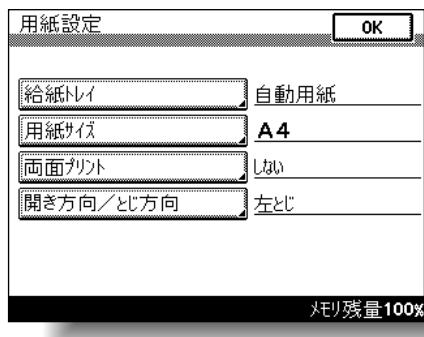
2

- [用紙設定] を押します。



3

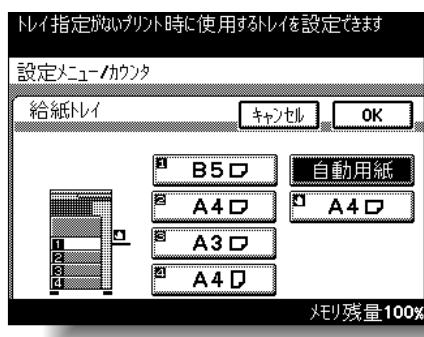
- [給紙トレイ] を押します。



ユーザ設定画面の表示のしかたは、「[ユーザ設定画面を表示させるには](#)」(p. 11-2)をごらんください。

4

希望するトレイのキーを押します。

**ひとこと**

給紙トレイを自動で選択させる場合は【自動用紙】を押します。

5

[OK] を押します。

11.2.7 用紙サイズ

用紙サイズの初期値を設定できます。(初期値: A4)

1

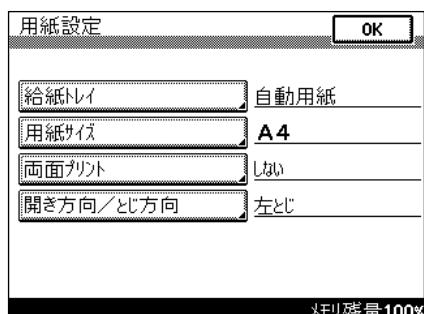
ユーザ設定画面で、[プリンタ設定] を押します。

2

[用紙設定] を押します。

3

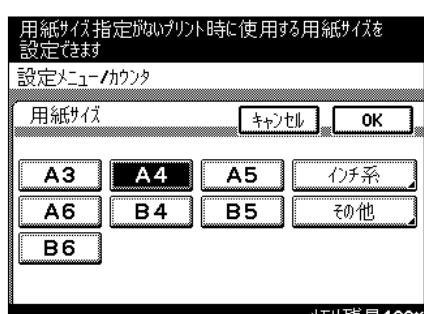
[用紙サイズ] を押します。



ユーザ設定画面の表示のしかたは、「[ユーザ設定画面を表示させるには](#)」(p. 11-2)をごらんください。

4

希望するキーを押します。

**ひとこと**

他の用紙を選択するときは、[インチ系] または [その他] を押してページを切換えます。

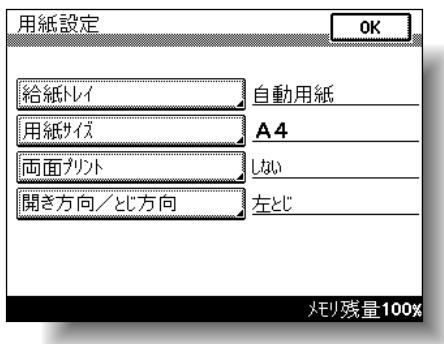
5

[OK] を押します。

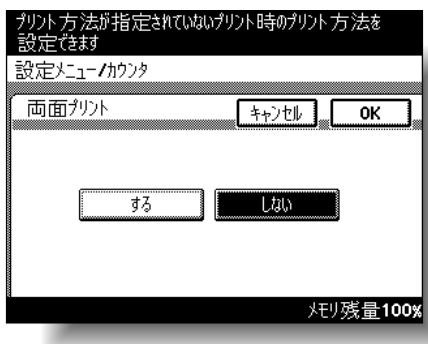
11.2.8 両面プリント

両面印刷の初期値が設定できます。(初期値: しない)

- 1** ユーザ設定画面で、[プリンタ設定] を押します。
- 2** [用紙設定] を押します。
- 3** [両面プリント] を押します。



- 4** 希望するキーを押します。



- 5** [OK] を押します。

原則

両面印刷は、オプションの両面ユニットと拡張メモリが装着されている場合のみ使用可能となります。

11.2.9 開き方向 / とじ方向

両面印刷時のとじ方向の初期値を設定できます。(初期値: 上とじ)

- 1** ユーザ設定画面で、[プリンタ設定] を押します。
- 2** [用紙設定] を押します。



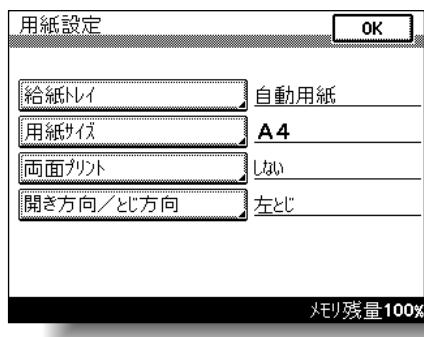
ユーザ設定画面の表示のしかたは、「[ユーザ設定画面を表示させるには](#)」(p. 11-2)をごらんください。



ユーザ設定画面の表示のしかたは、「[ユーザ設定画面を表示させるには](#)」(p. 11-2)をごらんください。

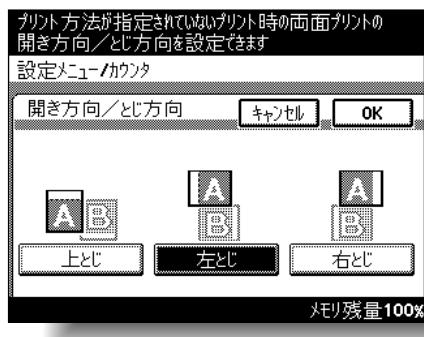
3

[開き方向 / とじ方向] を押します。



4

希望するキーを押します。



5

[OK] を押します。

11.2.10 フォント設定

フォントの初期値を設定できます。(初期値 : 0)

1

ユーザ設定画面で、[プリンタ設定] を押します。

2

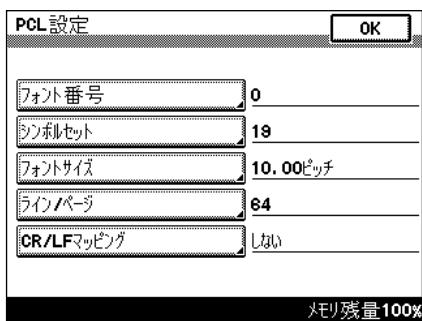
[PCL 設定] を押します。



ユーザ設定画面の表示のしかたは、「[ユーザ設定画面を表示させるには](#)」(p. 11-2)をごらんください。

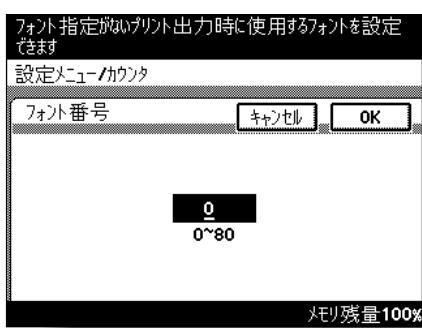
3

[フォント番号] を押します。



4

【C】を押し数値をクリアしてから、テンキーでフォント番号を入力します。(0 ~ 80)



5

[OK] を押します。

ひとこと

- ・ 設定範囲を超える数値は入力できません。設定可能範囲の数値を入力し直してください。
- ・ フォント番号とフォントの対応は、「フォント一覧」をごらんください。

■ フォント一覧

No.	フォント名	No.	フォント名
0	Courier	41	Helvetica Narrow
1	CG Times	42	Helvetica Narrow Bold
2	CG Times Bold	43	Helvetica Narrow Oblique
3	CG Times Italic	44	Helvetica Narrow Bold Oblique
4	CG Times Bold Italic	45	Palatino Roman
5	CG Omega	46	Palatino Bold
6	CG Omega Bold	47	Palatino Italic
7	CG Omega Italic	48	Palatino Bold Italic
8	CG Omega Bold Italic	49	ITC Avant Garde Gothic Book
9	Coronet	50	ITC Avant Garde Gothic Demi
10	Clarendon Condensed	51	ITC Avant Garde Gothic Book Oblique
11	Univers Medium	52	ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique
12	Univers Bold	53	ITC Bookman Light
13	Univers Medium Italic	54	ITC Bookman Demi
14	Univers Bold Italic	55	ITC Bookman Light Italic

No.	フォント名	No.	フォント名
15	Univers Med. Condensed	56	ITC Bookman Demi Italic
16	Univers Bold Condensed	57	New Century Schoolbook Roman
17	Univers Med. Cond. It.	58	New Century Schoolbook Bold
18	Univers Bold. Cond. It.	59	New Century Schoolbook Italic
19	Antique Olive	60	New Century Schoolbook Bold Italic
20	Antique Olive Bold	61	Times Roman
21	Antique Olive Italic	62	Times Bold
22	Garamond Antiqua	63	Times Italic
23	Garamond Halbfett	64	Times Bold Italic
24	Garamond Kursiv	65	ITC Zapf Chancery Medium Italic
25	Garamond Kursiv Halbfett	66	Symbol
26	Marigold	67	SymbolPS
27	Albertus Medium	68	Wingdings
28	Albertus Extra Bold	69	ITC Zapf Dingbats
29	Arial	70	Courier Bold
30	Arial Bold	71	Courier Italic
31	Arial Italic	72	Courier Bold Italic
32	Arial Bold Italic	73	Letter Gothic 2
33	Times New Roman	74	Letter Gothic Bold
34	Times New Roman Bold	75	Letter Gothic Italic
35	Times New Roman Italic	76	CourierPS
36	Times New Roman Bold Italic	77	CourierPS Bold
37	Helvetica	78	CourierPS Oblique
38	Helvetica Bold	79	CourierPS Bold Oblique
39	Helvetica Oblique	80	Line Printer ON
40	Helvetica Bold Oblique		

11.2.11 シンボルセット

フォントシンボルセットの初期値を設定できます。(初期値 : 19)

- 1 ユーザ設定画面で、[プリンタ設定] を押します。
- 2 [PCL 設定] を押します。



ユーザ設定画面の表示のしかたは、「[ユーザ設定画面を表示させるには](#)」(p. 11-2) をごらんください。

3

[シンボルセット] を押します。



4

[C] を押し数値をクリアしてから、テンキーでシンボルセット番号を入力します。(0 ~ 44)



5

[OK] を押します。

ひとこと

- ・ 設定範囲を超える数値は入力できません。設定可能範囲の数値を入力し直してください。
- ・ シンボルセット番号とシンボルセットの対応は、「シンボルセット一覧」をごらんください。

■ シンボルセット一覧

No.	シンボルセット名	No.	シンボルセット名
0	Desktop	23	PC-866
1	ISO 4: United Kingdom	24	PC-8 Turkish
2	ISO 6: Ascii	25	PC-8 Danish/Norw
3	ISO11: Swedish	26	PC-1004
4	ISO15: Italian	27	PI Font
5	ISO17: Spanish	28	PS Math
6	ISO21: German	29	PS Text
7	ISO60: Danish/Norw	30	Roman-8
8	ISO69: French	31	Windows 3.0
9	ISO 8859/1 Latin 1	32	Windows Baltic
10	ISO 8859/2 Latin 2	33	Windows 3.1 Latin 1
11	ISO 8859/9 Latin 5	34	Windows 3.1 Latin 2
12	ISO 8859/10 Latin 6	35	Windows 3.1 Latin 5
13	ISO 8859/15 Latin 9	36	Greek-8
14	Legal	37	PC-8 Greek
15	Math-8	38	PC-851 Latin/Greek
16	MC Text	39	ISO 8859/7 Latin/Greek
17	Microsoft Publishing	40	Windows Latin/Greek

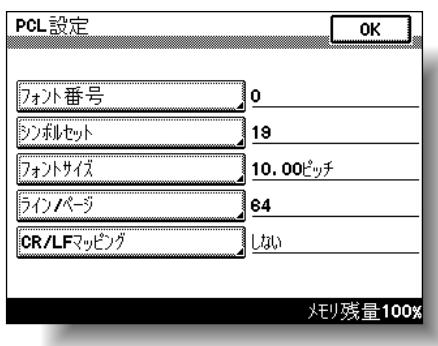
No.	シンボルセット名	No.	シンボルセット名
18	PC-775	41	CP-862 Latin/Hebrew
19	PC-8, Code Page 437	42	HP Hebrew-7
20	PC-850 Multilingual	43	HP Hebrew-8
21	PC-852 Latin 2	44	ISO 8859/8 Latin/Hebrew
22	PC-858 Multilingual		

11.2.12 フォントサイズ

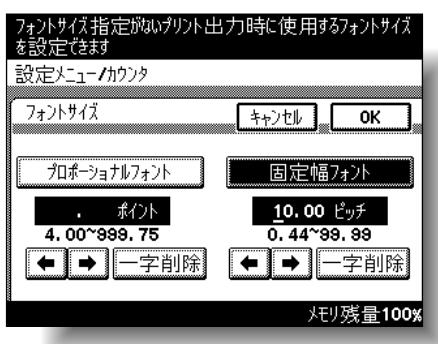
フォントサイズの初期値を設定します。(初期値:プロポーショナルフォント - 12.00 ポイント/固定幅フォント - 10.00 ピッチ)

- プロポーショナルフォント: フォントサイズ (単位: ポイント) を設定します。
- 固定幅フォント: 固定幅フォントの幅をピッチで設定します。

- 1 ユーザ設定画面で、[プリンタ設定] を押します。
- 2 [PCL 設定] を押します。
- 3 [フォントサイズ] を押します。



- 4 【C】を押し数値をクリアしてから、テンキーでサイズを入力します。(プロポーショナルフォント: 4.00 ポイント~999.75 ポイント、固定幅フォント: 0.44 ピッチ~99.99 ピッチ)



- 5 [OK] を押します。



ユーザ設定画面の表示のしかたは、「[ユーザ設定画面を表示させるには](#)」(p. 11-2) をごらんください。

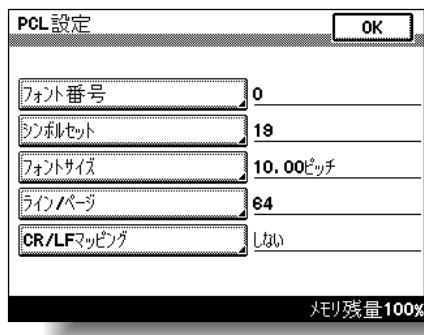
ひとこと

設定範囲を超える数値は入力できません。設定可能範囲の数値を入力し直してください。

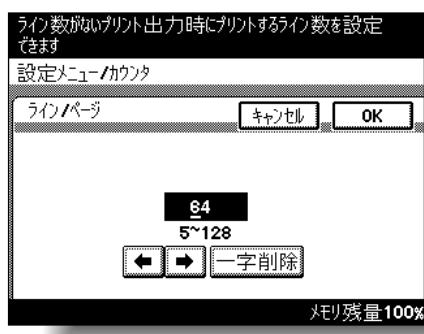
11.2.13 ライン / ページ

テキスト印字時の 1 ページのライン数を設定できます。(初期値 : 64 ライン)

- 1** ユーザ設定画面で、[プリンタ設定] を押します。
- 2** [PCL 設定] を押します。
- 3** [ライン / ページ] を押します。



- 4** 【C】を押し数値をクリアしてから、テンキーでライン数を入力します。(5 ライン～128 ライン)



- 5** [OK] を押します。

11.2.14 CR/LF マッピング

テキストデータを印刷する場合の CR と LF の置換え方法を設定できます。(初期値 : しない)

- [モード 1] : CR を CR-LF に置換えます。
- [モード 2] : LF を CR-LF に置換えます。
- [モード 3] : CR-LF に置換えます。
- [しない] : 置換えは行いません。

- 1** ユーザ設定画面で、[プリンタ設定] を押します。
- 2** [PCL 設定] を押します。



ユーザ設定画面の表示のしかたは、「[ユーザ設定画面を表示させるには](#)」(p. 11-2) をごらんください。

ひとこと

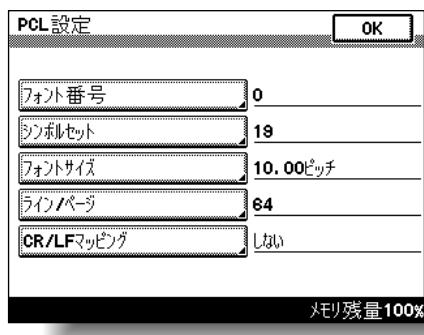
設定範囲を超える数値は入力できません。設定可能範囲の数値を入力し直してください。



ユーザ設定画面の表示のしかたは、「[ユーザ設定画面を表示させるには](#)」(p. 11-2) をごらんください。

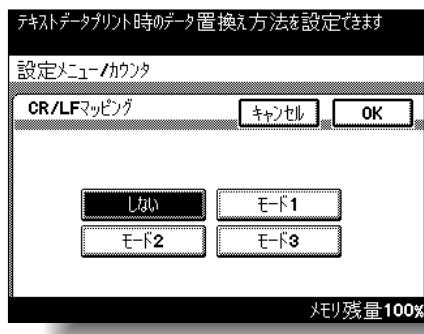
3

[CR/LF マッピング] を押します。



4

希望するキーを押します。



5

[OK] を押します。

11.2.15 レポート出力

レポートの出力を行います。以下の 4 種類のレポートを出力することができます。

- 設定情報リスト：本機の設定内容の一覧が出力されます。
- PCL デモページ：テストページが出力されます。
- PCL フォントリスト：PCL フォントリストを出力します。
- PS フォントリスト：PS フォントリストを出力します。

1

ユーザ設定画面で、[プリンタ設定] を押します。

2

[レポート出力] を押します。



ユーザ設定画面の表示のしかたは、
「ユーザ設定画面を表示させるには」(p. 11-2) をごらんください。

3

希望するキーを押します。



選択したレポートが出力されます。

11.3 管理者設定の基本操作

11.3.1 管理者保守画面を表示させるには

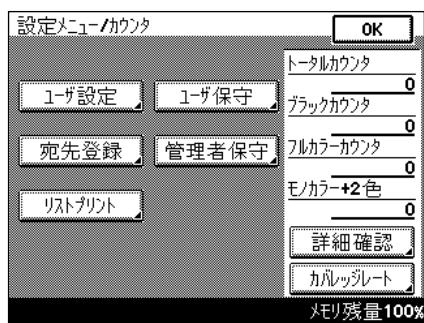
1

【設定メニュー / カウンター】を押します。



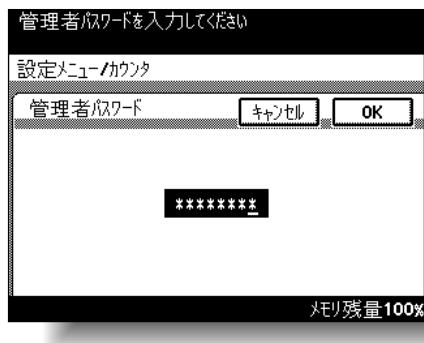
2

【管理者保守】を押します。

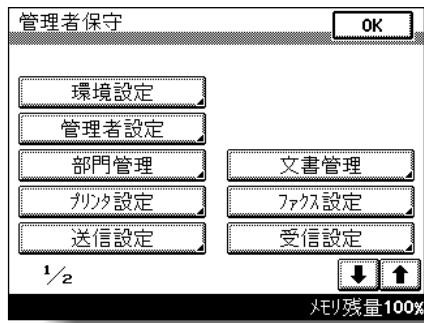


3

パスワードを入力し、[OK] を押します。



管理者保守画面が表示されます。



詳しく説明します

パスワードの設定や変更については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

詳しく説明します

設定メニューの設定を終了するときは、【リセット】を押します。コピー、ファクス / スキャンのいずれかの画面になるまで [OK] を押しても終了できます。

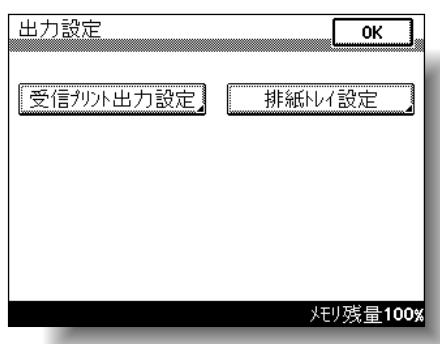
11.4 管理者設定

11.4.1 受信プリント出力設定

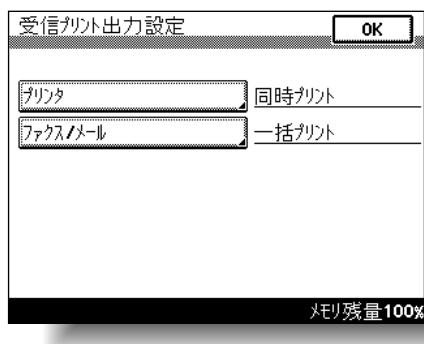
データを受信したときに、受信完了後、一括で印刷するか、受信と同時に印刷するかの印刷のタイミングを設定できます。

プリンターの場合とファクスの場合と分けて設定できます。(初期値: プリンター/同時プリント)

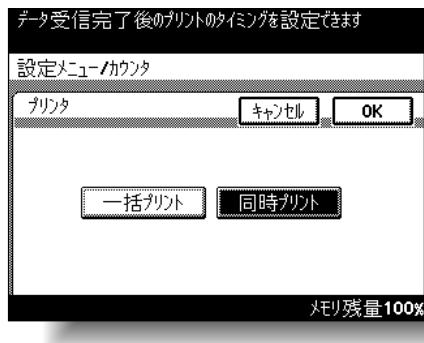
- 1 管理者保守画面で、[環境設定] を押します。
- 2 環境設定画面で、[出力設定] を押します。
- 3 出力設定画面で、[受信プリント出力設定] を押します。
受信印刷出力設定画面が表示されます。



- 4 [プリンタ] または [ファクス / メール] を押します。



- 5 希望する設定値選択キーを押します。



- 6 [OK] を押します。



管理者保守画面の表示のしかたは、「[管理者保守画面を表示させるには](#)」(p. 11-18) をごらんください。

ひとこと

[排紙トレイ設定] は、オプションのセパレータが装着されている場合のみ表示されます。

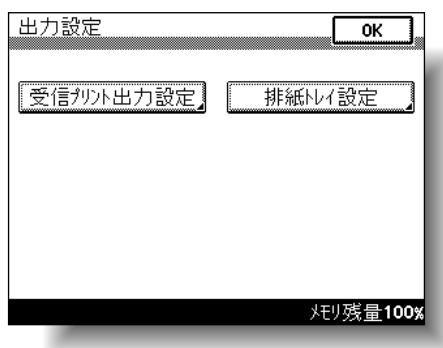
ひとこと

- ・一括プリントを選択した場合は、全てのデータを受け取ってから一括して印刷が開始されます。同時プリントを選択した場合は、1ページ目のデータを受け取ったときにジョブとして登録され印刷が開始されます。
- ・[プリンタ] の一括プリントは、オプションの拡張メモリが装着されている場合のみ有効となります。

11.4.2 排紙トレイ設定

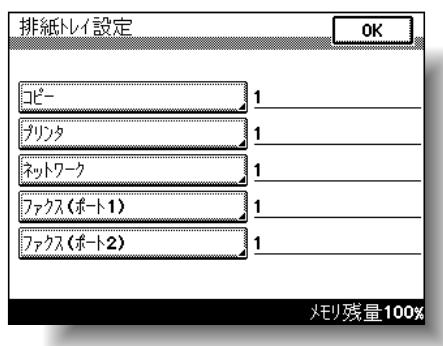
排紙トレイの初期値を設定できます。(初期値: プリンター／トレイ 2)

- 1** 管理者保守画面で、[環境設定] を押します。
- 2** 環境設定画面で、[出力設定] を押します。
- 3** 出力設定画面で、[排紙トレイ設定] を押します。

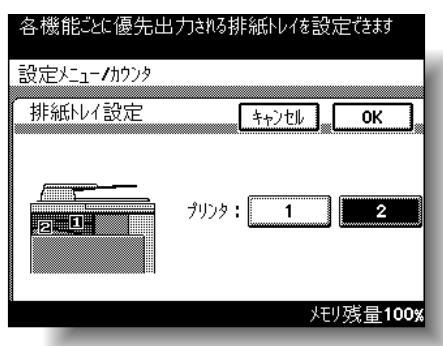


排紙トレイ設定画面が表示されます。

- 4** [プリンタ] を押します。



- 5** 希望する設定値選択キーを押します。



- 6** [OK] を押します。



管理者保守画面の表示のしかたは、「[管理者保守画面を表示させるには](#)」(p. 11-18)をごらんください。

ひとこと

[排紙トレイ設定] は、オプションのセパレータが装着されている場合のみ表示されます。

ひとこと

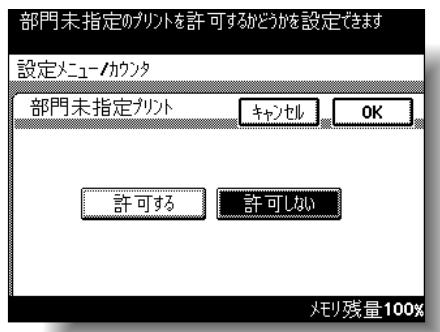
ファクスの設定項目は、オプションの FAX キットが装着されている場合のみ表示されます

11.4.3 部門未指定プリント

部門管理を行っている本機で、部門名やパスワードのない印刷ジョブの印刷を許可するかどうかを設定できます。(初期値: 許可しない)

- 許可する: 部門管理の部門名/パスワードが設定されていないジョブの印刷を許可します。
- 許可しない: 部門管理の部門名/パスワードが設定されていないジョブの印刷を禁止します。

- 1** 管理者保守画面で、[部門管理] を押します。
- 2** 部門管理画面で、[認証設定] を押します。
- 3** 認証設定画面で、[部門未指定プリント] を押します。
- 4** 希望する設定値選択キーを押します。



- 5** [OK] を押します。



部門未指定プリントを許可にした場合、部門管理を行っている本機に対し、プリンタードライバーで部門管理を設定しなくても印刷できてしまいます。セキュリティ上不都合がある場合は禁止で使用してください。

ひとこと

設定の許可/禁止に関わらず、間違った部門名/パスワードが設定されたジョブについては印刷せずに破棄します。

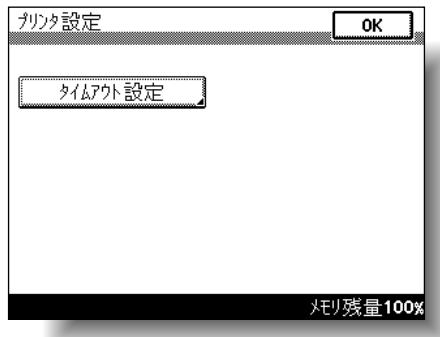


管理者保守画面の表示のしかたは、「[管理者保守画面を表示させるには](#)」(p. 11-18)をごらんください。

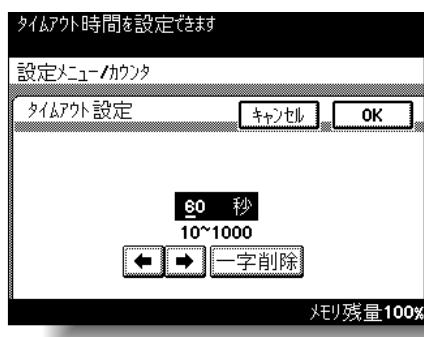
11.4.4 I/F タイムアウトの設定

通信タイムアウトまでの時間を設定できます。(初期値: 60 秒)

- 1** 管理者保守画面で、[プリンタ設定] を押します。
- 2** プリンタ設定画面で [タイムアウト設定] を押します。



- 3** 【C】を押し数値をクリアしてから、テンキーで時間を入力します。(10 秒 ~ 1000 秒)



- 4** [OK] を押します。



管理者保守画面の表示のしかたは、「[管理者保守画面を表示させるには](#)」(p. 11-18) をごらんください。

ひとこと

設定範囲を超える数値は入力できません。設定可能範囲の数値を入力し直してください。



第12章

トラブルシューティング

12.1 印刷できない	12-2
12.2 設定できない／設定したとおりに印刷できない	12-3

12.1 印刷できない

本章では、想定するトラブルおよび困った場合の解決方法について説明します。

印刷を実行したにもかかわらず、印刷できない場合に、上から順に確認してください。

状況	考えられる原因	対処方法
コンピューター上の画面に「プリンターが接続されていない」または「印刷エラー」という内容のメッセージが表示される。	印刷時に指定しているプリンタードライバーがプリンターコントローラー対応になっていない可能性があります。	指定しているプリンター名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたはUSBケーブルが外れている可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	本機側でエラーが発生している可能性があります。	本機の操作パネルを確認してください。
	メモリが不足している可能性があります。	テスト印刷で印刷できるか確認してください。
コンピューター上の画面にポストスクリプトエラーが表示される。	コンピューターのメモリが不足している可能性があります。	テスト印刷で印刷できるか確認してください。
	アプリケーションソフトウェアの設定によるエラーが考えられます。	アプリケーションソフトウェアの取扱説明書などを参考に、設定を再確認してください。
	ファイルの印刷設定が間違っている可能性があります。	設定を変えて再度印刷を試してみてください。
コンピューター側の印刷処理は終了したが印刷が開始されない。	印刷時に指定しているプリンタードライバーがプリンターコントローラー対応になっていない可能性があります。	指定しているプリンター名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたはUSBケーブルが外れている可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	本機側でエラーが発生している可能性があります。	本機の操作パネルを確認してください。
	未処理のジョブが本機に残っていて、処理待ち状態になっている可能性があります。	本機の操作パネルのジョブ確認でジョブの順番を確認してください。
	印刷実行時に「セキュリティ印刷」を指定している可能性があります。	本機の操作パネルで「機密文書ジョブ」に目的のジョブが保留されているか確認してください。
	部門管理している場合、登録以外の部門管理コード（暗証番号）を入力している可能性があります。	部門管理コード（暗証番号）を正しく入力してください。
	コンピューターのメモリが不足している可能性があります。	テスト印刷で印刷できるか確認してください。
セキュリティ印刷で印刷されない。	プリンターコントローラーとのネットワークが確立されていません（ネットワーク接続時）。	ネットワーク管理者にご相談ください。
	オプションの拡張メモリが装着されていない可能性があります。	セキュリティ印刷は、オプションの拡張メモリが装着されている場合のみ使用可能となります。
部門管理で印刷できない	部門名／パスワードが間違っています。	正しい部門名／パスワードを入力してください。
	プリンタードライバーの部門管理設定が設定されていません。	プリンタードライバーの部門管理設定を設定してください。

以上のことを行っても解決しない場合は、「ユーザーズガイド コピー機能編」をお読みください。

12.2 設定できない／設定したとおりに印刷できない

プリンタードライバーで設定ができない場合や、設定してもそのとおりに印刷されない場合に確認してください。

ひとこと

プリンタードライバーの項目を設定する場合、項目によっては同時に選択できないものがあります。

12.2.1 プリンタードライバーの設定が機能しない

状況	考えられる原因	対処方法
プリンタードライバー上で項目が選択できない。	機能によっては組み合わせできない場合があります。	グレー表示の部分は設定できません。
コンピューター画面上に「設定できない」「機能が解除される」内容の「競合」メッセージが表示される。	組み合わせできない機能を設定しています。	内容をよく確認し、機能を指定しなおしてください。
設定したとおりに印刷できない。	正しく設定されていない可能性があります。 プリンタードライバー上では組み合わせて設定できますが、本機としては組み合わせができません。	プリンタードライバーの各設定項目を確認してください。
	アプリケーションで設定した用紙サイズや用紙の向きなどがプリンタードライバーでの設定より優先されて印刷されることがあります。	アプリケーション側の設定を正しく設定してください。
ウォーターマークが印刷できない。	ウォーターマークを正しく設定していない可能性があります。 ウォーターマークの濃度が薄い可能性があります。	ウォーターマークの設定を確認してください。 濃淡設定を確認してください。
	グラフィックス系などのアプリケーションソフトウェアでは、ウォーターマークが印刷されないことがあります。	この場合、ウォーターマークは印刷できません。
両面印刷に設定できない。	オプションの拡張メモリが装着されていない可能性があります。	両面印刷オプションと拡張メモリが装着されている場合のみ使用可能となります。
セキュリティ印刷に設定できない。	オプションの拡張メモリが装着されていない可能性があります。	セキュリティ印刷は、オプションの拡張メモリが装着されている場合のみ使用可能となります。
「ソート（1部ごと）」を設定時に最後まで印刷できない。	本機側のメモリが不足している可能性があります。	アプリケーションの印刷メニューにあるソート機能を使用してください。
オーバーレイがうまく印刷されない。	コンピューターのメモリが不足している可能性があります。	オーバーレイを簡単なものにしてデータ量を減らしてください。
画像がうまく印刷されない。	コンピューターのメモリが不足している可能性があります。	画像を簡単なものにしてデータ量を減らしてください。
指定した給紙口から給紙されない。	指定した給紙口に必要なサイズ／方向の用紙が入っていない場合は、指定した給紙口から給紙されない可能性があります。	給紙口に適切なサイズ／方向の用紙を入れてください。
部門管理の設定がグレーアウトしていて設定できない	プリンタードライバーで部門管理機能が有効になっていない可能性があります。	「装置情報」で部門管理を使用する設定にしてください。

12.2.2 エラーメッセージ

メッセージ	原因と対処方法
ネットワークに接続できませんでした	ネットワークに接続できませんでした。ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、「ネットワーク設定」が正しく行われているか確認してください。

第13章 付録

13.1	製品仕様	13-2
13.2	コンフィグレーションページ	13-4
13.3	フォントリスト	13-5
13.4	PPD ドライバー（アプリケーション用）	13-8

13.1 製品仕様

項目	仕様
型式	内蔵型コントローラー
電源	本体と共に通
RAM	64 MB
I/F	Ethernet (100Base-TX / 10Base-T) USB 2.0
対応プロトコル	TCP/IP (LPD/LPR、IPP、SMB)、IPX/SPX、AppleTalk
プリンター言語	PCL5e/5c エミュレーション PCL XL ver2.1 エミュレーション PostScript 3 エミュレーション (3015)
動作環境条件	温度 10 ~ 30 °C 湿度 15 ~ 85%RH
プリント解像度	600 dpi × 600 dpi
対応用紙サイズ	最大定型用紙サイズ
フォント (内蔵フォント)	< PCL > 欧文 80 書体 日本語 HG 明朝 L HGP 明朝 L HG ゴシック B HGP ゴシック B < Postscript 3 Emulation > 欧文 136 書体 日本語 HG 明朝 L HG ゴシック B
対応コンピューター	IBM PC およびその互換機、Macintosh (PowerPC、Intel プロセッサー : Intel Processor は、Mac OS X 10.4/10.5 のみ)

項目	仕様
プリンタードライバー	PCL コニカミノルタ製 ドライバー (PCL ドライバー) Windows 2000 Professional/Server (Service Pack 3 以降) Windows XP Home Edition/Windows XP Professional、 Windows XP Professional x64 Edition Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/ Business/Enterprise、Windows Vista Home Basic/ Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition Windows Server 2003 Standard Edition、Windows Server 2003 x64 Edition Windows Server 2008 Standard/Enterprise、Windows Server 2008 Standard/Enterprise x64
	PostScript コニカミ ノルタ製ドライバー (PS ドライバー) Windows 2000 Professional/Server (Service Pack 3 以降) Windows XP Home Edition/Windows XP Professional、 Windows XP Professional x64 Edition Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/ Business/Enterprise、Windows Vista Home Basic/ Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition Windows Server 2003 Standard Edition、Windows Server 2003 x64 Edition Windows Server 2008 Standard/Enterprise、Windows Server 2008 Standard/Enterprise x64
	PostScript PPD ドラ イバー (PS-PPD) Macintosh OS 9.2 以降 Macintosh OS X 10.2.8/10.3/10.4/10.5
	ファクスドライバー Windows 2000 Professional/Server (Service Pack 3 以降) Windows XP Home Edition/Windows XP Professional、 Windows XP Professional x64 Edition Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/ Business/Enterprise、Windows Vista Home Basic/ Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition Windows Server 2003 Standard Edition、Windows Server 2003 x64 Edition Windows Server 2008 Standard/Enterprise、Windows Server 2008 Standard/Enterprise x64

13.2 コンフィグレーションページ

KONICA MINOLTA bizhub C200

Configuration Page

Print Option Menu Map

Installed

Basic Setting

Default Paper Size	= A4	Printer Memory	= 576 [MByte]
Paper Tray	= Auto		
Bind Direction	= Right		
2-Sided Print	= Off		
Orientation	= Portrait		
# of Sets	= 1		
Paper Size Change	= On		
PDL Setting	= Auto		

PCL Setting

Font Source	= I	Tray 1	= A4
Font Number	= 0	Tray 2	= A4
Font Pitch	= 12.00	Tray 3	= A3
Font Point	= 10.00	Tray 4	= A4
Symbol Set	= PC-8	LCT	= None
From Length	= 64 [Line / Page]	Bypass Tray	= CUSTOM
CR / LF Mapping	= Off		

PS Setting

PS Error Print	= Disabled	Firmware Version	
----------------	------------	------------------	--

I/F Setting

Network Rx Timeout	= 60 [sec]	Printer Controller	= 
USB Timeout	= 60 [sec]		

Test Print

Configuration		Network	
PCL Font List		TCP/IP	
PS Font List		IP Address	= 0.0.0.0
Demo Page		Subnet Mask	= 0.0.0.0
		Gateway Address	= 0.0.0.0

13.3 フォントリスト

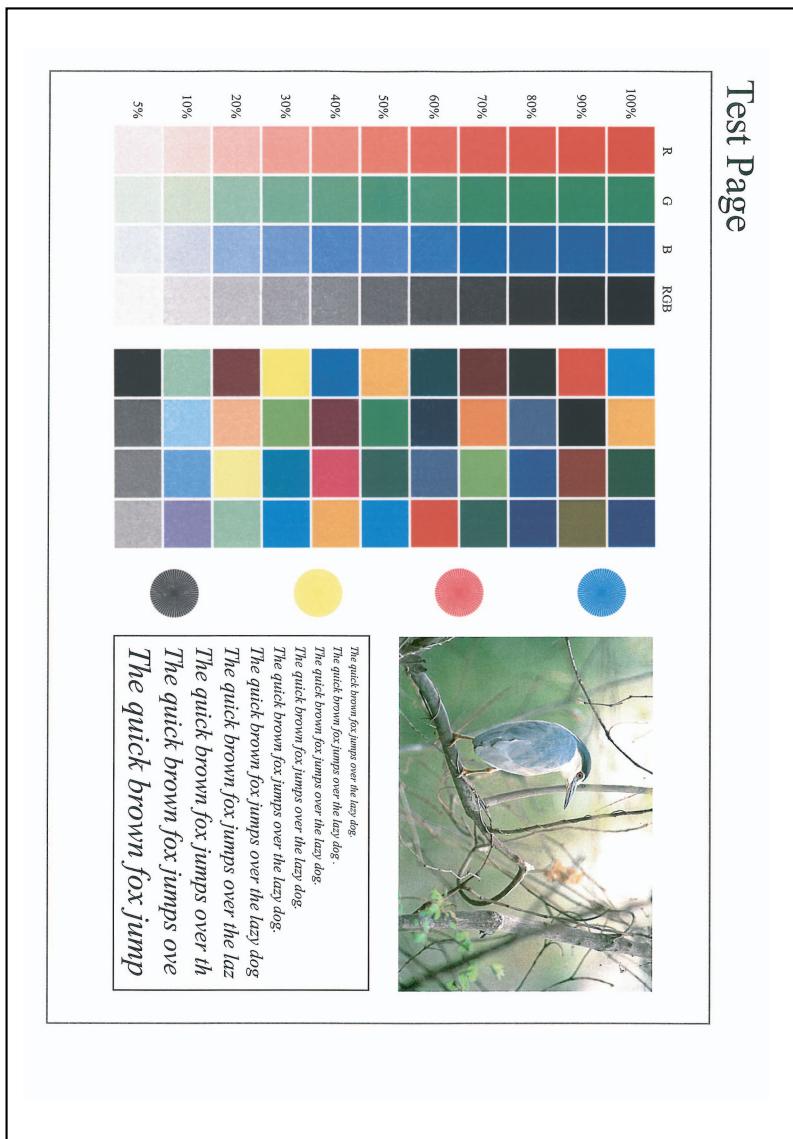
13.3.1 PCL フォントリスト

KONICA MINOLTA C200				
PCL Font List				P.1
Internal Fonts				
Font	Pitch/Point	Escape Sequence	Font #	Font ID
Courier	Scalable	<esc>(01X<esc>(s0p10h0s0b4099T	00000	
CG Times	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4101T	00001	
CG Times Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4101T	00002	
<i>CG Times Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4101T	00003	
CG Times Bold Italic	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4101T	00004	
CG Omega	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4113T	00005	
CG Omega Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4113T	00006	
<i>CG Omega Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4113T	00007	
CG Omega Bold Italic	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4113T	00008	
<i>Conncl</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4116T	00009	
Clarendon Condensed	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s3b4140T	00010	
Univers Medium	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4148T	00011	
Univers Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4148T	00012	
<i>Univers Medium Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4148T	00013	
Univers Bold Italic	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4148T	00014	
<i>Univers Med. Condensed</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s0b4148T	00015	
Univers Bold Condensed	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s3b4148T	00016	
<i>Univers Med. Cond. It.</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v5s0b4148T	00017	
Univers Bold Cond. It.	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v5s3b4148T	00018	
<i>Antique Olive</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4168T	00019	
Antique Olive Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4168T	00020	
<i>Antique Olive Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4168T	00021	
Garamond Antiqua	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4197T	00022	
Garamond Halbfett	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4197T	00023	
<i>Garamond Kursiv</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4197T	00024	

13.3.2 PS フォントリスト

KONICA MINOLTA C200		
PS Font List		P.1
Internal Fonts		
Font	Font #	
Albertus MT	AlbertusMT	00000
<i>Albertus MT Italic</i>	AlbertusMT-Italic	00001
Albertus MT Light	AlbertusMT-Light	00002
Antique Olive Roman	AntiqueOlive-Roman	00003
<i>Antique Olive Italic</i>	AntiqueOlive-Italic	00004
Antique Olive Bold	AntiqueOlive-Bold	00005
Antique Olive Compact	AntiqueOlive-Compact	00006
<i>Apple Chancery</i>	Apple-Chancery	00007
Arial	ArialMT	00008
<i>Arial Italic</i>	Arial-ItalicMT	00009
Arial Bold	Arial-BoldMT	00010
<i>Arial Bold Italic</i>	Arial-BoldItalicMT	00011
ITC Avant Garde Gothic Book	AvantGarde-Book	00012
<i>ITC Avant Garde Gothic Book Oblique</i>	AvantGarde-BookOblique	00013
ITC Avant Garde Gothic Demi	AvantGarde-Demi	00014
<i>ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique</i>	AvantGarde-DemiOblique	00015
Bodoni Roman	Bodoni	00016
<i>Bodoni Italic</i>	Bodoni-Italic	00017
Bodoni Bold	Bodoni-Bold	00018
<i>Bodoni Bold Italic</i>	Bodoni-BoldItalic	00019
Bodoni Poster	Bodoni-Poster	00020
<i>Bodoni Poster Compressed</i>	Bodoni-PosterCompressed	00021
ITC Bookman Light	Bookman-Light	00022
<i>ITC Bookman Light Italic</i>	Bookman-LightItalic	00023
ITC Bookman Demi	Bookman-Demi	00024
<i>ITC Bookman Demi Italic</i>	Bookman-Demitalic	00025
Chicago	Carta	00026
Clarendon Roman	Chicago	00027
Clarendon Bold	Clarendon	00028
	Clarendon-Bold	00029

13.3.3 デモページ



13.4 PPD ドライバー（アプリケーション用）

13.4.1 PPD ドライバーの種類

PPD ドライバーには、Macintosh OS9 用のほかにアプリケーション用の PPD 情報が含まれています。

- アプリケーション用：PageMaker など PPD を必要とするアプリケーションを使用する場合にインストール

13.4.2 アプリケーション用 PPD ドライバーについて

PPD の登録先（例：PageMaker）

- PageMaker6.0 の場合
PPD ファイルを PageMaker がインストールされているフォルダ下の RSRC\PPD4 にコピーします。
- PageMaker6.5/7.0 の場合
PPD ファイルを PageMaker がインストールされているフォルダ下の RSRC\<Language>\PPD4 にコピーします。

印刷方法

- 1 [ファイル] - [プリント] を選択します。
- 2 プリントダイアログ内の「形式」コンボボックスで、本機を選択します。
- 3 「用紙設定」や「プリンタ特性」でプリンタに応じた設定を行います。
- 4 「印刷」ボタンをクリックし、印刷を行います。

第 14 章

索引

14.1 使用別索引	14-2
14.2 項目別索引	14-4

14.1 使用別索引

■ あ行

アンインストールする

プリンタードライバーのアンインストール 6-2, 6-5

印刷する

Macintosh OS 9.2 で印刷する	9-2
Macintosh で印刷する	8-2
Windows で印刷する	7-2
印刷できない	12-2
ウォーターマークを印刷する	7-10
オーバーレイを印刷する	7-10
セキュリティ印刷をする	10-2
設定したとおりに印刷できない	12-3
部門管理されている本機で印刷する	10-7
両面印刷をする	7-9, 8-10

インストールする

OS 9.2 のインストール	5-14
OS X のインストール	5-2
インストーラによるインストール	3-3
プラグアンドプレイでインストール	4-10, 4-18, 4-25
プリンタードライバーをインストール	3-3
プリンタの追加機能によるインストール	4-1

■ か行

機密

機密文書を印刷する

10-2

■ さ行

削除する

プリンタードライバーのアンインストール 6-2, 6-5

作成する

オーバーレイ用のデータを作成する

7-10

ジョブ

ジョブを呼出す

10-4

セキュリティ

セキュリティ文書を呼出す	10-4
セキュリティ印刷をする	10-2

設定する

印刷部数と印刷ページ	8-8
画像品質	8-12
画像品質タブ	7-11
基本設定タブ	7-7
給紙トレイ / 排紙トレイ	8-11
出力方法	8-8
スタンプ / ページ印字タブ	7-9
設定できない	12-3
その他タブ	7-12
プリンタードライバーの初期設定	7-3, 8-3, 9-3
プリンタードライバーの装置情報を設定する	7-4
ページ属性	8-7

レイアウト	8-10
レイアウトタブ	7-8

■ た行

登録する

カスタム用紙サイズを登録する	8-6
----------------------	-----

■ な行

入力する

管理者パスワードを入力する	11-18
---------------------	-------

認証する

部門認証をする	10-7
---------------	------

■ は行

表示する

管理者保守画面を表示する	11-18
--------------------	-------

プリンタードライバーのプロパティ画面を表示する	7-3
-------------------------------	-----

ユーザ設定画面を表示する	11-2
--------------------	------

編集する

ウォーターマークを編集する	7-10
---------------------	------

14.2 項目別索引

Numerics

180°回転 7-9, 8-10

A

AppleTalk 5-14

C

CR/LF マッピング 11-15

E

Ethernet 1-6

I

I/F タイムアウトの設定 11-22

IPP 4-8, 4-16, 4-23, 5-12

IPPS 4-8, 4-16, 4-23

IP アドレス 3-3

L

LPD 4-2, 4-11, 4-19, 5-5, 5-10, 5-15

LPR 2-5, 4-2, 4-11, 4-19, 5-5, 5-10, 5-15

M

Macintosh 1-5, 5-1

N

NetWare 2-7

O

OS 1-5

OS 9.2 5-14

OS X 10.2 5-2

OS X 10.3 5-2

OS X 10.4 5-2

P

PC-FAX 1-2

PCL 2-3

PCL ドライバー 2-3, 7-1

PCL フォントリスト 13-5

PDL 設定 11-3

Port9100 2-4, 3-3, 4-2, 4-11, 4-19

PostScript 2-3

PPD ドライバー 2-3, 13-8

PPD ファイル 5-14

PS ドライバー 2-3, 7-1

PS フォントリスト 13-6

S

SMB 4-5, 4-22

U

USB 1-6, 2-4, 4-10, 4-18, 4-25

W

Windows 1-5

Windows 2000 4-19

Windows Server 2003 4-2

Windows Server 2008 4-11

Windows Vista 4-11

Windows XP 4-2

あ行

アンインストール 6-2

一般設定 9-6

イメージ圧縮 7-11

印刷種類 7-9, 8-10, 9-7

印刷操作 7-2, 8-2, 9-2

印刷できない 12-2, 12-3

印刷の流れ 1-3

印刷部数 11-4

印刷部数と印刷ページ 8-8

インストーラー 3-2, 3-3

インストール 3-3, 5-2, 5-14

インターフェース 1-6

ウォーターマーク 7-10

ウォーターマークの編集 7-10

エラーメッセージ 12-3

オーバーレイ印刷 7-10

オーバーレイ作成 7-10

オプション設定 8-3, 9-3

オペレーティングシステム 1-5

か行

解像度 7-11, 9-7

各種設定 11-1

拡大縮小 8-7, 9-5

拡大連写 8-10

画質調整 7-11, 8-12

カスタムサイズ 8-6

カスタム用紙サイズ 8-6, 9-5

画像の向き 11-5

画像品質 8-12

画像品質タブ 7-11

カラー設定 7-11, 8-12, 9-7

カラー選択 7-11, 8-12, 9-7

カラーマッチング 9-7

管理者設定 11-18

管理者保守画面 11-18

基本設定タブ	7-7
給紙トレイ / 排紙トレイ	8-11
給紙トレイ	7-7, 8-11, 11-7
給紙トレイ情報	7-4
給紙元	9-6
共通項目	7-6, 8-5
グレー補償	9-7
原稿サイズ	7-7
原稿の向き	7-7
光沢モード	7-11, 8-12, 9-7
コンフィグレーションページ	13-4

さ行

受信プリント出力設定	11-19
出力方法	7-8, 8-8, 8-9
初期設定	7-3, 8-3, 9-3
初期設定タブ	7-4
ジョブ呼び出し	10-4
仕分け	7-8, 8-8, 9-6
シンボルセット	11-12
シンボルセット一覧	11-13
ズーム	7-7
スクリーン	9-7
スタンプ / ページ印字タブ	7-9
製品仕様	13-2
セキュリティー文書	10-4
セキュリティ印刷	7-8, 8-9, 10-2
接続図	1-6
接続できるコンピューター	1-5
接続方法	2-4
設定項目詳細	7-7, 8-7, 9-5
設定できない	12-3
セットアップ	1-7
セットアップ方法	2-4
操作パネル	1-4
装置オプション	7-4
装置情報タブ	7-4
ソート	7-8, 8-8
その他タブ	7-12

た行

タイムアウト設定	11-22
丁合い	8-8, 9-6
通常印刷	7-8, 8-9
デフォルト設定	7-5, 8-3, 9-4
デモページ	13-7
動作環境	1-5, 3-2
とじしろ	7-9
トラブルシューティング	12-1

な行

ネットワーク接続	1-7, 4-2, 4-5, 4-8, 4-11, 4-16, 4-19, 4-22, 4-23
----------	--------------------------------------------------

は行

排紙トレイ	9-6
排紙トレイ設定	11-20
白紙抑制	7-9
パスワード	11-18
パターン	7-11
開き方向 / とじ方向	7-9, 8-10, 9-6, 11-9
ファクストライバー	2-3
フォント一覧	11-11
フォントサイズ	11-14
フォント設定	7-11, 11-10
フォントリスト	13-5
部数	7-8, 8-8, 9-6
不定形サイズ	7-7
部門管理	8-9, 10-7
部門管理設定	7-8
部門未指定プリント	11-21
プラグアンドプレイ	4-10, 4-18, 4-25
プリンター記述ファイル	5-14
プリンターケーブル	1-6
プリンターコントローラー	1-2
プリンタードライバー	2-3, 3-3
プリンタードライバーの削除	6-5
プリンターの選択	5-3, 5-9, 5-14
プリントの追加	4-1, 4-2, 4-5, 4-8, 4-11, 4-13, 4-16, 4-19, 4-22, 4-23
プロパティ画面	7-3
ページ	8-8, 9-6
ページ属性	8-7, 9-5
ページ割り付け	9-6
ページ割付	7-9
方向	8-7, 9-5

ま行

メモリオーバ時の破棄時間	11-6
--------------	------

や行

ユーザー設定	11-2
用紙	9-5
用紙サイズ	7-7, 8-7, 11-8
用紙サイズ変換	11-5
用紙種類	7-7, 8-11

ら行

ライン / ページ	11-15
両面印刷	7-9, 8-10, 9-7, 11-9
レイアウト / 仕上げ	8-10
レイアウトタブ	7-8
レイアウト方向	9-6
レイアウト (ページ割付)	9-6
レポート出力	11-16
ローカル接続	1-8, 4-10, 4-18, 4-25

わ行

枠線 9-6

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright

2008 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC.

A02F-9582-00

2008.11